

会長のページ 次期診療報酬改定における社会保障・税一体改革関連の基本的な考え方 ー入院医療についてー	稲倉 正孝	3
日州医談 大学病院は今	直井 信久	4
随 筆 紀元は二六〇〇年	古賀 繁喜	7
再びの島原半島	友成 久雄	10
エコー・リレー(458)	辰元 信, 増田 好成	12
宮崎大学医学部だより(総合周産期母子医療センター)	児玉 由紀	18
専門分科医会だより(小児科医会)	三宅 和昭	19
メディアの目“熱かった”この夏	奥野 慶太	20
ニューメンバー	長沼 康子, 福元 純也	48
診療メモ 卵子の老化について	戸枝 通保	68

あなたできますか?(平成 24 年度医師国家試験問題より)	13
宮崎県感染症発生動向	14
各都市医師会だより	16
各種委員会(諸規定検討委員会, 医学会誌編集委員会)	21
第 5 回九州ブロック学校保健・学校医大会, 平成 25 年度九州学校検診協議会(年次大会)	23
平成 25 年度九州学校検診協議会 第 1 回専門委員会	27
第 14 回宮崎県医師会医家芸術展	32
平成 24 年度医療法第 25 条に基づく立入調査結果について	33
薬事情報センターだより(317) 新薬紹介(その 66)	34
日医インターネットニュースから	36
医師国保組合だより	38
理 事 会 日 誌	41
ベストセラー	44
県 医 の 動 き	45
追悼のことば	46
会員の異動・変更報告	49
ドクターバンク情報	51
行 事 予 定	55
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	57
宮大医学部学生のページ(第 9 回清花祭)	70
あ と が き	74

~~~~~

|                     |    |
|---------------------|----|
| お知らせ 宮崎県医師会医療情報コーナー | 6  |
| 「新春随想」原稿募集          | 9  |
| 女性医師メーリングリストのご案内    | 22 |
| クールビズについて           | 26 |
| 郡市医師会への送付文書         | 72 |
| ご 案 内 宮崎県医師会親善ゴルフ大会 | 31 |

## 医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品：パステル水彩〕

### ラ・フランス

山形県の蔵王に旅行をした時、とても大きくて、素晴らしい味のラ・フランスに出会いました。

その美味しさを色で遊んで描きました。

宮崎市 いし かわ まさこ  
石 川 万佐子

## 会長のページ

次期診療報酬改定における社会保障・税一体改革関連の基本的な考え方  
ー入院医療についてーいな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

平成 25年 9月 9日、社会保障審議会の医療保険部会より、医療保険制度関係の「法制上の措置の実施スケジュール」が公表された。法制上の措置(骨子)については、平成 26年度から平成 29年度までを目途に順次必要な措置を講ずるとしており、法改正が必要な事項については、平成 25年通常国会に法律案を提出することを目指すとしている。国民皆保険を堅持し、持続可能な医療保険制度を構築するため、平成 26年から 29年にわたって法案を提出する予定である。その内容は、

- ①医療保険制度の財政基盤の安定化に関わる措置
- ②保険料に係る国民の負担に関する公平性の確保に関わる措置
- ③保険給付の対象となる療養の範囲の適正化に関わる措置

とされている。

今後の更なる高齢化の進展により、医療ニーズが慢性疾患を中心とするものに変化しながら増大し、医学、医療機器及び材料・薬物の進歩に見合って、国民が安全・安心な質の高い医療を受けられるようにするためには、医療提供体制の再構築及び限られた医療資源の効果的活用が必要であるとしている。社会保障・税一体改革においては、消費税率を引き上げ、その財源を活用して医療サービスの機能強化を図ると同時に医療資源投入の重点化・効率化に取り組むことが必須であるとしている。

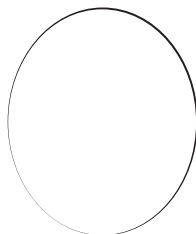
具体的には、急性期病床の位置付けを明確化し、医療資源の集中投入による機能強化を図り、一般病床における長期入院の適正化、在宅医療の充実を推進としている。厚労省は病院病床の医療機能区分を高度急性期、急性期、回復期、慢性期の 4 区分とする案をまとめた。平成 12年度診療報酬改正後の平成 12年 7月時点の一般病棟入院基本料の届け出病床数は 6万 7,679床で、入院基本料の高い 7 対 1 入院基本料の届け出病床数は 35万 7,569床と全体の 52.8%となっており、次期診療報酬改定での要件強化が取り沙汰されている。高度急性期及び一般急性期を担う病床の機能の明確化及び機能強化、入院早期からのリハビリテーションや退院・転院支援の推進、急性期病床の平均在院日数の短縮等について検討されている。

超少子高齢社会では、慢性疾患を有する高齢者が増加することから、急性期を脱した回復期の医療ニーズが増加すると考えられる。急性期を脱した患者はできるだけ早く、集中的なリハビリテーション等を受けることにより早期の在宅復帰、社会復帰を目指すことが重要である。また、高度急性期病床で急性期を脱した患者の受け入れ病床も必要である。医療資源の少ない人口密度の低い地域では、1つの病院が複数の機能を担うことを要求される場合もあり、地域に配慮して入院基本料等で一定の要件を緩和した評価を行う等、地域の実情に応じた評価のあり方について検討する必要がある。

有床診療所については病院からの早期退院患者の受け入れ機能、在宅患者の急変時の受け入れ機能、在宅医療の拠点機能、終末期医療を担う機能、専門医療を担う機能等を有しており、それらの機能に応じた評価について検討を行う必要がある。

(平成 25年 10月 1日)

## 日州医談



## 大学病院は今

理事 なお直 い井 のぶ信 ひさ久

## 1. 「白い巨塔」から「白い廃墟」へ？

岐阜大学の学長であった黒木登志夫氏が「「白い巨塔」から「白い廃墟」へ」という衝撃的な題名で法人化後の大学病院の危機的状況を訴え、大学関係者に衝撃を与えたのは平成 19 年 9 月のことだった。

黒木氏は研修医および医師不足、負債償還、経営改善係数、医療費削減などの問題が相互に働き、大学病院は「破綻のスパイラル」に入っていくであろうという仮説を立て、さらにその 2 年後には、「破綻のスパイラル」は現実のものになったと警告した。

多くの大学病院が赤字になり、大学は大学本体の予算を削ってでも、病院に回さざるを得なくなり、病院原発の赤字病巣が、全学に転移し、大学を破綻させるところまで来ていると考えたのである。

「日医ニュース」のこの記事からすでに 6 年経ったが、大学病院はどう変化したであろうか。

結論からいうと全国の国立大学病院は、程度の差はあるものの別に破綻もせずに何とかやってきている。

宮崎大学医学部附属病院の例をとってみよう。黒木氏が警告を発した当時の平成 18 年度の診療報酬請求額は 112.8 億円であった。それから 3 年後の平成 21 年度には 139.2 億円(+ 23.4%)となり、4 年後の平成 22 年度は 150.9 億円(+ 33.8%)、6 年後の平成 24 年度には 164.9 億

再整備となった宮崎大学医学部附属病院

円(+ 46.1%)と大きな伸びを示している。

これに対し、診療材料比率(医薬品+診療材料費)は平成 18 年度の 36.3%に比し、平成 24 年度は 37.7%とわずかに上昇を示している程度である。

このため宮崎大学病院でもここ数年の中で会計上赤字になったのは再整備の関係で赤字となった平成 24 年度のみで、しかもそのための目的積立金が積み立ててあり、それを取り崩すことで十分対処できた。

この収入の伸びは宮崎大学だけの現象ではない。国立 42 大学の 43 病院の総収入は平成 18 年度の 6,856 億円から平成 23 年度は 8,823 億円と + 28.7%の伸びを示している。

## 2. その裏にあるのは？

もちろん大学病院の収入がこのような伸びを示している裏には、保険制度上の改定の影響もあるが、病院内の医師をはじめとした医療従事者ならびに事務担当者のたゆまざる努

力があつたのである。

宮崎大学で行われている例を挙げると、毎月、保険診療委員会を開催し査定に対する説明を行う、医療情報部を中心に収支改善検討会を開催し、クリニカルパスの推進、DPCコーディングの適正化、検査の外来化推進を図る、経営企画会議において、毎月、経営に関する問題点の整理と事後検証、改善を行う、特にDPC係数の向上に向けて算定要件の改善を行う等々が行われている。ただそれらを検討する会議などはかなりの時間に上り、研究、教育の時間をむしろ減らしていくことが懸念される。

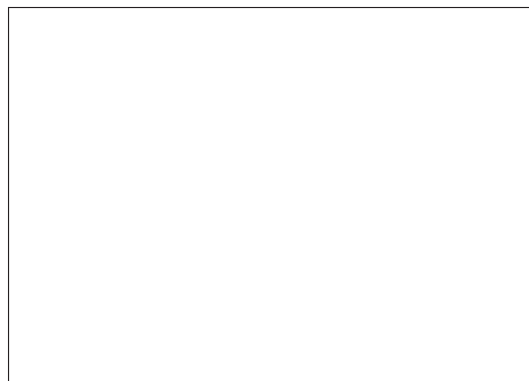
国立大学協会「国立大学附属病院の経営問題に関するアンケート調査結果」によると、各国立大学病院の回答で平成 17年と平成 24年を比較した場合、

- 1) 教育の時間が減少したと答えた割合は、  
平成 17年：11.1%から平成 24年：22.2%と倍増
- 2) 研究の時間が減少したと答えた割合は、  
平成 17年：48.9%から平成 24年：77.8%と大幅に増加
- 3) 診療の時間が増加したと答えた割合は、  
平成 17年：48.0%から平成 24年：77.8%とこれも大幅に増加している。

また論文数でも、国立大学の「臨床医学」分野の論文数は、2004-2006年の論文数を 100とした場合、2009-2011年の論文数は 100とまったく増加していないことが示されており、臨床医学分野の研究者が、臨床に追われ、医学的な論文を書く時間がないことが想像される。（文部科学省科学技術政策研究所「科学研究のベンチマーキング 2012」より）

宮崎大学では病棟、外来クラーク、保険書類の代行入力、病棟看護補助者の雇用などで医師の仕事の軽減を図っているところである。

看護補助者でなぜ医師の業務軽減に繋がる



新設されたヘリポートと救急救命センター

かと思われる方もいるかと思うが、看護補助者が看護師の仕事を軽減しその余った時間で静脈注射をはじめとした医師の仕事を看護師が補助するという論法である。

### 3. 宮崎大学医学部附属病院の最近の変化——再整備の完成

宮崎大学医学部附属病院の再整備がこのほど完了した。

これは 2008年 1月完成の中央手術部、2010年 2月完成の外来診療棟、光学医療診療部（平成 23年 6月）、輸血部（平成 23年 10月）、薬剤部（平成 23年 12月）、検査部（平成 24年 2月）等の中央診療部門を拡充整備、さらに西病棟、東病棟別の病棟改修や医局、カンファレンスルームなどの整備をもって完成したものであり、25年 9月に完成式典が挙行された。これとは別に平成 24年 4月に改築された救命救急センターの稼働及びドクターヘリコプターの導入が行われ、地域医療機関との連携が強化した。救命救急センターは、集中治療室に匹敵する医療機器等を備えた病床 20床、手術可能な救命処置室やCT・レントゲン室、さらにドクターヘリの離着陸場や格納庫を整備した。運用体制について、24時間稼働に対応するため、医師 14人体制、看護師 48人体制とし、その他コメディカルスタッフも増員された。ド



クターヘリは当初計画していたより多くの出動件数で稼働している。

宮崎大学ではかねてより以前は固定されていた各診療科別の病床を外し、病床稼働率に応じた病床配分を行ってきた。これにより全国2位という高い病床稼働率を維持し、収支改善に寄与してきたが、そのために平均在院日数が長く、診療単価が低いという弊害が見られるようになってきた。

そのため現在は平均在院日数短縮割合に応じた病床再配分へと大きく方向性を変更した。

それとともに平均在院日数短縮プロジェクトを開始し、20日を超えていた平均在院日数が病床利用率を維持しながら17日台に短縮される月もみられるようになった。

#### 4. まだ足りない医師の数

先に述べた負のスパイラルの中で現実にも地方大学の問題となっているのが、研修医をはじめとした医師数の不足である。

宮崎大学では研修医数が近年大変減少していたが、地域枠の採用後の県内に残る卒業生

の増加、さらには本院を軸に県下45の地域病院と密接に連携しながら、様々な医療環境で経験が積める研修体制の実施などの取組みにより、平成25年10月におけるマッチ者数は医師50名、歯科医師8名となった。充足率は89%（前年42.5%）で、その伸び率が「全国1位」となって全国的にも注目された。宮大病院の今後は彼らをいかに良医に教育していくかにかかっていると考えられる。

また女性医師対策も重要な課題である。平成25年5月現在、宮崎大学医学部医学科の女子学生数は671名中253名（38%）である。彼女らにいかに関宮崎県に残ってもらい、十分なキャリアを積んでもらうかが今後重要な課題となると思われる。

その試みの一つとして宮崎大学ではシミュレーターを用いた「女性医師・看護師のための復職支援プロジェクト」を行い、家事や育児等で何年も臨床から離れていて臨床現場復帰に踏み切れない医師を支援している。

## 宮崎県医師会医療情報コーナー

県医師会館1階の「医療情報コーナー」では、分かりやすい医療や介護の本、闘病記のほか、難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVDなどを幅広く取り揃えています。県民の皆様への貸出もしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索、ビデオ・DVDの視聴もできます。

開室時間：月～金曜日 10：00～19：00 土曜日 10：00～18：00

休館日：日曜・祝日、12月29日～1月3日、8月14～15日、特別整理期間（3日間）

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目10番地

TEL 0985-22-5118 E-mail: tosho@miyazakimed.or.jp

## 随 筆

## 紀元は二六〇〇年

宮崎市 高宮病院 <sup>こ</sup>古 <sup>が</sup>賀 <sup>しげ</sup>繁 <sup>き</sup>喜

西暦 1940年(昭和 15年)は、カムヤマトイワレビコノミコト(神武天皇)が東征した大和の地で、初代天皇として即位された皇紀元年から 2600年目という記念すべき年であるという事で、日本国中が栄えある祭典に沸き立った。神武天皇が成人されたと云われている日向の国・宮崎でも同年(1940年)に八紘一字の平和の塔も竣工して記念式典、提灯行列、その他の催し物で県民が挙って奉祝した。巷には「金鷄輝く日本の 栄えある光身に受けて いまこそ祝えこの朝 紀元は二六〇〇年 ああ一億の胸は鳴る…」と「紀元は二六〇〇年」のメロディーが満ち溢れていたそうである。

しかし、翌年の 1941年にハワイ真珠湾攻撃から太平洋戦争が始まったが、アメリカとの 3年 9か月余の戦いで完膚なきまで打ちのめされた日本は、1945年 8月 15日に無条件降伏した。ここにおいて神代から永く続いてきた現人神(あらひとがみ)の天皇の歴史は終焉を告げ、新たに国民の象徴としての人間天皇に生まれ変わられたのである。偶々、私も紀元 2600年に生まれた。同じ年には日本海軍が世界に誇った零式戦闘機も誕生した(2600年の 0 からゼロ式戦闘機と呼ばれた)。そのような国内情勢の中で生まれたからであろうか、私は小学校高学年の頃から日本の歴史に強く興味を持ち始めたようで、初代神武天皇～百二十四代昭和天皇まで歴代天皇の名前を暗誦していたし、平家物語・太平記・応仁の乱・関ヶ原の戦いなど戦記物もよく読んでいた。

日本は皇祖・神武天皇から百二十五代の今上天皇に至るまで 2673年の間連綿として続いている天皇制国家であり、このように長期間続いて来た君主国家は世界で類がないのである。

中国の歴史書は前漢時代(BC 9年頃)に最初に作られた「史記」であるが、日本ではAD 71年には『古事記』、AD 720年には『日本書記』が完成している。この二つの国史編纂を命じたのは四十代天武天皇である。その編纂の目的は、天皇の系譜が日本を創り上げた神々に繋がっていることを強調し、天皇による国民統治の正当性と国家の発展を明らかにすることであった。『古事記』は漢字の音訓をまじえた変則の漢文体で書かれた天皇家に保存される私的な歴史書であり、国内の人々に向けて日本の成り立ちなどを表したものである。『日本書記』は漢文で書かれ、「日本」という冠号を用いて日本の歴史を語る、諸外国に通用する公的な歴史書である。

アマテラスオオミカミの命令でニニギノミコトが天孫降臨した。やがて天孫族は地上の神々や土着民を支配するようになり、ニニギノミコトの曾孫カムヤマトイワレビコノミコトが日向の美々津から船出し、東征して大和国家を建設した。そして神武天皇となり畝傍の橿原ノ宮で即位した。天皇の勢力は大和から地方へと徐々に浸透して行ったようだが詳細はよく分かっていない(二代綏靖天皇から九代開化天皇までは欠史八代といわれて歴史の空白期間である)。十代崇神天皇の時代には、四道将軍が派遣されて北

陸・東海・山陽・山陰地方を平定した(埼玉県、稲荷山古墳から銘文入り鉄剣の出土でも証明)、北陸から碧玉が入ってくるようになった、箸墓の埋葬者といわれているヤマトトヒモモソヒメノミコトと同時代に生きた、出雲の国造を誅殺した、などの史料や物による実証や時代考証に基づいて崇神天皇の在位期間はAD 320年～340年頃とほぼはっきりしており、大和朝廷の勢力は一気に拡がったようである。これらの功績により崇神天皇は後世「国を領有・支配した初めての天皇」と呼ばれている。

日本の天皇の歴史をみて私が不思議さ・疑問を感じていることは主として二つあるが、一つは初代神武天皇から九代開化天皇までの9人の天皇は驚くほど長寿を全うしていたということである。BC 660年に神武天皇が即位されてAD 320年頃九代開化天皇が崩御されるまでの期間は約980年であり、その間の一人の天皇の平均在位年数は108.9年で驚異的に長い。神話の世界だからと思えばそれまでだが、天皇家の歴史は初代神武天皇から百二十五代今上天皇まで脈々と続いているので現実的には極めて不自然である。因みにAD 320年頃十代崇神天皇が即位されてAD 1989年に百二十四代昭和天皇が崩御されるまでの一人の天皇の平均在位年数は14.5年である。前4世紀頃大陸から青銅器が、少し遅れて鉄器が日本に伝わり、弥生時代後期には鉄器も日本列島で製作されていた。神武天皇時代には青銅製武器と鉄製武器が使用されていたようで、さらに兵団を運んだ軍船や宮殿や大きな建物も造られていた。そのような時代背景はどうみても弥生時代の後期としか思えないのである。

もう一つ不思議でならないことは、中国の歴史書に古代日本の倭国のことが明記されていて、日本の歴史家・考古学者も古代倭国が存在していたことを肯定しているにも拘わらず、『古事記』と『日本書記』には倭国の事象について全く触れ

られていない、記載されていない。公的な歴史書なのにどうして?それが不可解である。

AD 5年には奴の国王が後漢の光武帝から金の印綬が与えられた、2世紀には倭の国王・帥升が後漢に朝貢した、AD 239年には邪馬壹国の卑弥呼が魏の国に使節を送って朝貢した、1世紀の倭国には100余国あったがAD 239年頃は30か国に集約されていた、など「後漢書」や「魏志倭人伝」に記載されている。中国の歴史書は国際的に信用されているし、その帝紀である「後漢書」や「三国志の魏志倭人伝」に綴られているのである。

このように中国の歴史書と内容が矛盾している『古事記』、『日本書記』を編纂するよう命じた天武天皇の意図するものは何であったのだろうか。二つの国史書の内容は天上の神々の世界・高天原あり、天孫降臨あり、アマテラスオオミカミから神武天皇までの神話社会の時代背景は弥生時代後期とも考えられるし、初代～九代までの天皇は平均在位年数109年と異常に長生きしていたなどの不自然なことばかり目につくのである。天武天皇は古代倭国の知識を有していた上での国史編纂であったと思われるが、古代倭国が存在していたことを隠蔽しないと不都合な事が起こる可能性を否定出来ずに神話の世界を多分に取り入れた国史書になったのだろうか。

古代倭国の邪馬台国はその所在地をめぐる江戸時代から今日に到るまでの300年近く九州説と畿内説とで(邪馬台国東遷説もあるが)激しく対立し論争されて来たが、AD 2009年に炭素14年代測定法により纏向古墳群にある箸墓古墳の築造年代がAD 240～260年頃と発表されると、卑弥呼が死んだとされるAD 248年に一致しているので、さらに大建築物の跡も見つかっており、邪馬台国の畿内説が俄然優勢になって来ている。しかし、墓誌とかその他の史料、墳墓からの出土品など物による実証がない限り箸墓古墳は卑弥呼の墓と確定することは出来ない。その当時は文



字がなく記録物もなく深い霧の中の古代倭国時代、畿内で或いは九州で卑弥呼の墓が発見されたら卑弥呼の実年代が分かっているの、神話世界も古代倭国も、就中邪馬台国のことも一遍に解決出来るのではなからうか。

紀元は二六〇〇年に端を発して皇祖・神武天皇に遡り、さらに神々の世界、中国・日本の国史、古代倭国、邪馬台国へと想いを馳せてしまった。飛鳥時代の天武天皇は古代倭国の存在を何故隠蔽したのか？私は邪馬台国の女王卑弥呼の

蔭にアマテラスオオミカミの姿が見え隠れしているように思われてならない。このように謎の多い古代倭国の全貌を解き明かし、正確な日本の歴史を綴るためには、古代遺跡を発掘して実証出来る出土品を待たなければならないが長期間を要する。いっそのこと宮内庁に働きかけて天皇や皇族の墳墓を歴史家・考古学者による発掘調査が行われるのが最短の近道かなあと思うこの頃である。

### 「新春随想」原稿募集

平成 26年 1, 2月号に恒例になりました「新春随想」欄を企画いたしました。この欄は大変好評ですので、奮ってご投稿をお願い致します。

- 題 材 医事評論，診療閑話，身辺雑記，詩歌，俳句等なんでも結構です。  
本文に関連した写真・イラスト等(1枚程度，カラー印刷はできません)も掲載できます。
- 字 数 800字以内(字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがありますのでご承知ください)
- 締 切 平成 25年 12月 10日(火)
- 宛 先 宮崎県医師会広報委員会
- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
  - ◎ 掲載については，広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
  - ◎ 掲載はお一人，1編とさせていただきます。
  - ◎ ご投稿の原稿が他紙に掲載，または投稿中の場合はその旨お知らせください。
  - ◎ 原則として，原稿はお返しいたしません。返却を希望される方はその旨ご指示ください。
  - ◎ 日州医事は，会員以外(マスコミ・行政・図書館等)にも配付しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し，日州医事原稿専用アドレス([genko@m-iyazaki.med.or.jp](mailto:genko@m-iyazaki.med.or.jp))宛にお送りください。もちろん，それ以外の方法(FAX，郵便等)でお送りいただいても構いません。

「新春随想」である旨とタイトル，ご氏名を付記して下記の宛先にお届けください。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail: [genko@m-iyazaki.med.or.jp](mailto:genko@m-iyazaki.med.or.jp)

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は，他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル，ご氏名を明記の上お送りください。

## 随 筆

## 再びの島原半島

西都市 西都病院 <sup>とも</sup>友 <sup>なり</sup>成 <sup>ひさ</sup>久 <sup>お</sup>雄

6月半ばに雲仙のヤマボウシと小浜町のジャカラランダを見に行くというツアーの新聞広告が目にとまり、急に行ってみようということになった。世界ジオパークに認定されているスポットも見てみたいと思った。前回果たせなかった妻の絵の用事も済ませたかった。20年近く前、島原市役所に寄贈した普賢岳の油絵に再会することである。妻が絵を運んでもらった新聞社の支局などに連絡したところ、市長さんに会うことになったので、早起きして高速バスで出発。

指定の時間に数分遅れて到着すると、待っていた職員たちに応接室に案内された。妻の絵は正面に運ばれていた。市長さんは噴火後何代目かに変わっていて、妻の絵は初めて見る様子で、妻にいくつか質問をしていた。応接室には普賢岳の写真が何枚か飾られていたが、最近の写真では平成新山の裾が緑に変わったりしていて、妻が描いた頃とは色合が違っていた。

職員の丁寧な見送りを受けてホテルに向かった。次の日に島原市内とジオパークを見物したいとフロントで相談する。ジオパークは半島全域に散らばっており、1日では見きれないという。観光スポットにはなっておらず、バスも出ていないという。いくつかのコース別に観光バスが出ていると思っていたが、それは昨年5月、世界ジオパーク大会が開かれたときのイベントの案内だった。私たちはそちらは諦めて、市内観光だけをすることにした。

島原城が最大のスポットだった。天守閣は昭

和3年に復元されている。外郭は4kmにわたって練堀で取り囲まれており、三の丸まであるのは4万石の大名には過分の城だという。163年の島原の乱では一揆軍の猛攻をしのぎ、1792年の島原大変ではうち続く地震と大津波にも耐えた。ちなみに、最後の城主、松平忠和は徳川慶喜の弟だった。

思いがけなかったのは、その庭に長崎の平和記念像で有名な北村西望の代表作60点が展示されていることだった。西望は島原の出身だったのだ。お城と現代彫刻のハイブリッドという感じだが、島原にとって大きな文化遺産だろう。

延長500メートル余りという町並みに武家屋敷が保存されており、3軒が無料で開放されていた。そこを見学したとき、自分が生まれた都城市の実家を思い出し、その原型のような台所とポンプが懐かしく思われた。

ジャカラランダがあるという小浜町は橘湾に面した古い温泉町で、長崎市にいた高校の頃も聞いた気がする。島原からバスで1時間余り、途中普賢岳を迂回するため雲仙を通過した。小浜町のバス停のすぐ近くにジャカラランダの小さな林があり、青紫の花がほとんど満開のようだった。青い花の木は珍しく、趣の違う光景だった。中に1本かなりの大木があったが、多くはまだ若木のようなようだった。道路の片側にも列植されていて、並木にするつもりらしい。ここは温泉客が減っているそうで、町の活性化の計画だろうかと思われた。

ジャカラランダはノウゼンカズラ科の高木または低木で、約 50種がある。熱帯アメリカ原産で、熱帯性の植物だが、世界三大花木の一つになっており、庭木や街路樹として広く植えられているという。枝先に円錐の花序をつくり、釣り鐘形の紫色の花が開く。

雲仙は小浜温泉から 30分、空気がさわやかに感じられた。ホテルの 5 階の部屋からは眺望がよく、山の方に白い湯煙が上がっているのが見えた。大きな地獄である。大きなホテルが目立つが、一般の住宅はほとんど見あたらない。雲仙は標高 700メートルで、山間にある温泉郷といった感じである。

ヤマボウシの名所は雲仙市内にあってホテルから近いというので、夕方タクシーで出かけた。日本で最初というパブリックゴルフ場がすぐ近くだった。その側を通り過ぎ、普賢岳に通じる仁田峠の手前で停車。トンネルの上から右斜め上方の森に白い花をつけたヤマボウシの群生が現れた。そこから下方にかけて、また左手にも深い森があり、一帯にヤマボウシが多数見

られた。立体的に広汎に広がったヤマボウシの森は独特の眺めだった。それを見たさに雲仙を訪れる人も多いという。白い花の咲いた情景を、「夜空に輝く星のようだ」と長崎の人が新聞の声欄に書いていたが、本当にそういうイメージだと思った。

ところで、ヤマボウシはミズキ科の落葉小高木で、九州、四国、本州の山地に生えるという。初夏につける白い花は実は 4 枚の苞容で、本当の花はその中につく多数の小花である。10月頃赤い実を付け、その後紅葉する。わが庭では 6、7 年前この木を主木として植えたが、少年ぐらいの若木だったのが青年ぐらいに成長し、枝も張って花も多くつくようになった。花は山より早く 5 月から咲き始める。

2 年前は普賢岳を眺めただけののんきな旅だったが、今回は懸案の用事も済ませられ、目的の花も見られて充実感があった。ウィークデーだったためか観光客は少なく、閑静な島原半島を味わえたと思う。



カット

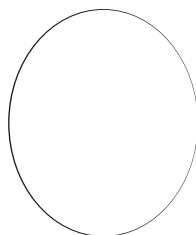
## エコー・リレー

(458回)

(南から北へ北から南へ)

## ドッペルゲンガー !!

宮崎市 辰元病院 辰 元 信



昔はよく飲みに行く機会も多かったのですが、最近ではホントご無沙汰です。……さてもう数年前になる話ですが、ある研究会に友人と出席、その後、懇親会に行って少々お酒を飲み、深夜に友人と二人で帰りのタクシーに乗り込みました。アルコールが入り良い心持ちで後部座席に座って

いると、信号待ちの私たちの乗るタクシーの真横に赤いイタリア製のピカピカしたスポーツカーが止まりました。オープンカーの運転席にはパリッとした黒のジャケットを着たイカス兄ちゃんが運転しています。

隣の様子を見ながら、何とはなしに「このご時世になかなか景気のいい人もいますなあ～」と呟いた。

すると、タクシーの運転手さん、「ああ、あれタツモトビョウインの先生ですねえ」とおっしゃるじゃありませんか？ 私はビックリ仰天「ハイ？」運転手さん「知りません？ 高岡にある病院ですよ、そこのお医者さんですよ？」

ガ~~~~~ン

ほろ酔い気分で赤かった私の顔からサーっと血の気が引くのを感じました。

運転手さんは「派手な車ですよねえ、この車、よく見ますしタクシー仲間でも有名なんですよ～街でも遊んでるみたいですねえ～」と得意気に話してくれています。

あまりのことに言葉も出ない私に代わって友人が「いや、いや、この人が辰元くんですから！」と叫びました。

運転手さんはヒョイっと後ろを振り返り私の格好を下から上までジロジロ(ああ、私はそのときヨレヨレのTシャツにジーパン、しかもツッカケ履きという極めてずんだれた格好であった！)そしてニヤリとしながら一言「ご冗談を！」

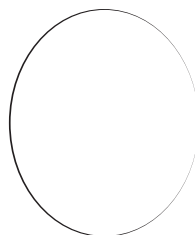
宮崎県内のドクターの皆様、また西橘で私が派手に遊んでいるって噂を聞いたことがある方、それは私のニセモノかもですよ！ ご注意下さい。

～ちなみに私の愛車は国産のバンです…ちくしょ～

[次回は、えびの市の平塚 正伸先生をお願いします]

## リレーって

宮崎市 宮崎市郡医師会病院 増 田 好 成



お寿司屋さんで、カウンター隣のお客さんに自分と長男のことを、「君たちウリ！」と面白がられたことがあった。瓜二つという意味であり、子供ができてから、長男は自分似だねとか、次男は奥さん似だねと言われるようになり、家

族って面白いものだなと感じるようになった。かつて、自分は父に似てるねと言われるのを若干嫌がっていたが、最近は受け入れてしまった。

患者さんに病状説明する際に、この家は母親と娘がそっくりだとか、またおじいさんと孫のまゆげや鼻がよく似ているな等、ひそかな楽しみとなっている。最近、実は夫婦も長く一緒に住んでいたら、顔も似てくるのではないかと思っている。

リレー・エッセイのお話をいただき、自分の父は何を書いたのだろうとふと興味が湧き、バックナンバーを探していただいた(編集部の方には、お世話になりました)。不思議な抽象論を述べ、必ず天下国家を論ずるいつもながらのスタイルで父らしいと思ったが、何度も聞かされ、飽きているはずの話も最近は妙に納得することが多く感じるようになった。

本誌が実家に届けられていたのは、子供の頃から見ていたし、医師会病院に勤務し始めてから、自分の元にもいただくようになったが、今回改めて脈々と綴られてきたことを認識した。二人の息子は字の読める歳ではないが、いずれ祖父や父の書いたものを読むかもしれないと思ったりもした。お願いだから、今月号を破って遊ばないでね。

[次回は、宮崎市の八尋 陽平先生をお願いします]





## あなたできますか？

— 平成 24年度 医師国家試験問題より —

(解答は 73ページ)

1. 成人の解剖で正しいのはどれか。2つ選べ。
  - a 左反回神経は鎖骨下動脈を反回する。
  - b 食道裂孔部は上門歯列から約 40mmの位置にある。
  - c McBurney圧痛点は虫垂の先端の位置に一致する。
  - d 直腸は下腸間膜動脈と内腸骨動脈の血流を受ける。
  - e 内肛門括約筋は随意筋である。

2. 冠動脈について正しいのはどれか。
  - a 右冠動脈近位部は前室間溝を走行する。
  - b 左冠動脈前下行枝は冠状溝を走行する。
  - c 左冠動脈前下行枝から心室中隔枝が分枝する。
  - d 左冠動脈回旋枝近位部は後室間溝を走行する。
  - e 左冠動脈前下行枝はValsalva洞から起始する。

3. 画像検査で患者の放射線被ばく線量が最も多いのはどれか。
  - a 胸部単純エックス線撮影
  - b 腹部ダイナミックCT
  - c 骨シンチグラフィ
  - d マンモグラフィ
  - e MRCP

4. 高度救命救急センターで受け入れるべきなのはどれか。
  - a 下肢の骨折
  - b 肩関節脱臼
  - c 急性虫垂炎
  - d 重症広範囲熱傷
  - e 十二指腸潰瘍穿孔

5. 大動脈から直接分枝する動脈はどれか。
  - a 総肝動脈
  - b 左総頸動脈
  - c 右椎骨動脈
  - d 右鎖骨下動脈
  - e 左外腸骨動脈

6. 肝炎をきたすウイルス感染症とその診断に必要な抗体検査の組合せで誤っているのはどれか。
  - a A型急性肝炎 ————— IgM 型H A 抗体
  - b B型急性肝炎 ————— HBe抗体
  - c C型慢性肝炎 ————— HCV 抗体
  - d 伝染性単核症 ————— VCA IgM 抗体
  - e サイトメガロウイルス — CMV IgM 抗体感染症

7. 拡張型心筋症と虚血性心筋症の鑑別に最も有用な検査はどれか。
  - a 冠動脈造影
  - b 心エコー検査
  - c Holter心電図
  - d 安静時心筋血流SPECT
  - e 血漿脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)測定

次の文を読み、8～10の問いに答えよ。

17歳の男子。交通外傷のため搬入された。

現病歴：乗っていた乗用車が対向車と衝突し、受傷したため搬入された。助手席に座りシートベルトをしていたという。

現症：頭部挫創から軽度の出血を認める。閉眼しており、痛み刺激を加えても開眼しない。顔面蒼白で冷汗を認める。口唇に裂創があり、出血した血液が口腔内に流れ込んでいる。呼吸は促迫しており、頻脈を認める。両上肢を触ると冷たく、湿っている。右下腿は明らかに変形している。病院到着直後に輸液と酸素投与とが実施されている。

8. 優先的に行うべきなのはどれか。
  - a 輸血
  - b 口腔内吸引
  - c 四肢の加温
  - d 右下腿の固定
  - e 頭部創の止血

9. 現症：体温 35.4℃。モニター上の心拍数 160/分。右上肢血圧 60/40mmHg。呼吸数 40/分。SpO<sub>2</sub> 90%(リザーバー付マスク 10l/分酸素投与下)。左前胸部は変形し、打撲痕を認め膨隆している。同部位に握雪感を認める。

身体所見としてみられないのはどれか。

- a 気管の左方偏位
  - b 左胸部の呼吸音低下
  - c 打診での左胸部鼓音
  - d 右と同程度の左上肢血圧
  - e capillary-refilling time延長
10. 血清電解質は、Na<sup>+</sup> 135mEq/l, Cl<sup>-</sup> 105mEq/l, HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 18mEq/lであった。  
アニオンギャップはどれか。
    - a 12mEq/l
    - b 16mEq/l
    - c 25mEq/l
    - d 34mEq/l
    - e 52mEq/l



## 宮崎県感染症発生動向 ～8月～

平成25年7月29日～平成25年9月1日(第31週～35週)

## ■全数報告の感染症

- 1類：報告なし。
- 2類：○結核：34例が報告された。保健所別報告数を【図1】に示した。患者が19例、疑似症患者が1例、無症状病原体保有者が14例で、患者は肺結核が1例、その他の結核(尿路結核、結核性胸膜炎等)が8例であった【表1】。男性8例・女性18例で、年齢別報告数を【表2】に示した。
- 3類：腸管出血性大腸菌感染症24例が報告された(保育所での集団感染事例含む)。宮崎市(2例)、都城(5例)保健所からの報告であった。患者が1例(HUS発症例なし)、無症状病原体保有者が14例で、患者の主な症状は、腹痛、血便、水様性下痢等であった。年齢別報告数を【表3】に、原因菌のO血清型別報告数を【表4】に示した。
- 4類：○重症熱性血小板減少症候群：2例報告された。都城・延岡(各1例)保健所管内での報告で、患者は60歳代と80歳代であった。主な症状は発熱、筋肉痛、嘔吐、全身倦怠感、血小板減少、発しん等であった。
- Dengue熱：3例報告された(宮崎市保健所管内2例、日南保健所管内1例)。いずれも海外渡航歴有り(渡航先は異なる)。
- ・患者は10歳代でDengue熱。主な症状は発熱、頭痛で、血清型はDengueウイルス3型。
- ・患者は30歳代でDengue熱。主な症状は発熱、頭痛、全身の筋肉痛、血小板減少、白血球減少等で、血清型はDengueウイルス1型。
- ・患者は40歳代でDengue熱。主な症状は発熱、血小板減少、白血球減少で、血清型はDengueウイルス2型。
- 日本紅斑熱：3例報告された(宮崎市保健所管内1例、日南保健所管内2例)。患者は70歳代が2例、80歳代が1例で、主な症状は、発熱、頭痛、刺し口、発しん、肝機能異常であった。
- レジオネラ症：宮崎市保健所管内で1例報告された。患者は80歳代で肺炎型。発熱、呼吸困難、肺炎がみられた。
- 5類：○後天性免疫不全症候群：宮崎市保健所管内で2例報告された。
- ・患者は50歳代でAIDS。指標疾患はカンジダ症、ニューモシスティス肺炎。
- ・患者は50歳代で無症候性キャリア。
- 梅毒：小林保健所管内で1例報告された。患者は20歳代で早期顕性梅毒(I期)。硬性下疳がみられた。
- 破傷風：宮崎市保健所管内で1例報告された。患者は80歳代で、筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、痙攣がみられた。
- 風しん：宮崎市保健所管内で1例報告された。患者は2歳で検査診断例。症状は発熱、発しんがみられ、ワクチン接種歴は1回(1歳時)。

## ■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,719人(定点あたり122.0で、前月比118%と増加した。また、例年と比べると104%と同程度であった。

前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は咽頭結膜熱、手足口病であった。

RSウイルス感染症の報告数は288人(8.0で前月の約6.4倍、例年の約1.1倍であった。延岡(26.5)、都城(13.7)保健所からの報告が多く、年齢別では6か月から1歳が全体の約7割を占めた。

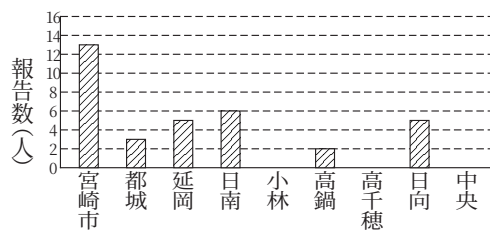


図1 保健所別報告数(結核)

表1 結核の病型及び報告数(人)

|           |    |
|-----------|----|
| 肺結核       | 11 |
| その他の結核    | 8  |
| 無症状病原体保有者 | 14 |
| 疑似症患者     | 1  |

表2 結核の年齢別報告数(人)

| 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 | 90歳代 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 1    | 5    | 3    | 4    | 2    | 6    | 11   | 2    |

表3 腸管出血性大腸菌感染症の年齢別報告数(人)

| 1歳 | 2歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 8  | 2  | 3  | 3  | 1  | 1  | 3  | 2  |

表4 腸管出血性大腸菌感染症O血清型別報告数(人)

|       | VT 1 | VT 1 | VT 2 |
|-------|------|------|------|
| O 26  | 14   |      |      |
| O 91  | 1    |      |      |
| O 103 | 8    |      |      |
| O 136 | 2    |      |      |
| O 157 |      | 1    |      |

前月との比較

|           | 2013年8月<br>報告数<br>(人) | 2013年7月<br>報告数<br>(人) | 例年<br>との<br>比較 |
|-----------|-----------------------|-----------------------|----------------|
| インフルエンザ   | 0                     | 40                    | 0.7            |
| RSウイルス感染症 | 288                   | 44                    | 1.2            |
| 咽頭結膜熱     | 326                   | 135                   | 3.8★           |
| ※溶レン菌咽頭炎  | 191                   | 237                   | 6.6            |
| 感染性胃腸炎    | 976                   | 1,013                 | 28.1           |
| 水痘        | 141                   | 162                   | 4.5            |
| 手足口病      | 938                   | 960                   | 26.7★          |
| 伝染性紅斑     | 5                     | 8                     | 0.2            |
| 突発性発しん    | 215                   | 178                   | 4.9            |
| 百日咳       | 1                     | 0                     | 0.0            |
| ヘルパンギーナ   | 465                   | 452                   | 12.6           |
| 流行性耳下腺炎   | 38                    | 51                    | 1.4            |
| 急性出血性結膜炎  | 1                     | 0                     | 0.0            |
| 流行性角結膜炎   | 130                   | 66                    | 11.0           |
| 細菌性髄膜炎    | 0                     | 0                     | 0.0            |
| 無菌性髄膜炎    | 2                     | 9                     | 1.3            |
| マイコプラズマ肺炎 | 2                     | 1                     | 0.1            |
| クラミジア肺炎   | 0                     | 0                     | 0.0            |

★ 例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## ■病原体検出情報(微生物部)

| 検 出 病 原 体 |                         | 件  | 臨 床 症 状 等                                                                                              |
|-----------|-------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 細菌        | 腸管出血性大腸菌(O 26:H 11vT 1) | 11 | ・胃腸炎, 血便, 水様性下痢<br>・無症状 ・下痢 等                                                                          |
| ウイルス      | エコーウイルス 18型             | 9  | ・髄膜炎, 38.6℃<br>・エンテロウイルス疑い, 39.2℃, 上気道炎, 発疹, 胃腸炎<br>・無菌性髄膜炎, 38.6℃, 気管支炎, 髄膜炎<br>・急性小脳失調症, 麻痺, 41.0℃ 等 |
|           | エコーウイルス 30型             | 1  | ・ウイルス感染疑い, 発熱                                                                                          |
|           | コクサッキーウイルス A 6 型        | 2  | ・手足口病, 38.3℃, 発疹 ・手足口病, 鼻水, 発疹                                                                         |
|           | コクサッキーウイルス B 2 型        | 1  | ・新生児感染症, 発熱, けいれん                                                                                      |
|           | コクサッキーウイルス B 3 型        | 3  | ・ロタワクチン接種後の下痢<br>・髄膜炎, 脳炎, 38.7℃, 肝機能障害<br>・エコーウイルス, 発疹                                                |
|           | デングウイルス 1 型             | 1  | ・デング熱・チクングニア熱疑い, 関節痛, 39.0℃, 発疹, 胃腸炎, 肝機能障害                                                            |
|           | デングウイルス 2 型             | 1  | ・発熱, 血小板減少, 白血球減少, 頭痛, 関節痛                                                                             |
|           | デングウイルス 3 型             | 1  | ・デング熱疑い, 39.3℃, 上気道炎, 胃腸炎                                                                              |

咽頭結膜熱の報告数は326人(9.1)で前月の約2.4倍, 例年の約2.8倍であった。日南(27.3保健所からの報告が多く, 年齢別では1～4歳が全体の約6割を占めた。

手足口病の報告数は938人(26.1)で前月と同程度, 例年の約1.3倍であった。日向(46.0), 宮崎市(37.8保健所からの報告が多く, 年齢別では6か月から2歳が全体の約8割を占めた。

流行性角結膜炎の報告数は130人(21.7)で前月の約2倍, 例年の約1.4倍であった。年齢別では20歳代から40歳代が全体の約半数を占めた。保健所別の定点あたり報告総数は, 宮崎市(32.3), 都城(13.0), 延岡(7.0)であった。

## ■月報告対象疾患の発生動向〈8月〉

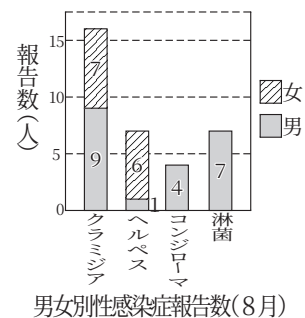
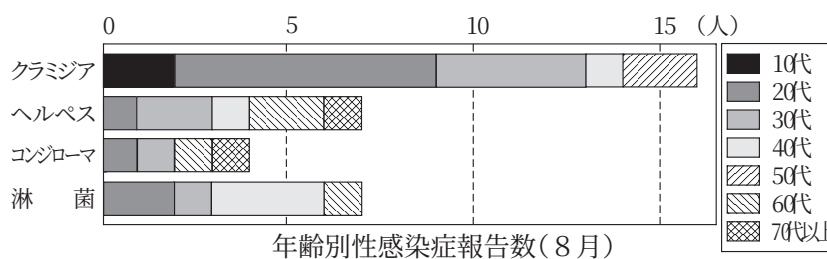
### □性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数: 13

定点医療機関からの報告総数は34人(2.6)で, 前月比79%と減少した。また, 昨年8月(3.8)の約7割であった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症: 報告数16人(1.2)で, 前月の約6割, 前年の約半数であった。20歳代が全体の約4割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症: 報告数7人(0.54)で, 前月の約1.8倍, 前年の約1.4倍であった。30歳代・60歳代がそれぞれ2人, 20歳代・40歳代・70歳以上がそれぞれ1人であった。
- 尖圭コンジローマ: 報告数4人(0.31)で, 前月の約4倍, 前年の約8割であった。20歳代・30歳代・60歳代・70歳以上がそれぞれ1人であった。
- 淋菌感染症: 報告数7人(0.54)で, 前月の約6割, 前年の約1.2倍であった。40歳代が全体の約4割を占めた。



### □薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数: 7

定点医療機関からの報告総数は28人(4.0)で前月比67%と減少した。また, 昨年8月(4.6)の約9割であった。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症: 報告数27人(3.9)で, 前月の約7割, 前年の約9割であった。70歳以上が全体の約6割, 5歳未満が約2割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症: 報告数は1人(0.14)であった(前月及び前年同月は報告なし)。患者は0歳であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症: 報告はなかった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症: 報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)

## 各郡市医師会だより

## 西 白 杵 郡 医 師 会

2006年より禁煙治療が保険適用され、さまざまな診療科を受診していた喫煙者の患者が各診療科で禁煙治療を受ける機会が多くなってきた。当院も2008年7月より禁煙治療に参加するようになった。喫煙はニコチン依存症という病名で保険診療できる病気であるが、多くの人は喫煙は趣味・嗜好で病気とは思わないため医師の治療を受けないし、病気と思っていない医療者も多く、喫煙者の治療に積極的ではないのが実状である。したがって喫煙は病気(依存症+全身病)であり、喫煙者は患者という認識を一般化し医療機関への受診を患者さんに勧めることが重要である。

喫煙習慣から脱却するためには、薬物療法と心理的社会的要因に対する行動療法の併用が効果的である。禁煙治療薬はニコチンガム、ニコチンパッチの2種類のニコチン製剤とニコチンを含まないバレニクリン(チャンピックス)であり禁煙直後から始まる離脱症状を抑える働きがあり、飲み薬による治療は初診から12週間、貼り薬による治療は初診から8週間が標準治療期間となる。当院ではバレニクリンによる治療を5年間施行調査の中で5回全て受診した場合の1年禁煙継続率は43%であった。いったん禁煙しても特に3か月以内に喫煙を再開しやすく、禁煙の継続のためには受診の機会や電話などを活用してフォローアップを充実させ、喫煙再開を防ぐ対処方法が身につくよう手助けすることが重要である。またすべての喫煙者にあらゆる機会(外来診療や健診等)を利用して短時間でも疾病予防の為、禁煙指導を繰り返し行うよう心がけている。

(佐藤 元二郎)

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

## 宮 崎 市 郡 医 師 会

本会では、救急の日の前日、9月8日の宮崎日日新聞に宮崎市夜間急病センターについての広告記事を掲載いたしました。「地域の救急医療下支え」と題して、一面を使って市長の挨拶、会長の説明、協力医師氏名を掲載しております。実情がとてもよく分かるもので、是非、会員および県民の皆様にご覧いただきたいと思えます。ただ、センターの抱える問題の一つに当直内科医不足の問題があり、会員の公平な分担が望まれています。

(神尊 敏彦)

◇ ◇ ◇ ◇

## 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

当医師会では、都城市より指定管理者の指定を受けている都城健康サービスセンターで、公

益活動の一環として「世界糖尿病デー」イベントや第1回目でたいへん好評でした、地域住民むけの「生活習慣病予防のための料理教室」の開催を予定しております。1月15日「世界糖尿病デー」での講演会(演題:元気な100歳)やアトラクション(ものまねタレント・橘太鼓)を行うイベントを計画しております。また、12月15日の料理教室は、生活習慣病予防の食事として、塩分・カロリーを抑えたお節料理です。たくさんの住民の参加を担当理事として願っています。

(宇宿 修隆)

◇ ◇ ◇ ◇

## 延 岡 市 医 師 会

医師会病院の運営が大変厳しい状況になっています。昨年度に比べ医師が2名減少し、収入が4月からの累計で7,800万円減少していま

す。1日平均入院患者数が、108床中40数名で推移し、7対1看護で必要な在院日数18日以内も6月と7月でクリア出来ていません。このままでは10対1に減点になりそうです。

しかし、9月からは、第3内科から松尾崇先生が来られることとなり、ドクターの負担も減り、入院患者数増加、平均在院日数改善となることを期待しています。（吉田 建世）

◇ ◇ ◇ ◇

### 日向市東臼杵郡医師会

8月27日に第15回となる救急実務者会議が開催されました。この会議は消防本部警防課が中心となり、救急医療機関の医師・看護師、行政、警察、消防救急隊職員が一堂に会し、顔の見える関係を築くために毎年開催されています。本年度は、集団(多数傷病者)事故発生時の受入対応について、消防本部の要望をもとに協議が行われました。救急医療機関から実際に受け入れた経験をもとに、多数傷病者受入対応基準を作っておくことが大事であるなど課題解決に向けた多くの意見が出されました。医師不足の中、地域において救急医療に携わる者がいかに協力し合えるかなど考える機会となっています。

（渡邊 康久）

◇ ◇ ◇ ◇

### 児 湯 医 師 会

今年もインフルエンザの予防接種の時期がきた。4年前の新型インフルエンザの大流行は、ワクチン接種などの問題で医療現場や行政に混乱が生じた。幸い、ウイルス自体は弱病原性で大問題にはならなかったが。しかし近い将来、新たな新型インフルエンザが流行する可能性もあり油断できない。感染症委員会の委員の一人として、今後も情報を注視していかななくてはと思う。（永友 研一）

◇ ◇ ◇ ◇

### 西都市西児湯医師会

2020年、東京でオリンピックが開催されることになった。本当に喜ばしい。今回は五輪招致団メンバーをはじめ、一般国民の関心も高く、IOC委員に熱心さが伝わった結果と思う。

これから、東京が緊張感にあふれ、今以上に活気が出てくると思うとワクワクする。

（水田 能久）

◇ ◇ ◇ ◇

### 南 那 珂 医 師 会

県立日南病院に今年4月から卒後臨床研修医が4名採用、診療に奮闘しています。毎日行われる研修医向けレクチャーの講師をコメディカルも担当するなど病院全体で関わっています。総合医育成サテライトセンターの後期研修医や宮崎大学からの研修医も含め、若い力が診療に当直に加わることで病院全体の雰囲気の変化を感じます。学生さん、来年以降も日南へ卒後臨床研修にいらっしゃい！（木佐貫 篤）

◇ ◇ ◇ ◇

### 西 諸 医 師 会

高原病院では、平成24年より男性看護師にも勤務してもらっております。平成25年には2名の男性看護師が採用されましたので、現在の看護師数は女性31名、男性3名です。平成6年までは当院でも男性看護師が働いていましたので、18年ぶりの復活となりました。これまで女性だけが集まっていた看護詰所も、若い男性看護師が入ったことで、穏やかな雰囲気になったように思います。

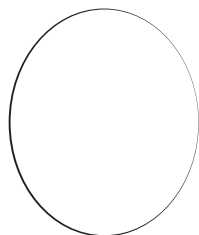
そして小林市に新たな看護医療専門学校が設置予定となりました。今まで以上に男女問わず、多くの若い看護学生が闊歩する姿を想像する昨今です。（莫根 隆一）

◇ ◇ ◇ ◇



## 宮崎大学医学部だより

### 総合周産期母子医療センター



さめしま ひろし  
鯨島 浩 センター長

#### 沿革

平成8年5月に、分娩部（産婦人科）と新生児集中治療室（小児科）が一緒になり、旧分娩部に「周産母子センター」が設置されました。平成10年4月、<sup>\*1</sup>NICUの施設基準として3床が認可され、<sup>\*2</sup>GCU 6床と併せて9床のセンターとしてスタートを切りました。その後増床され、平成20年4月には、ハイリスク妊婦と胎児を24時間監視するための<sup>\*3</sup>MFCU 3床が加わり、厚生労働省から「総合周産期母子医療センター」として指定されました。

周産母子センター開設以来、宮崎県内の周産期医療に関する独自の取組みが進み、母体・胎児期から新生児期にかけて一貫した管理を行っており、日本で最も安全にお産ができる体制となっています。

#### 診療体制

総合周産期母子医療センターは、大きく分けて2つの部門から成り立っています。主に出生前から分娩までを管理する母体胎児部門（MFCU 3床、分娩室2室）では、早産、前期破水、多胎、妊娠高血圧腎症（いわゆる妊娠中毒症）、胎児異常などの合併症を持つ妊婦さんを対象に、24時間態勢で産科医師と助産師が対応します。出生後の児を管理する新生児部門（NICU 9床、GCU 12床）では、昼間には専任の医師が3～5名（小

児外科医1名を含む）、夜間にも最低1人の医師と看護師が24時間態勢で勤務しています。また全診療科の協力をいただき、宮崎県の「最後の砦」として多くの合併症を持つ母体と新生児へ最先端の医療を提供できるよう体制を整えています。

#### 臨床成績

センターで取り扱う代表的疾患の1つが早産と出生した未熟児です。その中でも1,000g未満の児を「超低出生体重児」とよび、管理が難しいとされます。

在胎22週は子宮外で生存できる「生存限界」といわれ、平均出生体重は約500gです。当センターでは、在胎22週の未熟児でも約50%、25週以降では90%以上が救命できるようになっています。こうした成績は日本でも、世界でもトップクラスです。また、単に死亡率の改善だけでなく、インタクトサバイバル（後遺症なき生存）を目指して臨床研究も続けています。

#### 地域医療

宮崎県内の約30の産科病医院を、一次施設として位置づけ、主に低リスク妊娠を取り扱っています。一方、リスク因子がある妊婦については、7か所の二次医療施設（地域周産期医療センター）と1か所の三次医療施設（本院の総合周産期母子医療センター）で支援する体制となっています。

このようなネットワーク体制により、平成16年以降、宮崎県の<sup>\*4</sup>周産期死亡率は、出生1,000人当たり3.0～3.7に低下し、日本で上位を維持しています（図）。

#### 医学教育

大学病院として、医学生や研修医、看護師・助産師への医学教育を提供する場としての役割を担っています。毎週月曜日には、県内の周産期センター、国立循環器病センター（大阪）、ベルランド病院（大阪）、鹿児島市立病院、船橋中央病院（千葉）とのテレビカンファレンスを開催し、レベルアップを図っています。

#### おわりに

当センターの役割は、宮崎県の周産期医療の中核として機能することであり、目的を同じくする宮崎県産婦人科医会をはじめ、多くの県医師会会員の皆様のご協力に感謝します。

<sup>\*1</sup>NICU；新生児集中治療室

<sup>\*2</sup>GCU；回復期治療室

<sup>\*3</sup>MFCU；母体胎児集中治療室

<sup>\*4</sup>周産期死亡率；出産1,000に対する周産期死亡（妊娠22週以後の死産＋生後7日未満の早期新生児死亡）の比率

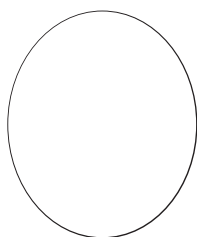
（准教授 こだま ゆき  
児玉 由紀）

図 宮崎県の周産期死亡率の推移



## 専 門 分 科 医 会 だ よ り

## (小 児 科 医 会)

み や け か ず あ き  
三 宅 和 昭 会 長

現職会長を突然失うという、宮崎県小児科医会にとっての非常事態から早くも 1 年。直後の九州小児科医会総会を無事終え、ようやく落ち着きを取り戻しつつあります。

平成 25 年 3 月 22 日には、総会・学術講演会を開催。

佐藤会長の残された任期 1 年は、暫定的に私が、会長職を引き継ぐことになりました。来たる 11 月 10 日には、秋季学術集会を開催する予定です。

会員数 96 名 (A 会員 56 名・B 会員 40 名) の宮崎県小児科医会。小児医学の研修・小児医療の質の向上・小児保健の充実を図り、地域医療に貢献すべく、活動を行っています。

近年、小児医療における予防接種の比重が、とみに高まっております。世界では既に実績のあるいくつかのワクチンが、わが国でもようやく使えるようになりました。ワクチン後進国の汚名を何とか返上しようという関係者の努力で、平成 25 年度からは、インフルエンザ桿菌 b・肺炎球菌・それにヒトパピローマウイルスのワクチン接種が、定期化されました。

接種回数を減らすための混合ワクチンや、より広いターゲットを狙ったワクチンも、次々と使えるようになりました。

その結果、未だ定期接種に組み込まれていない、水痘・流行性耳下腺炎・B 型肝炎・ロタウイルスのワクチンを加えると、生後 2 か月から 1 歳までに 6 種類・15~16 回の接種が必要となります。さらに 1 歳代で 3 種類の生ワクチンの初回接種や、3 種類の不活化ワクチンの追加接種など、少なくとも、6 回の接種が必要となります。この時期に日本脳炎のワクチンを始める

と、7 種類 8 回。さらに就学前の 1 年間には、生ワクチン 3 種類の追加接種が勧められております。

この過密なスケジュールを全うするために、多くの小児科医は、同時接種を始めております。おっかなびっくり始めた同時接種も、次第に社会的にも認知されるようになり、開業小児科医の外来では、ごく当たり前の日常風景になってきております。

新たなワクチンの効果は、目を見張るべきものがあります。すでにインフルエンザ桿菌 b による細菌性髄膜炎は、開始前の 7 分の 1 にまで減少したとの報告も出始めました。肺炎球菌ワクチンも、まもなく 7 価から 13 価へと、より広い領域をカバーできることになる予定です。

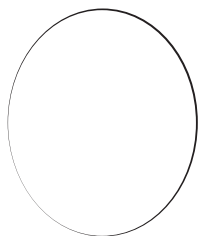
これで「高熱が出ると馬鹿になる」だから「熱が出たらすぐに病院に連れて行って、抗生物質を貰わなくっちゃあ」この誤った言い伝えの呪縛から、若い両親を解放してあげられる時が、ようやく訪れてきたのです。

しかし、予防接種には限界があるのも事実です。流行が減ってブースター効果が得られなくなり、幼児期にワクチン接種を受けていた大学生に麻しんが流行したのは、つい 6、7 年前でした。昨年来の風疹大流行でも、そうした接種歴のある成人が、少なからず含まれております。生ワクチンについても、複数回接種が必須の時代になっているのです。

医学・医療が進歩したこの時代でも、小児医療の中心は、依然、感染症との闘いです。我々小児科医は、未来ある子ども達の健やかな成長のために、今後とも奮闘し続けねばなりません。

(三宅 和昭)

## メディアの目



## “ 熱かった ” この夏

NHK 宮崎放送局 放送部長

おく の けい た  
奥 野 慶 太

「アツかったなあ〜」…高くなった空を見上げるたび、猛暑と同じくらい“ 熱かった ” この夏がよみがえる。高校野球、延岡学園のことだ。予選(県大会)の時は仕事柄、取材対象とは一定の距離感を持って接することになっていたのだが、本大会は別物。県代表を応援する立場で甲子園での戦いぶりを伝えてきた。そして、一戦また一戦と勝ち上がっていった時の興奮と一体感！クジ運だ、相手の不調だ…アレコレ理由付けを試みる輩もいなくもなかったが、そんなことはない。「勝ったチームが強い」のだ。そして県勢史上初、遂に立った決勝の大舞台。どれほど多くの県民の方が、県出身者の方々が声援を送り、勝利を祈ったことだろう…？結果はご承知の通りでここでは繰り返さないが、私自身は宮崎に赴任して1年余り、生まれも育ちも県外ではあるが、自分がこれほど“ 宮崎人 ” であることを感じ、誇りに思ったことはなかった。「本当によく戦ってくれた…」と選手・監督、関係の皆様には拍手を送りたい。

私どもNHK 宮崎放送局でも大会後、特集番組を制作・放送した。当時の作戦、心境などをじっくりと聞いて、その証言と試合映像を軸に構成した50分の番組で、重本監督の「ひとつひとつ、

着実に積み重ねてきてくれた」という言葉が印象に残る。「躍進の裏に何があったのか？」「監督と選手の絆」という企画意図にどこまで迫れたのか、心もとない部分もあるが、ご覧いただいた方は感想をお寄せ下さると有難い。

それにしても、改めて思う。この高校野球の魅力とは一体何だろう？「野球」というスポーツそのものの面白さも、もちろんある。この場合は送りバントか強硬策か？走って揺さぶるか？…一球一球に繰り広げられる攻撃と守備の駆け引き、思惑の交錯、エラーやファインプレーなど筋書き外の展開…野球とはかくもデリケートな競技だと、つくづく感じる。しかしそれ以外にもさまざまな魅力がある。いや、おそらくその「さまざま」の方がずっと大きいに違いない。今年の甲子園では選手の健康・体調面に配慮して、準々決勝と準決勝の間に1日の休養日を設けた。その効果や展開は今後を待つ必要もあるだろうが、こうした取り組みが熱闘を支えた面も見逃せない。甲子園に釘づけになった「熱い」夏。これからも県代表の応援団として球児達の繰り広げる熱い戦いを伝え、高校野球の魅力に迫っていければと思う。

## — 各種委員会 —

## 諸 規 程 検 討 委 員 会

と き 平成 25年 8月 26日(月)

ところ 県医師会館

テレビ会議：延岡・西諸

担当の立元常任理事の進行により開会、稲倉会長の挨拶の後、諮問事項「定款変更後の諸規程の見直しについて」が長倉委員長に手渡され、報告・協議に入った。

## 報 告

## 1. 定款及び諸規程検討の経過について

立元常任理事より、平成 20年に定款・諸規程検討委員会が設置されてから現在までの検討経過が報告され、本委員会では、まだ変更案が提出されていない4つの規程を中心に検討することが説明された。

## 協 議

## 1. 裁定委員会規程(案)

日医及び他県を参考に作成した変更案について説明が行われた後、文言等の検討が行われた。その結果、以下の意見を取り入れた委員会案を承認し、委員確認の上答申にまとめることが承認された。

- ・裁定委員会の審議事項、調停の申請

定款と比較し業務範囲が拡大しているので、他県の規程を参考に變更し、定款に沿った形にする。

- ・郡市医師会の執行延期の通告と意見書提出  
県医師会で規定するより郡市医師会の裁定委員会規程の中で「不服がある場合は県医師会の裁定委員会に異議を申し立てることができる」等の文言を入れてもらうようお願いの方が良いので案からは削除する。
- ・意見書未提出の取り扱い

「申請書だけで審査することができる」を「審査し裁定することができる」に変更する。

- ・合同審査会の設置

他県でも採用していないので、この機会に外す。

## 2. 議事細則

## 3. 医事紛争対策・処理委員会規則

2と3については現行規程の運用上の問題を確認した後、変更案を次回の委員会に提出する旨提案があり、了承された。

## 4. 監査規程

公益法人制度改革により、法人法によって監事の立場と業務が明確化され、会として監査規程を検討するより監事が承認する監査規程を設置することが妥当であるため、既に変更し、監事に承認いただいている旨説明があった。

最後に、次回の委員会を 10月頃に開催することを申し合わせ、終了した。

出席者一長倉委員長、市来副委員長、溝口・野口・花田委員  
(県医) 稲倉会長、富田副会長、立元・吉田常任理事、大重事務局長、竹崎課長、喜入主事

## 医 学 会 誌 編 集 委 員 会

と き 平成 25年 9月 9日(月)

ところ 県医師会館

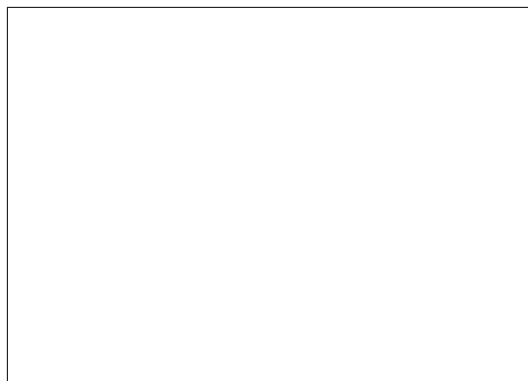
上田理事より開会、協議が行われた。

掲載論文 20編からなる第 3巻第 2号のカテゴリーの検討が行われ、総説 2編、臨床研究 3編、症例 7編、診療 5編、地域医療 2編、クリニック

ルカンファレンス 1 編と、編集後記担当者を決定した。

第 38 巻第 2 号総説の執筆依頼については、委員長へ一任することが承認された。

出席者ー菊池委員長，東・後藤・山田・古川・  
森・坪井・植田・松本・上園・稲津・  
松岡・竹永・阿南委員  
(県医) 富田副会長，上田・直井理事，  
久永課長，高山主事



## 女性医師メーリングリストのご案内

仕事や育児のちょっとした悩み相談やお役立ち情報の提供など，女性医師同士で気軽に情報交換を行いませんか。女性医師であればどなたでも参加できます。医師会の会員・非会員，現在の仕事の有無などは問いません。

《お申し込み》

E-mail: wdr-admin@iyazaki.med.or.jp

FAX: 0985-27-6550

※「女性医師メーリングリスト申込書」は，宮崎県医師会ホームページのDoctors Pageからダウンロードできます。

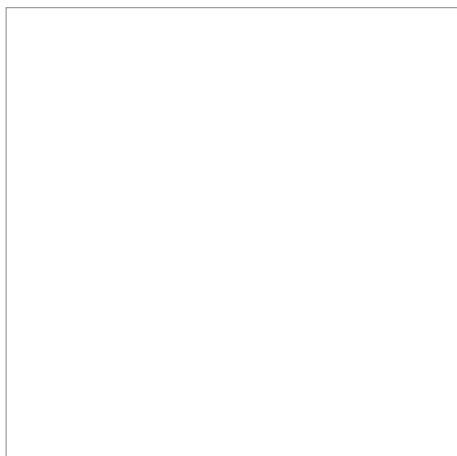
《お問い合わせ》

宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 野尻・小川





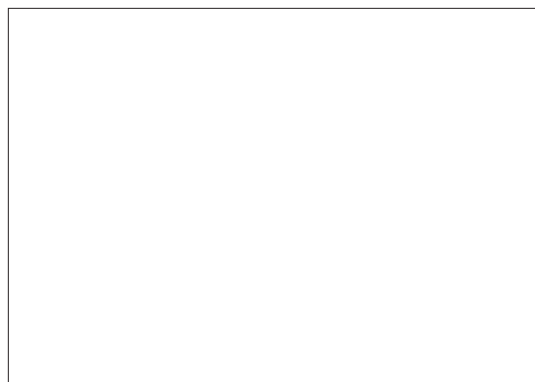
## 第 5回九州ブロック学校保健・学校医大会 平成 25年度九州学校検診協議会(年次大会)

と き 平成 25年 8月 3日(土)～4日(日)

ところ ANA クラウンプラザホテル

沖縄ハーバービュー(那覇市)

メインテーマ：「健やかな子どもの未来 ～子どもたちとの絆を求めて～」



8月3日、4日に那覇市において九州ブロック学校保健・学校医大会ほか関連行事が開催された。4日午前中に開催された平成 25年度九州学校検診協議会では、心臓・腎臓・小児生活習慣病の部門ごとに教育講演が行われた。心臓部門では「学校検診におけるQT延長症候群」と題し、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児循環器科副部長 高橋一浩先生、腎臓部門は「検尿のみかた・考え方ーCKD ビジュアルシンキング」と題し、琉球大学大学院医学研究科循環器・腎臓・神経内科学講座講師 古波蔵健太郎先生、小児生活習慣病部門では「信州発」青少年の健康教育プログラムの開発について」と題し、信州大学医学部保健学科教授 本郷実先生による講演が行われた。

分科会における眼科部門では、「日本人の失明

原因・沖縄の失明原因」「緑内障疫学調査」と題し、琉球大学医学部高次機能医科学講座視覚機能制御学分野教授 澤口昭一先生、耳鼻咽喉科部門では「検診からみた耳鼻咽喉科疾患の変遷」と題し、琉球大学大学院医学研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座教授 鈴木幹男先生、並びに「きこえと遺伝子」と題し、琉球大学大学院医学研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座助教 我那覇章先生、運動器部門では、「学校での骨折をどう防ぐか」と題し、沖縄赤十字病院整形外科第一部長 大湾一郎先生、並びに「学校運動器検診について～発育期のスポーツ傷害予防～」と題し、沖縄リハビリテーションセンター病院整形外科部長 大嶺啓先生による講演が行われた。

午後からは九州医師会連合会学校医総会が開催され、稲倉会長が、次期は平成 26年 8月 2日(土)～3日(日)に宮崎観光ホテル(宮崎市)において開催する旨、次期開催県医師会会長挨拶を行った。その後、第 5回九州ブロック学校保健・学校医大会が開催され、初めに「防煙・禁煙教育～何をどこまで伝えるか～」と題し、光潤会平間病院長 平間敬文先生より講演があった。子どもたちへの防煙・禁煙教育として教職医療職は、タバコビジネスから得られる莫大な収入に関わる政治・経済的圧力と、ニコチンの持つ依存性と戦わなければならない。タバコは健康に悪いことを検証し、伝え理解させなければならないとの内容であった。次に「学校健診と発達障害への対応」

と題し、鳥取大学地域学部地域教育学科准教授 関あゆみ先生の講演が行われた。学校医は保健指導に従事することが法的に義務付けられている、学校健診において発達障害の児童生徒を意

識して関わる必要があり、教師の気づきを保護者につなぐ役割を担うなど、かかりつけ医や学校医の積極的な医療参加が求められるとのことであった。

## 平成 25 年度九州学校検診協議会幹事会

九州医師会連合会の宮城会長、九州学校検診協議会の松田会長の挨拶の後、慣例により、松田会長が座長に選出され、協議に入った。

### 1. 平成 24 年度九州学校検診協議会の事業報告並びに決算について

福岡県より事業報告並びに決算について報告があった。また、平成 24 年度の九州各県別突然死(心臓性急死)発生状況について、3 例(福岡県小 1 女児及び中 3 女児、長崎県の高 3 女児)の報告があった。

### 2. 平成 25 年度九州学校検診協議会の事業計画並びに予算について

福岡県より事業計画並びに予算について説明があった。平成 25 年度も専門委員会を 2 回開催する。各県の分担金を含めた予算案も含め全会一致で承認された。なお、26 年度以降は、九州医師会連合会の補助金の増額をお願いしたいとの説明があった。

### 3. 平成 25 年度(第 30 回)九州学校検診協議会第 1 回専門委員会について

先に行われた各専門委員会別協議事項について心臓・腎臓・小児生活習慣病の部門ごとに報告が行われた。

### 4. 小児生活習慣病予防健診に対する九州全体としての取組み 九州各県より各県教育委員会への要望について(佐賀県)

九州各県医師会が各県の教育委員会に対し要望書を出すことが承認された。

### 5. その他

腎臓検診部門について、九州での学校検尿における判定基準の「+」での統一化並びに学校検尿成績の開示について(熊本県)

九州各県医師会が各県の教育委員会等に対し要望書を出すことが承認された。

出席者一稲倉会長、富田副会長、高村理事、  
宮田学校医部会理事、  
澤田学校医部会学校検診委員、  
大重事務局長、小川課長、野尻・  
鳥井元係長

## 九州各県医師会学校保健担当理事者会 (日本医師会学校保健担当理事との懇談会)

沖縄県宮城会長、日医道永常任理事の挨拶の後、慣例により、宮城会長が座長に選出され協議に入った。  
協 議

### 1. 文部科学省委託事業の「学校保健課題解決支援事業」(都道府県教育委員会等へ委託)を活用した、九州各県医師会の取組みについて(鹿児島県)

鹿児島県から、学校保健課題解決支援事業を活用し、各種感染症や、アレルギー疾患、メンタルヘルス等の児童生徒の現代的健康課題に対応するための取組みを行いたいと考えているが、各県の取組みについて伺いたいとの提案理由が説明された。

長崎・大分・福岡県等では本事業を活用し、公立学校や関係組織等へ専門医を派遣し研修会やシンポジウムを実施している。宮崎県では本事業ではないが同様の取組みを行っていることが報告された。

## 2. 学校現場におけるエピペン注射の実施について(沖縄県)

沖縄県から、アナフィラキシーショックを起こし自らエピペン(アナフィラキシー補助治療剤〔アドレナリン自己注射薬〕)注射をできない児童に代わり学校教諭が注射をすることが認められているが、教職員からはエピペン取り扱いについて戸惑う声が挙がっている。各県のエピペン取り扱いに係る状況を伺いたいとの提案理由が説明された。

各県ともに教育委員会で研修会等が企画開催されていることが報告された。日医道永常任理事からは、学校現場だけでなく幼稚園・保育園も危機感を持っている。積極的に講習会を実施するようにとの意見があった。

### 中央情勢報告

日医道永常任理事から協議 1～2 について、日医の見解が示された。

学校保健課題解決支援事業については、25 年度は長崎・熊本・鹿児島・大分・福岡の 5 県で本事業が実施される。長崎と大分県では県医師会も参画して成果をあげている。委託額については教育委員会が文科省に提出する

企画によって決定するものであり、今年度の実績が来年度の予算にも影響してくるので各県教育委員会の事業実施状況について確認し、医師会が協力できることについては対応をお願いしたいと述べられた。埼玉県教育委員会と埼玉県医師会等の取組み事例についても報告された。

学校におけるエピペン注射の実施について、文科省では、昨年 12 月の調布市での女子児童の死亡事故を受け、学校給食における食物アレルギー対応に関する調査研究協力者会議を設置し、エピペンの投薬基準などを加えた中間報告を行った。また、8 月からは全ての児童生徒に食物アレルギー実態調査を行う予定であり医師会も協力していきたい。また、エピペンに関しては、食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会を日本学校保健会とファイザーが共催で行っているが、全国をカバーできていないことを認識しているとの報告があった。

中央情勢報告として、文科省では学校における健康診断のあり方等に関する検討会が開催されている。日医における学校保健委員会の中間答申では、学校保健への医師会の参画、健康診断の効率化・精度向上のための保健調査の充実、学校保健課題解決支援事業実施に係る医師会との連携、児童生徒の健康支援の仕組み(仮称)の確立を主なポイントとして挙げており、これを文科省へ提言・要望として提出しているとの報告があった。

出席者一稲倉会長、富田副会長、高村理事、  
大重事務局長、小川課長、野尻・  
鳥井元係長

## 平成 25 年度九州医師会連合会学校医会評議員会

沖縄県宮城会長の挨拶の後、宮城会長が議長に選出され議事が進行された。

### 報 告

1. 平成 24 年度九州医師会連合会学校医会事業について(福岡県)
2. 平成 24 年度九州医師会連合会学校医会歳入歳出決算について(福岡県)  
福岡県より資料に基づき報告があり、1 .2 .  
ともに承認された。
3. 平成 25 年度九州医師会連合会学校医会事業経過について(沖縄県)  
沖縄県より資料に基づき報告があった。

### 議 事

第 1 号議案 平成 25 年度九州医師会連合会  
学校医会事業計画に関する件  
(沖縄県)  
沖縄県より説明があり、原案どおり承認された。

第 2 号議案 平成 25 年度九州医師会連合会  
学校医会負担金並びに歳入歳出  
予算に関する件(沖縄県)

沖縄県より負担金並びに予算案について  
説明があり、原案どおり承認された。

第 3 号議案 第 58 回・第 59 回九州ブロック  
学校保健・学校医大会開催担当  
県に関する件(沖縄県)

第 58 回(平成 26 年度)開催を宮崎県担当で、  
第 59 回(平成 27 年度)開催を長崎県担当で開  
催することが提案され、承認された。第 58  
回(平成 26 年度)の日程は、平成 26 年 8 月 2  
日(土)～3 日(日)、宮崎市の宮崎観光ホテルを  
予定している。

出席者一稲倉会長、富田副会長、高村理事、  
大重事務局長、小川課長、野尻・  
鳥井元係長

### お知らせ

## クールビズについて

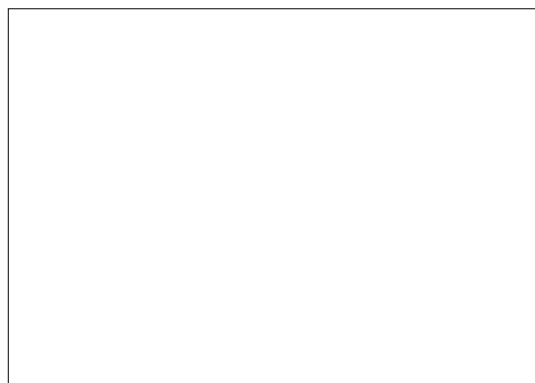
県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成 25 年 5 月 1 日より平成 25 年 10 月 31 日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。



## 平成 25年度九州学校検診協議会 第 1 回専門委員会

と き 平成 25年 8 月 3 日(土)

ところ ANA クラウンプラザホテル  
沖縄ハーバービュー(那覇市)1. 心臓部門 座長：吉永 正夫  
(鹿児島県医師会学校保健委員会委員)

## 報 告

九州各県における学校管理下の心臓性突然死  
(平成 24年度)について(福岡県)

九州各県で毎年継続調査を行っており、平成 24年度の学校管理下での突然死は、福岡県 2 例、長崎県 1 例の 3 名が報告された。

症例 1；福岡県の中学 3 年女子生徒が、テニスの成績が伸びないことで 25kg の減量という過激なダイエットを行い、神経性食思不振症と甲状腺機能低下症を発症し、身長 152cm、体重 24kg と極度のやせ状態であった。危険性があり、母親同伴の修学旅行中に心肺停止状態となり亡くなった。心臓検診・学校検診として異常なしであったが、異常なやせ状態であり、学校で観察しておく必要があったと思われる。

症例 2；長崎県の高校 3 年女子生徒は、心臓検診では心電図異常なし、特記なしであっ

たが、高校総体の観戦のため早朝 6 時頃にバス停に向かう途中の近所で倒れているのを、たまたま出勤途中の父親が発見し、蘇生を試みたが死亡した。原因は不整脈死と思われる。

症例 3；福岡県の小学 1 年女子児童も、心臓検診では心電図異常なし、特記なしであった。ホームルームに運動場で鬼ごっこ中に、担任の所に駆け寄ってきて突然倒れ、そのまま心肺停止となり、心肺蘇生しながら AED を 2 回かけたが作動せず、救急搬送されたが死亡した。現場への指導としては、その場で心臓マッサージをすぐに行うことを指導したい。

## 協 議

1) 学校心臓検診二次検診対象者の抽出基準  
について(大分県)

大分県から、心臓検診の 2/3 を学校心臓検討委員会で行っており、二次検診への判定基準は緩くして、医師も充足していたので見落としのないように広く対象者を拾える状況であった。しかし、今年度は二次検診に従事する医師が大幅に減少し、二次対象者を絞り込む必要が生じている。スクリーニングの精度を落とすことなく、二次検診対象者を減らすためには判定医が共有できる診断基準の確立が必要で、検診の効率化にも繋がる。各県の見解を伺いたいとの提案理由が説明された。

九州各県から、様々な判定基準や対応が報告されたが、郡市医師会でも対応が異

なっている状況等が報告された。高村理事からは、宮崎市郡医師会では、小児科と循環器のドクター 20 数名の判定医で、基準値を設けて共通した認識で行っており、最後に全員でスライドでダブルチェックの確認作業を行い、二次に回している状況が報告された。

座長からは、各県の郡部での検診が問題だと思うので、基準やポイントをまとめて、後 2 年程度でこの会で九州内の心臓検診判定医が共有できる診断基準を示していきたいと抱負が述べられた。

## 2) 心臓検診時の統一病名の報告について (鹿児島県)

各県から、平成 24 年度の学校心臓検診の集計結果が報告され、福岡県より集計の統一についての提案があり、後日、統一した病名・集計表を福岡県で作成して、次回の 11 月の専門委員会に、各県で総数や頻度のデータがしっかりと管理されている郡市医師会分の最終診断のデータを提出することとなった。

## 3) 成人期に達した先天性心疾患の診療形態について(沖縄県)

沖縄県から、成人期に達した先天性心疾患の診療形態が問題となっているが、九州各県において小児科から内科への移行をどのように行っているか、各県の状況を伺いたいとの提案理由が説明された。

九州各県から、小児科から内科・循環器への移行がうまくいっていない現状や、小児科から循環器に相談して移行させている等が報告された。高村理事からは、複雑心奇形については、専門機関の宮大病院と県立宮崎病院の小児科でフォローしている現状が報告された。

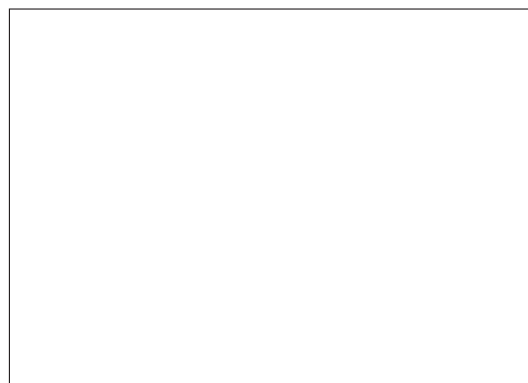
## 4) 児童生徒の心肺蘇生事例調査の検証及び今後の対応について(福岡県)

福岡県から、「児童生徒の心肺蘇生事例調査」を消防・学校の協力で実施しており、その結果を有効活用し、心臓検診並びに現場(学校・家庭・救急など)に反映できるように努める必要がある。課題として、報告依頼の徹底、集計方法、結果解析、心臓検診へのフィードバック、追跡調査に関する申し合わせ、調査項目の変更の必要性があると思慮されるので、各県の意見を伺いたいとの提案理由が説明された。

協議の結果、タイトルを児童生徒から「小児の心肺蘇生事例調査」とし、対象年齢を小学生から高校生ではなく、0 歳から 20 歳未満までとして、集計については、消防庁のデータの抽出に併せて、1～12 月分のデータを翌年の 2 月頃に消防・学校等に依頼し、4 月までには報告して、九州全体の集計結果とすることとなった。また、死亡例の心電図については、この会で検討を行ってきたいので、各県においても手に入れるように努力していくこととなった。

出席者一高村理事、小川課長

## 2. 腎臓部門 座長：服部 新三郎 (熊本県医師会学校検診委員会委員)



## 【提案事項】

- 1) 九州学校腎臓病検診マニュアル：「正しい尿のとり方」に注意事項を加えることについて(長崎県)

長崎県から、尿検体にほとんど「水」ではないかと思われるものが散見される。水洗トイレの水溜りに排尿しそれをスポイトで採取しているのではないかと推測される。件数も少なくないので「直接コップに採尿する」ことを注意書きに加えてはどうかとの提案理由が説明された。

宮崎県では比重を測り、ミスだと分かれば取り直しを行っていることが報告された。次のマニュアルの改訂のときに注意事項に加え注意喚起すると同時に各県でも改めて注意を促すことになった。

- 2) 九州学校腎臓病検診マニュアルの運用要項の作成について(宮崎県)

- 5) 九州学校腎臓病検診マニュアルの学校への配付について(福岡県)

2), 5)については併せて協議された。

宮崎県から、マニュアルをより利用しやすくするため、各県医師会は毎年、各郡市医師会へマニュアルを送付し、基準にそって診断するよう通知する等、運用ついでにの要項を作成してはどうかとの提案理由が説明された。

福岡県から、マニュアルについて養護教諭への認知が進んでいない。マニュアルを学校に配付し普及を図る方法を考えたいとの提案理由が説明された。

各県におけるマニュアルの配付状況としては、紙ベースで配付、インターネットからダウンロード、メールで配付等、各県で対応が異なっている。配付先及び配付方法については、学校関係者と医師会関係者へは必ず送ってもらわなければならないが、

費用の問題もあるので、今後各県で検討してもらおうこととし、運用要項とともに毎年各県の状況を確認することになった。

- 3) 九州学校腎臓病検診マニュアル(九州マニュアル)の次改訂について(鹿児島県)

鹿児島県から、現場での混乱をさけるためにも九州マニュアルの次回改訂分から、日本学校保健会が出版する「学校検尿のすべて」、「学校検尿のしおり」との整合性を検討すべきではないかとの提案理由が説明された。

- ①診断名について、無症候性〇〇症候群の症候群を省き、無症候性〇〇に変更する。

- ②無症候性蛋白尿の運動区分を細分化し尿蛋白 /cr比 0.2～0.4は区分E、0.5～0.9を区分DまたはEにする。

- ③無症候性蛋白尿血尿・慢性腎炎症候群についても、肉眼的血尿、低蛋白血症、低補体血症、高血圧、腎機能障害の存在がなければ尿蛋白 /cr比が 0.9以下なら②と同様の区分に変更する。以上について、次回改訂までに新旧対照表を作成し意見を伺うことになった。

- 4) 九州での学校検尿における判断基準の統一化並びに学校検尿の開示について

(熊本県)

福岡県から、昨年 11月に決定していた要望書(案)の説明があった。

本要望書を九州学校検診協議会長より、九州各県医師会に対し教育委員会等へ要望いただくようお願いすることになった。

- 6) 収集データの今後の活用と存続について

(福岡県)

今後も専門委員会の責任において、福岡メディカルセンターでデータ収集を行い活用していく体制を存続していくこととなった。

また、24 年度学校検尿結果については、年度を比較しても大きな変化は無く、スタンダードな結果になっており、貴重なデータ収集ができていることが総評された。

出席者—宮田学校医部会理事，野尻係長

3. 小児生活習慣病部門 座長：田崎 考  
(九州学校検診協議会専門委員)



【提案事項】

1) 平成 24 年度九州地区尿糖陽性者群集計結果のまとめについて(佐賀県)

佐賀県から、例年の小・中学校と併せて追加集計した高校の集計について報告された。公立高校の回収率は約 56.9%であったが、私立高校は低い回収率であった。

尿糖陽性カットオフの九州における基準をどこにするかを決めてから集計しないと、統一した集計結果が出ないのではとの意見があり、腎臓グループとの調整が必要であるが、検査センターへの調査を行い、11 月に最終的にまとめることになった。

2) 小児生活習慣病予防健診の標準化と普及のための教育委員会への働きかけについて  
(佐賀県)

佐賀県から、地域によりばらつきがある小児生活習慣病予防健診の標準化と普及を図るには、教育委員会及び学校現場の理解

と協力が不可欠であり、まずは、各県の教育委員会の理解を得るために九州各県医師会より各県教育委員会へ働きかけ(要望)を行ってもらいたいとの提案があり、本委員会で承認され、委員会終了後に開催される幹事会へ提案することになった。

3) 一次検診のチェック内容について(佐賀県)

佐賀県から、各学校で行われている学校検診の身体計測結果を利用して、肥満度がプラス 30%以上、マイナス 20%以下の子どもたちを二次検診対象者としてほしいとの提案があり、承認された。

対象とする学年について、検診の時期は心臓病調査票を利用して小 1、小 4、中 1 の案があり、小 4 では女子が思春期に入ること、男子は遅い方が望ましいことなどから、まず中 1 で実施してはどうかとの意見が提案され、承認された。

4) 二次検診について(佐賀県)

佐賀県から、養護教諭より二次検診対象者の保護者に対し、かかりつけ医または校医へ受診するよう勧奨してもらい、その際には九州地区として統一した検査依頼書を作成する。検査項目については統一し、その結果を集計して九州全体としてまとめることが提案された。

検査依頼書は、今年度から実施されている福岡県メディカルセンターのものと、来年度から実施予定の北九州市のものを参考にしたい。

検査項目の中にインスリンがあり、保険診療で実施するとしたらレセプト病名が必要である。疑い病名では保険診療上、適応対象外になることや二次検診にかかる費用等の問題があるとの意見があった。

また、北九州市では二次検診対象者を抽出するのは養護教諭ではなく、医師会で実

施し、その結果を医師会と教育委員会の連名で学校に報告し保護者へ通知しており、学校からの問い合わせ等は校医で対応するようになったとの報告があった。

なお、養護教諭の認識もバラバラであり、児童を個別指導すると、いじめの対象になることや、プライバシーの問題があるという学校側の意見や、家族の問題等があるとの意見があった。

5) 学校検診における生活習慣病のスクリーニングにおける採血の重要性について  
(大分県)

大分市は小学 5 年生に生活習慣病のスクリーニングの血液検査を実施しており、生活習慣病健診では、肥満度が正常であるにもかかわらず、治療を要する高Chol血症、高TG血症が発見されている。これらの高脂血症は採血しなければ発見できないので、肥満度をもとにしたスクリーニングには限界があるとの意見等があった。

出席者一澤田学校検診委員会委員，鳥井元係長

## ご案内

### 宮崎県医師会親善ゴルフ大会

県医親善ゴルフ大会を本年は下記の日程で開催いたします。ぜひ会員の先生方お誘い合わせのうえ、10月15日(火)迄に、県医師会総務課までお申し込みください。詳細は8月上旬に、FAX(A会員)とハガキ(B会員)にてご案内しておりますので、ご確認ください。

と き 平成 25年 10月 27日(日)  
ところ ハイビスカスゴルフクラブ  
宮崎市佐土原町下田島 21085-1



## 第 14 回宮崎県医師会医家芸術展

理事 高<sup>たか</sup>橋<sup>はし</sup>政<sup>まさ</sup>見<sup>み</sup>

今回で第 14 回を迎えました医家芸術展は、8 月 13 日(火)から 18 日(日)まで県立美術館県民ギャラリーにて開催されました。46 名の医師会員及びご家族の方々より書道・絵画・写真の 3 部門に 111 点の応募をいただきました。出展者の方々に厚く御礼申し上げます。

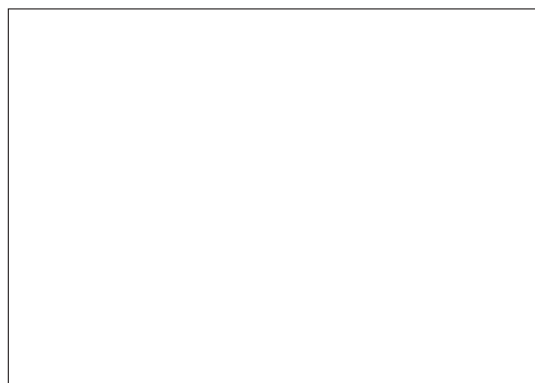
世話人の山内励先生(書道)、藤木浩先生(絵画)、押川紘一郎先生(写真)には多大なご尽力をいただきました。深く感謝申し上げます。なお、作品の一部は作者のお許しを得て、日州医事の表紙を飾ることになっています。

猛暑の中にもかかわらず、多くの医療機関がお盆休みということとマスコミからの取材による報道もあり、入場者は例年を大幅に上回って 6 日間で 2,400 人を超えました。毎年の行事として定着していることがうかがわれ、スタッフ一同喜んでおります。

開催期間中の入場者数は以下のとおりです。

13 日(火) 313 人, 14 日(水) 474 人, 15 日(木) 402 人  
16 日(金) 430 人, 17 日(土) 449 人, 18 日(日) 348 人  
6 日間 計 2,416 人

来場者の方々より「素晴らしい作品に感動した」との感想を多数いただきましたので、一部ですが紹介いたします。



○日々多忙の中、先生、家族の方々の芸術展を拝見させていただき、すべてプロ並みの作品に感動致し、ありがとうございました。

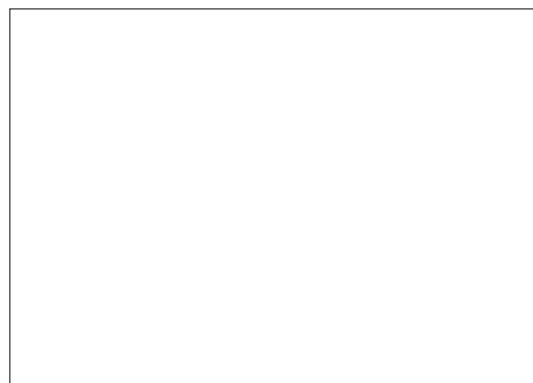
○こんなにも心豊かな方々が、宮崎の医療現場で命と向き合ってくださいっている、そう思うと、とても安心できました。これからも、お体に気をつけて、医療・芸術ともに頑張ってください。

○若い頃仕事をご一緒させていただいた先生の絵を拝見しお元気な様子で安心と同時になつかしきで一杯です。

○今回もまた力強く希望をいただける作品を見せていただき、有難うございました。今後共お体には気をつけられ、素晴らしい作品を書きつづけてください。

たくさんのご出展をいただき、また多くの方にご来場いただいて今回も無事終了することができました。来年の医家芸術展は、平成 26 年 8 月 12 日(火)から 17 日(日)の 6 日間、県立美術館で開催する予定です。会員及びご家族の皆様の作品をお待ちいたしております。

皆様の声を励みに今後ますますこの芸術展が発展していくことを念じております。



## 平成 24年度医療法第 25条に基づく立入調査結果について

宮崎市保健所における平成 24年度立入調査結果が報告されましたので、その概要を掲載します。病院(38施設)：平成 24年 9月 10日～12月 20日、有床診療所(23施設)：平成 24年 6月 11日～25年 3月 6日、無床診療所(53施設)：平成 24年 5月 14日～25年 3月 8日。

各欄の数値は、適切に実施されていないとして指摘を受けた割合です。

### 主な指摘事項と不適率

|                                                                                                                                                        | 病院          | 有床診療所       | 無床診療所       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------|-------------|
| 医療法の手続                                                                                                                                                 | 8/38(21.ℓ)  | 7/23(30.℔)  | 23/53(43.℔) |
| 開設許可事項等に変更が生じたときは、変更許可申請または届け出をすること                                                                                                                    |             |             |             |
| 医薬品の取扱                                                                                                                                                 | 7/38(18.℔)  | 6/23(26.ℓ)  | 5/52(9.℔)   |
| 1. 使用期限の切れた医薬品は、他の医薬品と区別して保管又は廃棄すること<br>2. 医薬品用冷蔵庫に医薬品以外のものを入れないこと                                                                                     |             |             |             |
| 職員の健康管理体制                                                                                                                                              | 1/38(2.℔)   | 13/23(56.℔) | 38/51(74.℔) |
| 1. 労働安全衛生規則に基づく健康診断は、法定された項目をもれなく実施し、その記録を残すこと<br>2. 放射線業務従事者については、電離放射線障害防止規則に基づく健康診断を実施すること                                                          |             |             |             |
| 医療情報の提供                                                                                                                                                | 1/38(2.℔)   | 8/23(34.℔)  | 21/53(39.℔) |
| 1. 医療機能情報の定期報告をおこなうこと<br>2. 患者等に対して、医療機能情報を提供するための閲覧体制を整備すること                                                                                          |             |             |             |
| 放射線標識                                                                                                                                                  |             | 5/17(29.℔)  | 1/37(2.℔)   |
| X線室に患者及び取扱者に対する放射線障害防止に必要な注意事項を掲示すること                                                                                                                  |             |             |             |
| X線装置                                                                                                                                                   | 1/38(2.℔)   | 2/18(11.ℓ)  | 9/37(24.℔)  |
| X線診療室の漏洩線量測定を6か月毎に実施し、記録を5年間保存すること                                                                                                                     |             |             |             |
| 被曝防止                                                                                                                                                   | 0/38(0)     | 2/18(11.ℓ)  | 8/37(21.℔)  |
| 放射線業務従事者については、被曝防止のため、ガラスバッチ等により漏れなく個人被曝線量測定を行い、その記録を保存すること                                                                                            |             |             |             |
| 給食・栄養管理                                                                                                                                                |             | 5/19(26.℔)  |             |
| 1. 患者に提供する食事の栄養量を把握するよう努めること<br>2. 検食について、その所見を検食簿に記録すること                                                                                              |             |             |             |
| 医療の安全管理のための体制の確保                                                                                                                                       | 7/38(18.℔)  | 12/23(52.℔) | 38/53(71.℔) |
| 1. 指針を定期的に見直し、整理すること<br>2. 職員研修については年2回実施し、参加率の向上を図るとともに、実施したときは記録を残すこと                                                                                |             |             |             |
| 院内感染のための体制の確保                                                                                                                                          | 16/38(42.ℓ) | 16/23(69.℔) | 43/53(81.ℓ) |
| 1. 院内感染対策のための指針を整備すること<br>2. 職員研修を年2回実施し、実施や記録の保管を適切に行うこと<br>3. 使用済注射器は、針刺し事故防止のため、リキャップせずに廃棄すること<br>4. 汚物処理室等の汚染リスクの高い箇所についてはレバー式または自動水栓の装置について検討すること |             |             |             |
| 医薬品安全管理体制の確保                                                                                                                                           | 2/38(5.℔)   | 9/23(39.ℓ)  | 39/53(73.℔) |
| 1. 医薬品安全使用業務手順書を作成すること<br>2. 医薬品安全使用の為に職員研修を年1回程度開催し、記録を残すこと                                                                                           |             |             |             |
| 医療機器安全管理体制の確保                                                                                                                                          | 4/38(10.℔)  | 8/23(34.℔)  | 8/53(15.ℓ)  |
| 保守点検が必要となる医療機器については、保守点検計画を策定すること                                                                                                                      |             |             |             |

## 薬事情報センターだより (317)

## 新薬紹介(その66)

今回は8月に薬価収載された高尿酸血症治療剤ウリアデック錠20mg・40mg・60mg・トピロリック錠20mg・40mg・60mg(一般名:トピロキソスタット)と経皮吸収型・ $\beta_1$ 遮断剤ビソノテープ4mg・8mg(一般名:ビソプロロール)について紹介いたします。

ウリアデック錠20mg・40mg・60mg・トピロリック錠20mg・40mg・60mg(一般名:トピロキソスタット)

トピロキソスタットは、株式会社富士薬品において創製されたプリン骨格を有さない選択的キサンチン酸化還元酵素(XOR)阻害剤であり、プリン体代謝経路におけるXORを選択的かつ可逆的に阻害し、尿酸の生成を抑制します。XORの反応中心であるモリブデン(IV価)と共有結合を形成すると共に、XORの複数のアミノ酸残基との相互作用によって、XORに対し競合的な阻害作用を示し、内因性の尿酸の生成を抑制します。また、他のプリン・ピリミジン代謝酵素に阻害作用を示さず、XORに対する特異的な阻害剤であることが確認されています。

本剤は、2013年6月に、「痛風、高尿酸血症」を効能・効果として承認され、株式会社三和化学研究所から「ウリアデック錠20mg・40mg・60mg」、株式会社富士薬品から「トピロリック錠20mg・40mg・60mg」の製品名で9月に発売されました。

本剤は、軽度から中等度の腎機能障害を合併する高尿酸血症患者において、通常用量で使用でき、中等度腎機能障害(CKDステージ3)合併の患者を対象とした二重盲検試験下において、有効性及び忍容性が確認されました。

国内で実施された臨床試験において、824例中292例(35.4%)に臨床検査値異常を含む副作用が認められました。主な副作用は痛風関節炎83例(10.0%)、ALT(GPT)増加62例(7.5%)、 $\beta$ -NアセチルD-グルコサミニダーゼ増加58例(7.0%)等でした〔承認時〕。なお、重大な副作用として肝機能障害(2.9%)、多形紅斑(0.5%未満)が現われることがあります。

ビソノテープ4mg・8mg(一般名:ビソプロロール)

ビソノテープは、メインテート等の製品名で経口製剤として国内外で広く用いられているビソプロロールフマル酸塩の遊離塩基であるビソプロロールを有効成分とする世界初の経皮吸収型・ $\beta_1$ 遮断剤です。嚥下困難な患者、誤嚥が懸念される患者、服薬コンプライアンスの維持が難しい患者等経口投与が不向きな状態にある高血圧症患者への新たな選択肢となることが期待されます。

本剤は、2013年6月に「本態性高血圧症(軽症～中等症)」を効能・効果として承認され、9月にトーアエイヨー株式会社とアステラス製薬株式会社から発売されました。

本剤は、1日1回24時間貼付することにより、安定した血漿中薬物濃度を維持することができ、臨床試験において本態性高血圧症(I度・II度;投与直前の坐位拡張期血圧が95～109mmHg)患者において2時間にわたり降圧効果が認められました。貼付部分は、胸部、上腕部又は背部のいずれかです。同じ場所に貼り続けると、かゆみ、発赤、かぶれなどが生じる場合がありますので、貼りかえごとに場所を変える必要があります。

承認時までの臨床試験において、総症例数789例中、副作用が報告されたのは233例(29.5%)でした。主なものは、適用部位そう痒感56例(7.1%)、適用部位皮膚炎29例(3.7%)等でした。また、主な臨床検査値異常変動は、血中トリグリセリド増加20例(2.5%)、ALT(GPT)の上昇13例(1.6%)等でした。なお、重大な副作用として、心不全、完全房室ブロック、高度徐脈、洞不全症候群が現われることがあります。

## 〈参考資料〉

ウリアデック錠20mg・40mg・60mg、トピロリック錠20mg・40mg・60mg、  
ビソノテープ4mg・8mg各添付文書・インタビューフォーム

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

エーザイ 広告

## 日医インターネットニュースから

### ■税制改正要望、自由診療へ軽減税率など — 日医 —

日本医師会は2014年度税制改正要望をまとめた。消費税率が10%に上がる時点で診療報酬の非課税制度を課税制度に改めることや自由診療に軽減税率を適用すること、診療報酬に対する事業税非課税措置の存続などを盛り込んだ。近日中に厚生労働省に提出する。8月22日の記者会見で三上裕司常任理事が発表した。

要望は27項目で、そのうち19項目を重点要望とした。消費税対策では、診療報酬の非課税制度を仕入れ税額控除できる課税制度にした上で、ゼロ税率や軽減税率を適用して患者負担を増やさない制度にすることを求めた。併せて、医療が消費ではないことを明示するためとして、消費税を「社会保障税」に名称変更することも検討すべきとしている。

現在、普通税率の自由診療について、消費税率が10%になる時点で軽減税率の対象にすることも求める。その理由として、自由診療には予防接種など公益性の高いものが多いことを挙げている。

医療設備の防災対策や高度化を支援する設備投資減税措置の創設も要求する。医療が成長戦略の重点分野に位置付けられたことを踏まえ、医療設備の防災対策や高度化を支援する観点から、新たに取得した設備について特別償却や税額控除などを受けられる制度の創設を求める。

そのほか、いわゆる四段階制の存続や医業承継時の相続税・贈与税制度の改善、がん検診・予防接種への医療費控除の適用なども重点要望に掲げた。  
(平成25年8月27日)

### ■推進枠で医療・介護へのアクセス向上 — 厚労省・概算要求 —

2014年度予算概算要求で厚生労働省は「新しい日本のための優先課題推進枠」として、ドクターヘリなどによる救急医療の充実や、専門医を認定する新たな仕組みづくりに向けた養成プログラムの作成支援などを盛り込む方針を固めた。国民が質の高い医療・介護を受けられるよう取り組む考えだ。

救急医療の分野では、ドクターヘリの増機を柱とする体制の拡充、患者搬送先を調整する専任医師の配置、搬送先が決まらない患者を受け

入れる医療機関の確保などを進める。専門医養成プログラムの作成支援、治療の内容や効果に関する情報基盤整備にも取り組む。

地域包括ケアシステム構築の推進としては、介護関連情報の共有化に向けたシステム構築などを進める方向。自治体が取り組む地域の実情に合わせた地域包括ケアシステム構築を支援するほか、国民が介護サービスの質評価に基づいてサービスを選択できるような仕組みを構想している。

感染症対策も強化する方針。今年、風疹が大流行したことを踏まえ、予防などを進めるほか、有効期限の切れるプレパンドミックワクチンの買い替えを行いたい考えだ。

厚労省が推進枠として要求できる金額は1600億円超。予定通り来年4月に消費税率を引き上げるかどうか安倍晋三首相が判断するのが9月以降になるため、消費税率が影響してくる税制抜本改革に伴う社会保障の充実に関する予算要求は、金額を示さない「事項要求」となる。

(平成25年8月27日)

### ■2025年度までに医療・介護費5兆円抑制 — 厚労省、健康寿命の延伸で —

田村憲久厚生労働相は8月30日、政府の日本再興戦略や健康・医療戦略などを踏まえ2025年度に向けて予防・健康管理に関する取組みを推進することで、医療費・介護費を5兆円規模で抑制できるとの試算を発表した。田村厚労相は「国民の健康寿命が延伸する社会」を目指すとし、「決して医療費・介護費の削減が一番の目的ではない。患者・国民は重症化を予防でき、医療機関は医療資源を有効活用でき、国も財源が削減できる。三方それぞれハッピーになる。わが省として今年が『予防元年』という意気込みでやっていく」と述べた。田村厚労相を本部長とする「健康づくり推進本部」を設置し、省内横断的な体制を構築していく。

高齢者への介護予防では「地域単位での介護・医療情報の『見える化』推進」掲げた。要介護認定率の伸びが全国平均よりも低い自治体の取組みを全国展開・拡大させることで約6000億円の抑制効果を見込む。高齢者の肺炎予防に向けては、誤嚥性肺炎を防ぐ口腔ケアの実施で約1000億円、肺炎球菌ワクチンの接種で約6000億円の削減効果があると推計した。



現役世代の健康づくりでは、レセプトや健診情報などのデータを最大限活用した「データヘルス」を推進し、全ての被用者保険の保険者が保健事業を実施した場合の効果額を約 3000億円と想定した。特定健診・特定保健指導では、メタボリックシンドロームの減少で約 4000億円、糖尿病の増加抑制で 1 兆 9000億円の抑制を見込む。禁煙の推進では、22年度に成人喫煙率を 12%にする「健康日本 21」の目標を達成し、2025年度まで維持できれば約 3000億円の効果があると見ている。

医療資源の有効活用では、後発医薬品の使用促進のためのロードマップの目標(1年度に数量シェア 60%以上)を達成し、2025年度まで維持した場合に約 1 兆円の効果があるとした。ICTの活用による重複受診・重複検査などの防止でも約 1000億円を見込む。

田村厚労相は 5 兆円という目標額について「分かりやすく大胆な定量的目標として掲げた」とし、現在のところ削減額を何らかの政策に転用する意図はないとしている。(平成 25年 9月 3日)

## ■患者紹介ビジネスの実態把握を強化 — 厚労省が事務連絡 —

厚生労働省は、在宅医療を行う保険医療機関に民間事業者などが集中的に患者を紹介して手数料を得る、いわゆる「患者紹介ビジネス」の実態把握を強化する。保険局医療課は 8月 28日付で地方厚生局などに事務連絡し、事例を把握した場合に医療課まで報告するよう示した。2011年 2月にも同じ内容の事務連絡をしているが、今回は報告様式も作成して添付した。日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会にも送付している。

厚労省は、医療機関が特定の事業者と有償契約を結んで集中的に患者の紹介を受け、診療報酬から一定の手数料を支払う「患者紹介ビジネス」

を、健康保険法の趣旨から見て不適切と判断している。患者のフリーアクセスを阻害したり、過剰診療が行われたりする可能性があるため、サービス付き高齢者住宅など、在宅医療を必要とする患者が多く集まる高齢者施設の入居者が特定の医療機関に紹介される事例が浮上している。

事務連絡した報告様式は、情報提供を受けた地方厚生局が、患者紹介の仲介者、紹介を受けた医療機関、それにより生じている問題などを書き込む内容になっている。(平成 25年 9月 3日)

## ■シンボニーの間質性肺炎で注意喚起 — 厚労省・安全性情報 —

厚生労働省医薬食品局は 8月 28日、「医薬品・医療機器等安全性情報・第 304号」をまとめた。ヤンセンファーマのリウマチ治療薬「シンボニー皮下注 50mgシリンジ」(一般名=ゴリムマブ<遺伝子組換え>)の重大な副作用として「間質性肺炎」を追記。異常時には胸部レントゲン検査、胸部 CT 検査などを行うよう求めている。

シンボニーの重大な副作用の項目には、間質性肺炎が表れることがあるので「発熱、咳嗽、呼吸困難等の呼吸器症状に十分注意し、異常が認められた場合には速やかに胸部レントゲン検査、胸部 CT 検査および血液ガス検査等を実施し、投与を中止する」と新たに明記する。ニューモシスティス肺炎との鑑別診断( $\beta$ -D グルカンの測定等)を考慮に入れ、適切な処置を求めるほか、間質性肺炎の既往歴のある患者は定期的な問診を行う必要があると喚起する。

2011年 9月の販売開始から、因果関係が否定できない間質性肺炎関連症例は 8 例で、死亡例はない。安全性情報では根拠症例の概要も掲載した。シンボニーの年間の推定使用者数は 1 万 3700人となっている。(平成 25年 9月 3日)

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので、詳細を知りたい方は日本医師会ホームページをご覧ください。毎週火・金に更新していますので全ての記事が閲覧できます。

日医インターネットニュースへのアクセス方法

日本医師会(<http://www.med.or.jp>)にアクセス

日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック

メンバーズルームに入る方法

ユーザー ID : 会員 ID 番号(日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている 10桁の数字)を 0 も含め、全て半角で入力

パスワード : 先生の生年月日の 6 桁の数字を半角で入力  
例) 1961年 5月 1日生まれの場合、610501

## 医師国保組合だより

## 保健事業のご案内

医師国保組合では、下記の保健事業を実施いたしておりますので、ぜひご利用ください。

## 1. 健康診断

- 対 象 者** 次のいずれかに該当する被保険者の方々です。
- ・組合員，高齢組合員（75歳以上の方）並びにその配偶者
  - ・本年度中に満 40 歳になる方～74 歳の方

**実施機関** 各地域の健診機関並びに医療機関

※日曜日の集団健診（予約は本組合にご連絡ください）

実施機関：宮崎市郡医師会成人病検診センター

|         |                    |                           |
|---------|--------------------|---------------------------|
| 平成 25 年 | 10 月 20 日（第 3 日曜日） | 定員各 20 名<br>（※子宮頸がん検診は不可） |
|         | 11 月 10 日（第 2 日曜日） |                           |
| 平成 26 年 | 1 月 19 日（第 3 日曜日）  |                           |
|         | 2 月 2 日（第 1 日曜日）   |                           |
|         | 2 月 16 日（第 3 日曜日）  |                           |
|         | 3 月 2 日（第 1 日曜日）   |                           |

**検査項目** 血液生化学検査（肝機能検査，血糖検査，貧血検査等），尿検査，心電図検査，胸部 X 線検査，便潜血検査，腹部超音波検査他，詳細は「健康診断個人票」にてご確認ください（胃・大腸内視鏡検査を実施した場合は，補助金を別途支給いたします。次項をご覧ください）。

**実施期間** 平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月末まで

## 2. 胃・大腸内視鏡検査の補助

- 対 象 者** 次のいずれかに該当する被保険者の方々です（健康診断対象者と同様）。
- ・組合員，高齢組合員並びにその配偶者
  - ・本年度中に満 40 歳になる方～74 歳の方

**検査内容及び補助金額**

①胃内視鏡検査 15,200 円

②大腸内視鏡検査 21,930 円

※それぞれ 1 人 1 回，上記金額を上限として実費を補助します。

**実施期間** 平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月末日まで

**請求方法** 支給申請書に領収書を添付の上，組合に申請してください。

## 3. 脳ドック等の補助

**対 象 者** 被保険者全員（組合員とその世帯に属する方）並びに高齢組合員

**実施機関** 各地域の健診機関並びに医療機関

**検査内容及び補助金額**

頭部 M R I，頭部 M R A，頭部 C T 等

※ 1 人 1 回 20,000 円を上限として実費 20,000 円を補助します。

**実施期間** 平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月末まで

## 4. 歯科健康診査

**対 象 者** 被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員

**実施機関** 宮崎県歯科医師会の会員である歯科医院

**健診内容** ＊AまたはBコースのいずれかをお選びいただけます。(健診のみ実施も可)

- Aコース 歯科健康診査+歯石除去・歯のクリーニング
- Bコース 歯科健康診査+歯石除去・歯のクリーニング+フッ素塗布

※歯科健診の項目…歯の状況, 歯周病, 補綴の状況, 顎関節, アフタ, 口腔粘膜疾患等

※歯石除去は保険診療の歯石除去とは内容が異なります。

**申込・受診方法**

- ①組合員宛にお送りしている申込書に記入の上, 組合宛にファックスしてください。無料券, 歯科健康診査票(3枚複写), 質問票, 結果票を人数分送付します。
- ②歯科医院へ受診の予約をしてください。  
＊宮崎県歯科医師会の会員であるかを必ずご確認ください。
- ③健診当日は, 無料券, 歯科健康診査票(3枚複写), 質問票, 結果票, 被保険者証を予約された歯科医院へご持参ください。

**実施期間** 平成 25年 4月から平成 26年 3月末まで

## 5. 肺炎球菌ワクチン予防接種補助

**対 象 者** 被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員  
※小児も含む。

**補助金額** 1人 5,000円  
※支払額が補助額を超えた場合の差額は自己負担となります。

**接種期間** 平成 25年 4月から平成 26年 3月末まで

## 6. インフルエンザワクチン予防接種補助

**対 象 者** 被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員  
※小児も含む。

**補助金額** 1人1回 2,000円(高齢組合員は1,000円)

**接種期間** 平成 25年 10月から平成 26年 2月末まで

組合員の皆様方には詳細のご案内を送付いたしております。  
ご不明な点は, 事務局までお問い合わせください。

事務局・お問い合わせ先

宮崎県医師国民健康保険組合

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101 ☎ 0985-22-6588

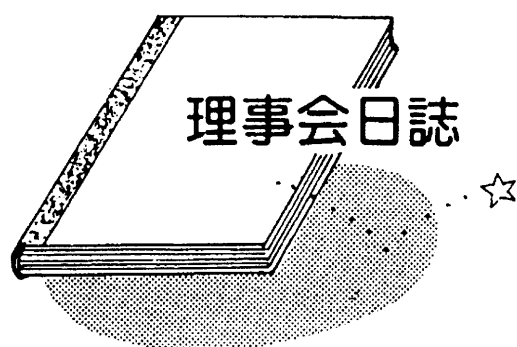
## ★お知らせ

宮崎県医師国保組合のホームページを開設しました。

被保険者資格, 保険料, 保険給付, 保健事業等がご覧いただけます。また, 申請書様式がダウンロードできますのでご活用ください。

<http://www.miyazakimed.or.jp/kokuho/>

CASIO 広告



平成 25年 8月 27日(火)第 6 回全理事協議会

医師会関係  
(議決事項)

1. 9 /1 (日)(宮崎市)社会保険医療担当者の監査の実施について

1 医療機関を対象に行われる監査(中断中)で、石川常任理事、河野副会長を立会い人として派遣することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

① 11/9 (土)(サンホテルフェニックス)名義後援のお願いについて

→「暮らしの中で“死にゆく”こと～いのちつぐみとりびと～」と題し開催される市民公開講座と写真展で、名義後援を行うことが承認された。

3. 10/9 (水)(日医)平成 25年度都道府県医師会検案担当理事連絡協議会の開催について

日本医師会主導により、各都道府県医師会内に警察活動に協力する部会を設ける等、新体制整備に向けた今後の取組みを協議するため開催される連絡会で、立元常任理事が出席することが承認された。

4. 死体検案研修について

本県における死体検案業務をリードする医師の育成等を目的に、3 日間に及ぶ研修プログラムに医師を派遣することが提案さ

れ承認された。なお、人選等については会長に一任することとなった。

5. 日本医師会役員(副会長、常任理事、理事)の補欠選任・選定について

日医常任理事辞任に伴う日医臨時代議員会の議事変更と、選任・選定に関する公示の説明が行われた。

6. 平成 25年度各郡市医師会・医師国保組合支部等職員事務研修会について

救急センターの受託契約と保険適用の在り方や公益法人制度改革に伴う県医代議員の選出等を議題に、9 月 21日(土)に県医師会館で開催することが承認された。

7. 11/3 (日)(西都)平成 25年度宮崎県高等学校総合体育大会男子第 66回・女子第 28回宮崎県高等学校駅伝競走大会開催に伴う医師および看護師の派遣について

西都市公認マラソンコースで開催される大会で、開催地の西都市西児湯医師会へ人選をお願いすることが承認された。

8. 11/1 (日)(西都)平成 25年度宮崎県中学校駅伝競走大会開催に伴う医師及び看護師の派遣について

西都市公認マラソンコースで開催される大会で、開催地の西都市西児湯医師会へ人選をお願いすることが承認された。

9. 10/10 (日医)第 35回産業保健活動推進全国会議の開催について

これからの産業保健活動のあり方について検討することを目的に開催される全国会議で、池井常任理事と県医師会事務局及び県内 4 か所の地域産業保健センターのコーディネータが出席することが承認された。

10 11/9 (土)(秋田)平成 25年度第 44回全国学校保健・学校医大会について

「子供は希望。未来の力」をテーマに開催される大会で、本会から稲倉会長、富田副



会長、高村理事が出席することが承認された。

- 11 11/30(土)(福岡)九州各県医師会学校保健担当理事者会等の開催について

本県主催で平成26年8月に開催予定の「第58回九州ブロック学校保健・学校医大会等」の運営等を協議するため開かれる担当理事者会で、稲倉会長と高村理事が出席することが承認された。

- 12 9・10月の行事予定について

9月の追加行事と10月の行事について確認が行われた。

(報告事項)

1. 8/7(水)(支払基金)支払基金幹事会について
2. 8/18(日)(大阪)植松治雄先生の旭日大綬章受章を祝う会について
3. 8/20(火)(日医)日医理事会について
4. 8/26(月)(県立宮崎病院)県立病院事業評価委員会について
5. 8/27(火)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
6. 8/28(水)(宮崎市)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について
7. 8/24(土)～25(日)(福岡)中四九地区医師会看護学校協議会について
8. 8/26(月)(県医)諸規程検討委員会について
9. 8/27(火)(県庁)たばこ対策検討会について
- 10 8/8(木)(延岡保健所)エコチル調査宮崎サブユニットセンター地域運営協議会について
- 11 8/28(水)(県医)県訪問看護ステーション連絡協議会役員会について
- 12 8/24(土)(県医)県プライマリ・ケア研究会総会・講演会について
- 13 8/13(火)～18(日)(県立美術館)第14回宮崎県医師会医家芸術展について
- 14 8/26(月)(県医)広報委員会について
- 15 8/3(土)・4(日)(沖縄)九州ブロック学校保健・学校医大会関連行事について

- 16 8/9(金)(ホテルメリージュ)小児救急電話相談事業運営協議会について

- 17 8/17(土)(県医)学校医部会総会・医学会について

#### 平成25年9月3日(火)第14回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 9/26(木)(JA A Z M 本館)社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施について

5医療機関を対象に行われる個別指導で、立元常任理事を立会い人として派遣することが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県歯科保健推進協議会委員の推薦について

→県民の生涯にわたる歯・口腔の健康づくりに関する施策を総合的に推進し、県民の健康保持増進に寄与するために設置する協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き荒木常任理事を推薦することが承認された。

②宮崎地方労働審議会委員(第7期)の推薦について

→都道府県労働局長の諮問に応じて労働基準法等並びに公共職業安定所の業務に関する重要事項を調査審議することを目的に設置されている審議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き牛谷常任理事を推薦することが承認された。

③宮崎県人権教育・啓発推進懇話会委員の推薦について

→平成1年に策定された「宮崎県人権教育・啓発基本方針」を見直すことを目的に設置された懇話会で、委員に立元常任理事を推薦することが承認された。

## 3. 後援・共催名義等使用許可について

- ① 11/16(土)(日南市)県民漢方公開講座ご後援のお願いについて  
→東洋医学の治療の考え方や鍼灸治療の正しい知識を学ぶこと等を目的に開催する県民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

## 4. 産業保健事業の総合調整のための協議会委員の委嘱依頼について

地域における産業保健の質の向上や労働者の健康管理等の一層の充実を目的に、3事業所(産業保健推進連絡事務所、県地域産業保健センター、メンタルヘルス対策支援センター)が連携する協議会を設置するもので、池井常任理事を委員に推薦することが承認された。

## (報告事項)

1. 週間報告について
2. 8 月末日現在の会員数について
3. 8 /28(木)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について
4. 8 /30(金)(ニューウェルシティ宮崎)みやざき若手医師キャリアプラン講演会について
5. 8 /31(土)(県医)各都市医師会介護保険担当理事と県医師会在宅医療協議会役員会等との合同協議会について
6. 9 /1(日)(宮崎市)社会保険医療担当者の監査について
7. 8 /29(木)(県庁)県歯科保健推進協議会について
8. 9 /3(火)(宮大)地域医療における働きやすい環境を考える会について
9. その他
  - ① 役職員緊急連絡網の確認について
  - ② 9 /2(月)(県庁)県精神科救急医療システム連絡調整委員会について

## 平成 25年 9 月 10日(火)第 15回常任理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

## 1. 本会外の役員等の推薦について

- ① 宮崎県訪問看護推進協議会の委員の推薦について

→県の委託事業を引き継ぎ、県看護協会が在宅医療における看護機能を担う訪問看護の推進に寄与することを目的に設置する協議会で、古賀常任理事を推薦することが承認された。

## 2. 11/13(木)(日医)平成 25年度都道府県医師会有床診療所担当理事連絡協議会の開催について

有床診療所をめぐる諸問題及び今後のあり方等について協議することを目的に開催される担当理事者会で、担当役員を派遣することが承認された。

## 3. 10/13(日)(日医)九州ブロック日医代議員連絡会議の開催について

日医臨時代議員会に先立ち開催される九医連の会議で、稲倉会長、河野・富田副会長、立元・吉田常任理事が出席することが承認された。

## 4. 平成 25年度広域予防接種業務委託契約の変更について

既に契約を終えている平成 25年度の契約について、H 2b ワクチンの希望小売価格が変更になったことから、市町村との委託契約を変更することが提案され、平成 25年 10月 1 日付で変更することが承認された。

## 5. 12/12(木)(日医)平成 25年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会の開催について

日医医賠責保険の運営報告や都道府県医師会の活動報告等が行われる連絡協議会で、濱田常任理事が出席することが承認された。

## (報告事項)

1. 9/6(金)(宮観ホテル)宮崎大学医学部附属病院再整備完成記念祝賀会について
2. 9/4(水)(福岡)九州地方社会保険医療協議会総会について
3. 9/6(金)(日医)日医地域医療対策委員会について
4. 9/1(火)(県医)治験審査委員会について
5. 8/31(土)(宮観ホテル)英国女子医学生との茶話会について
6. 9/1(日)(福岡)日本プライマリ・ケア連合学会九州各県支部長会について

7. 9/2(月)(県医)県糖尿病対策推進会議幹事会について

## 医師連盟関係

## (議決事項)

1. 9/18(木)(レガロホテル)選挙対策委員会の開催について

来年予定されている宮崎市長選の候補者等を検討する委員会で、稲倉委員長を中心に調整を行った上で、出席することが承認された。

## 9月のベストセラー

|    |                     |       |       |            |
|----|---------------------|-------|-------|------------|
| 1  | ロスジェネの逆襲            | 池 井 戸 | 潤     | ダイヤモンド社    |
| 2  | 人間にとって成熟とは何か        | 曾 野   | 綾 子   | 幻 冬 舎      |
| 3  | 祈りの幕が下りる時           | 東 野   | 圭 吾   | 講 談 社      |
| 4  | 破綻—バイオ企業・林原の真実      | 林 原   | 靖     | ワック株式会社    |
| 5  | 日本人はいつ日本が好きになったのか   | 竹 田   | 恒 泰   | PHP 研 究 所  |
| 6  | 恋しくて                | 村 上   | 春 樹   | 編 訳 中央公論新社 |
| 7  | 置かれた場所で咲きなさい        | 渡 辺   | 和 子   | 幻 冬 舎      |
| 8  | 医者に殺されない47の心得       | 近 藤   | 誠     | ア ス コ ム    |
| 9  | 菊地亜希子ムック マッシュ vol.4 | 菊 地   | 亜 希 子 | 小 学 館      |
| 10 | 燃える闘魂               | 稲 盛   | 和 夫   | 毎 日 新 聞 社  |

宮協書店本店調べ 提供：宮崎店（宮崎市青葉町）☎（0985）23-7077

# 県 医 の 動 き

(9月)

|    |                                                                                                                  |    |                                                                                                                                                   |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 社会保険医療担当者の監査<br>日本プライマリ・ケア連合学会九州各県支部<br>長会(福岡)(金丸常任理事)                                                           | 17 | 日医理事会(日医)(会長)<br>医協打合会(立元常任理事)                                                                                                                    |
| 2  | 県精神科救急医療システム連絡調整委員会<br>(吉田常任理事)<br>県糖尿病対策推進会議幹事会(会長他)<br>県産婦人科医会医療保険委員会(濱田常任理事)                                  | 18 | 医師国保問題研究会(日医)(秦理事長)                                                                                                                               |
| 3  | 地域医療における働きやすい環境を考える会<br>(荒木常任理事)<br>第 14回常任理事協議会(会長他)                                                            | 19 | 日医・米国研究製薬工業協会(PhRMA)共催<br>シンポジウム(東京)(立元常任理事)<br>日医公衆衛生委員会(日医)(吉田常任理事)<br>宮崎銀行経営説明会(会長)<br>県有床診療所協議会総会(会長他)<br>県産婦人科医会母体保護法指定医新規申請者<br>研修会(濱田常任理事) |
| 4  | 全医連理事会(東京)(秦理事長)<br>九州地方社会保険医療協議会総会(福岡)<br>(富田副会長)<br>県警察医会協議会<br>五役会(会長他)                                       | 21 | 全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会<br>(山梨)(富田副会長)<br>各郡市医師会・医師国保組合各支部等職員事務<br>研修会<br>全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会<br>(山梨)(富田副会長他)                                      |
| 5  | 社会保険医療担当者(医科)の個別指導(上田理事)<br>産業医研修会<br>県内科医会理事会                                                                   | 22 | eレジフェア(福岡)(古賀常任理事)<br>日本警察医会総会・学術講演会(会長)<br>日本警察医会意見交換会(河野副会長他)                                                                                   |
| 6  | 日医地域医療対策委員会(日医)(富田副会長)<br>宮崎大学医学部附属病院再整備完成記念祝賀会<br>(会長)                                                          | 23 | (秋分の日)                                                                                                                                            |
| 7  | 県医医学会(会長他)<br>九州医師協同組合連合会会計監査会・理事会<br>(福岡)(立元常任理事)                                                               | 24 | 医協理事・運営委員合同協議会(会長他)<br>医協理事会(会長他)<br>第 7 回全理事協議会(会長他)                                                                                             |
| 9  | 医学会誌編集委員会(富田副会長他)                                                                                                | 25 | 宮崎政経懇話会(会長)<br>全国国民健康保険組合協会理事長・役員研修会<br>(東京)(秦理事長)<br>労災診療指導委員会(河野副会長他)                                                                           |
| 10 | 治験審査委員会(富田副会長他)<br>第 15回常任理事協議会(会長他)                                                                             | 26 | 社会保険医療担当者(医科)の個別指導<br>(立元常任理事)<br>広報委員会(荒木常任理事他)<br>自賠委員会(牛谷常任理事)<br>県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会<br>(金丸常任理事)<br>損害保険医療協議会(牛谷常任理事)                         |
| 11 | 日医有床診療所に関する検討委員会(日医)<br>(河野副会長)<br>支払基金幹事会(会長)<br>県産婦人科医会情報システム委員会<br>(濱田常任理事)                                   | 27 | 日医大学医学部女性医師支援担当者連絡会(日医)<br>(荒木常任理事他)<br>日医医療秘書認定試験委員会(日医)(富田副会長)<br>九州地方社会保険医療協議会宮崎部会<br>(河野副会長)                                                  |
| 12 | 日医医療情報システム協議会運営委員会(日医)<br>(富田副会長)<br>社会保険医療担当者(医科)の集团的個別指導<br>(金丸常任理事)<br>広報委員会(荒木常任理事他)<br>県産婦人科医会常任理事会(濱田常任理事) | 28 | 九医連各種協議会(在宅医療)(沖縄)(会長他)<br>県産婦人科医会総会(濱田常任理事)<br>九医連常任委員会(沖縄)(会長)<br>九医連各種協議会(地域医療・医療保険・介護<br>保険)(沖縄)(河野副会長他)                                      |
| 13 | 日医医療秘書認定試験委員会(日医)(富田副会長)                                                                                         | 30 | 九州ブロック学校保健・学校医大会等実行<br>委員会(会長他)                                                                                                                   |
| 14 | 産業医研修会(前期)(池井常任理事)<br>園医部会総会・研修会(富田副会長他)                                                                         |    |                                                                                                                                                   |
| 15 | 日本産婦人科医会地域代表全国会議(東京)<br>(濱田常任理事)                                                                                 |    |                                                                                                                                                   |
| 16 | (敬老の日)                                                                                                           |    |                                                                                                                                                   |

## 追 悼 の こ と ば

延岡市医師会

の 野 村 英 輔 先生

(昭和 9 年 5 月 22 日生 80 歳)

弔 辞

ここに、今は亡き野村英輔先生のご葬儀が執り行われるにあたり、延岡市医師会を代表致しまして、謹んで哀悼の意を表し、お別れの言葉を申し上げます。

先生はこのたび体調を崩され、精査の結果、肝腫瘍と判明しました。院長の郁夫先生より私に相談がありました。私の先輩で、肝胆膵の第一人者である宮崎大学第一外科の千々岩教授を紹介することにしました。その際、先生は私に力強く「頑張ってくる」と言っておられたのが印象的でした。8 月 13 日に宮大に入院され、いろいろな検査を行う予定でしたが、その後脳梗塞を発症されました。そのため 9 月 4 日、自院の野村病院で脳梗塞の治療を行うとの返事をいただいておりますので、私は先生をお見舞いに行く予定としておりましたが、12 日の朝、お亡くなりになったとの知らせに只々驚き、そして今は私共医師会の重鎮ともいうべき先生を失った悲しみと、さみしさで申し上げる言葉もございません。

ましては、奥様をはじめ、ご家族、ご遺族の方々、先生を慕われる多くの皆様方のお悲しみは如何ばかりかとお察し申し上げ、衷心よりお悔やみ申し上げます。

私は、個人的にも、先生から多くの患者様のご紹介をいただいております、時には先生は重症の患者様に付き添われて当院までよく来られておりました。その真摯な態度に私は医師として感

動しておりました。患者様にとって素晴らしい先生でありました。私は医師として心から尊敬をいたしておりました。

また、3 年前に私が延岡市医師会長に立候補した際、いの一番に私の推薦状を書いていただきました。先生が私を認めていただいたことに、大変感激したことを覚えています。公私ともに先生に御支援をいただいたことに感謝申し上げますばかりでございます。ただ今となっては先生への恩返しもできないことが残念でなりません。

先生は、昭和 9 年 5 月 22 日、生をうけられ、昭和 35 年、熊本大学医学部をご卒業されました。その後、九州大学大学院を出られた後、国立別府病院の勤務を経て、お兄様である野村敏彰理事長先生とともに、野村病院において地域住民の切なる希望にお応えになられ今日までの診療に携わってこられました。

先生は、温厚かつ誠実なお人柄であり、患者さんの信頼も厚く、地域住民の健康管理、保健衛生の指導に尽力しながら、公衆衛生、地域医療について深い関心と信念を持ち延岡の代表的な内科医として絶大なる信頼と尊敬を受けておられました。

先生は医師会活動にも目を向け、ご多忙な診療の傍ら昭和 48 年からの 6 年間と平成 2 年からの 4 年間、通算 10 年にわたり延岡市医師会理事となられました。

当時、先生は医師会理事業務の中でも、看護学校の運営に携わり、教務委員並びに学校の講師として長年にわたりご尽力をいただきました。さらには平成 2 年からの 2 年間は宮崎県医師会の理事に就任していただき延岡市医師会の代表としてその重責を担っていただきました。



さらには、昭和 42年からは、延岡市立西幼稚園の園医並びに延岡市立西小学校の校医として長きにわたり保健衛生と健康管理の指導教育に多大なるご尽力を賜りました。これらのご功績により学校保健、学校安全に関する功労として平成 6年に延岡市学校保健会会長表彰さらには、先日の 8月 22日に宮崎県教育長表彰をお受けになられたばかりであり、輝かしい功績を残されておられます。

このような延岡市医師会の重鎮としておられました先生がご逝去なさいましたことは、会員にとりましてかけがえのない財産を失うことであり痛恨の極みであります。

本日、先生とお別れするにあたり、先生がこれまで地域医療に尽くしてこられたご功績を忘

れることなく、先生のお示しいただきました医療、更には医師会運営に取り組む真摯なお姿を心に刻みながら、会員一同、地域医療の発展向上に一層の努力をしていく所存でございます。

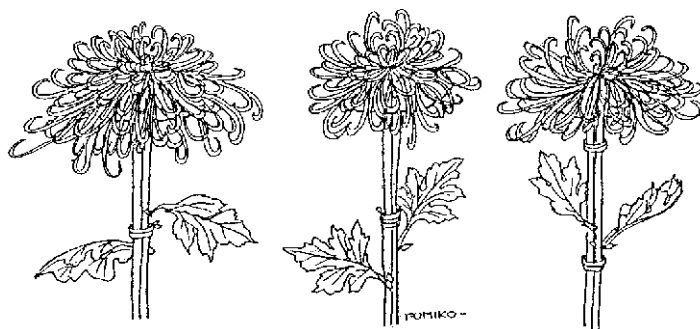
先生の温顔に再び接することは出来ませんが、ご家族をはじめ、ご遺族の皆様のご安泰をお見守りいただきますようお願い申し上げ、黄泉路が平穏でありますことを心よりお祈りし、お別れの言葉といたします。

野村英輔先生、どうぞ安らかに眠りください。

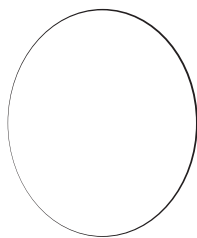
平成 25年 9月 14日

延岡市医師会

会長 牧 野 剛 緒



## ニューメンバー

延岡市  
長沼医院ながぬまやすこ  
長沼康子

住 所 延岡市

専門科目 産婦人科

家族構成 夫，長男（5）

略 歴

平成 4 年 鹿児島県立甲南高校卒業

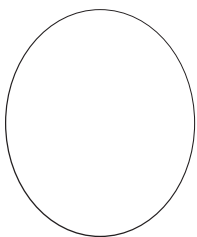
平成 11 年 福岡大学医学部卒業

同 年 福岡大学医学部

産婦人科学教室入局

趣 味 美術鑑賞

抱 負 20年間住み慣れた福岡から延岡に参りました。小さい子供を抱えながら，仕事に没頭できた経験は大きな自信となった一方で，子供を健全に育てていくことの大変さを痛感した5年間でもありました。日々，家庭と仕事をいかに両立させるかで未だ奮闘中です。患者さんとの時間は私にとって癒されるときでもあります。いいことも悪いことも全てを治療にあたる人間として喜びに変えていけたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

都城市  
宗正病院ふくもとじゅんや  
福元純也

住 所 鹿児島県始良市

専門科目 内科

家族構成 父，母

略 歴

平成 7 年 県立加治木高校卒業

平成 9 年 鹿児島大学入学

平成 16 年 鹿児島大学卒業

趣 味 映画鑑賞，ドライブ

抱 負 縁があって，宮崎県の宗正病院に勤務することになりました。医師会の諸先生方のご指導の下，医療に貢献できればと考えております。

時間があれば，県内のおいしいお店や景勝地を巡ってみたいです。

よろしくお願いいたします。

団体所得補償保険

## ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成 25年 9月 20日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合せは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

### 1. 求職者登録数 3人

#### 1) 男性医師求職登録数 3人 (人)

| 希 望 診 療 科 目 | 求 職 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|-------------|-------|-----|-------|
| 内 科         | 2     | 2   | 0     |
| 外 科         | 1     | 1   | 0     |

### 2. 斡旋成立件数 46人

|             | 男性医師 | 女性医師 | 合 計 |
|-------------|------|------|-----|
| 平 成 25 年 度  | 1    | 0    | 1   |
| 平成 16年度から累計 | 34   | 12   | 46  |

### 3. 求人登録 97件 365人 (人)

| 募 集 診 療 科 目 | 求 人 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|-------------|-------|-----|-------|
| 内 科         | 108   | 75  | 33    |
| 外 科         | 36    | 26  | 10    |
| 整 形 外 科     | 31    | 24  | 7     |
| 精 神 科       | 21    | 17  | 4     |
| 循 環 器 科     | 15    | 15  | —     |
| 脳 神 経 外 科   | 11    | 10  | 1     |
| 消 化 器 内 科   | 17    | 14  | 3     |
| 麻 酔 科       | 12    | 9   | 3     |
| 眼 科         | 9     | 7   | 2     |
| 放 射 線 科     | 6     | 6   | —     |
| 小 児 科       | 6     | 4   | 2     |
| 呼 吸 器 内 科   | 14    | 12  | 2     |
| リハビリテーション科  | 4     | 4   | —     |
| 血 液 内 科     | 2     | 2   | —     |
| 神 経 内 科     | 10    | 9   | 1     |
| 救 命 救 急 科   | 6     | 6   | —     |
| 健 診         | 7     | 3   | 4     |
| 産 婦 人 科     | 4     | 4   | —     |
| 泌 尿 器 科     | 3     | 1   | 2     |
| 検 診         | 2     | —   | 2     |
| 皮 膚 科       | 3     | 2   | 1     |
| 人 工 透 析     | 2     | 2   | —     |
| 耳 鼻 咽 喉 科   | 1     | 1   | —     |
| そ の 他       | 35    | 28  | 7     |
| 合 計         | 365   | 281 | 84    |

## 求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号   | 施 設 名                     | 所 在 地 | 募 集 診 療 科                             | 求人数 | 勤 務 形 態 |
|--------|---------------------------|-------|---------------------------------------|-----|---------|
| 150005 | 医)りっか会ピア・メンタル ささき病院       | 宮 崎 市 | 精                                     | 2   | 常勤・非常勤  |
| 160011 | 赤十字血液センター                 | 宮 崎 市 | 検診                                    | 2   | 非常勤     |
| 160013 | 医)三晴会 金丸脳神経外科病院           | 宮 崎 市 | 脳, 整, 放, 麻, 内                         | 9   | 常勤・非常勤  |
| 160017 | 医)プレストピア プレストピアなんば病院      | 宮 崎 市 | 乳腺, 内                                 | 3   | 常勤      |
| 160020 | 財)弘潤会 野崎病院                | 宮 崎 市 | 精, 内                                  | 2   | 常勤      |
| 160031 | 社医)同心会 古賀総合病院             | 宮 崎 市 | 呼, 神内, 眼, 総診, 呼外,<br>臨病, 乳外, 整外, 麻酔   | 11  | 常勤      |
| 160033 | 医)如月会 若草病院                | 宮 崎 市 | 内, 精                                  | 3   | 非常勤     |
| 170046 | 医)社団善仁会 市民の森病院            | 宮 崎 市 | 消内, 内分泌内, 呼, リウマチ,<br>神経内, 健診         | 6   | 常勤・非常勤  |
| 170048 | 医)慶明会 けいめい記念病院            | 国 富 町 | 内, 眼                                  | 2   | 常勤      |
| 170052 | 医)春光会                     | 宮 崎 市 | 外, 内                                  | 6   | 常勤・非常勤  |
| 180061 | 医)あいクリニック                 | 宮 崎 市 | 精                                     | 2   | 常勤・非常勤  |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院               | 宮 崎 市 | 内, 神内, 整                              | 5   | 常勤      |
| 190087 | 宮崎市郡医師会病院                 | 宮 崎 市 | 消内, 呼内                                | 6   | 常勤      |
| 190094 | 医)耕和会 迫田病院                | 宮 崎 市 | 内, 外, 整                               | 9   | 常勤・非常勤  |
| 190095 | 医)慶明会 宮崎中央眼科病院            | 宮 崎 市 | 眼                                     | 2   | 常勤・非常勤  |
| 190096 | 医)晴緑会 宮崎医療センター病院          | 宮 崎 市 | 消化, 麻, 循, リハビリ                        | 5   | 常勤・非常勤  |
| 200104 | 医)社団善仁会 宮崎善仁会病院           | 宮 崎 市 | 内, 外, 救急, 呼外, 婦人                      | 7   | 常勤      |
| 200105 | 医)誠友会 南部病院                | 宮 崎 市 | 内, 外, 放                               | 3   | 常勤      |
| 210110 | 医)幸秀会 大江整形外科病院            | 宮 崎 市 | 整                                     | 1   | 常勤      |
| 210118 | 慈英病院                      | 宮 崎 市 | 内, 外, 整                               | 12  | 常勤・非常勤  |
| 220126 | 八代医院                      | 宮 崎 市 | 内                                     | 1   | 非常勤     |
| 230128 | 医)真愛会 高宮病院                | 宮 崎 市 | 内                                     | 1   | 常勤      |
| 230132 | 医)康友会 青島クリニック             | 宮 崎 市 | 内                                     | 1   | 常勤      |
| 230134 | 医)慈光会 宮崎若久病院              | 宮 崎 市 | 精                                     | 2   | 常勤      |
| 230139 | 介護老人保健施設サンフローラみやざき        | 国 富 町 | 内, 外                                  | 2   | 常勤      |
| 230140 | 医)将優会 クリニックうしたに           | 宮 崎 市 | 外, 内, 整, 家庭医, 総合臨床                    | 1   | 常勤      |
| 230141 | 医)博愛社 佐土原病院               | 宮 崎 市 | 内                                     | 1   | 非常勤     |
| 230143 | 医)社団孝尋会 上田脳神経外科           | 宮 崎 市 | 脳外, 内                                 | 2   | 常勤      |
| 230144 | 宮崎生協病院                    | 宮 崎 市 | 総内, 呼吸内, 消化器内,<br>健診                  | 8   | 常勤・非常勤  |
| 230145 | のぞみ医院                     | 宮 崎 市 | 内                                     | 1   | 非常勤     |
| 230146 | 財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 | 宮 崎 市 | 内, 神内, 外, 整外, 脳外,<br>リハ, 麻酔, 救急, 緩和ケア | 10  | 常勤      |
| 230148 | 医)コムロ美容外科                 | 宮 崎 市 | 美外, 形成外, 外, 麻酔                        | 8   | 常勤・非常勤  |
| 160008 | 医)正立会 黒松病院                | 都 城 市 | 泌                                     | 1   | 非常勤     |
| 160010 | 特医)敬和会 戸嶋病院               | 都 城 市 | 内, 消内, 整, 神内                          | 7   | 常勤・非常勤  |
| 160018 | 医)宏仁会 メディカルシティ東部病院        | 都 城 市 | 内, 救急, 放射, 脳外, 外,<br>総合, 眼, 透内        | 8   | 常勤      |
| 170056 | 医)社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック    | 都 城 市 | 循内, 脳外, 呼, 神内                         | 5   | 常勤      |
| 170057 | 医)清陵会 隅病院                 | 都 城 市 | 内, 外, 整                               | 3   | 常勤      |
| 180064 | 国立病院機構都城病院                | 都 城 市 | 消内, 血内, 循, 内, 脳, 産婦,<br>耳鼻            | 9   | 常勤      |
| 180069 | 大悟病院                      | 三 股 町 | 精, 内                                  | 2   | 常勤      |
| 180081 | 医)恵心会 永田病院                | 都 城 市 | 精                                     | 1   | 常勤      |



| 登録番号   | 施 設 名               | 所 在 地 | 募 集 診 療 科               | 求人数 | 勤 務 形 態 |
|--------|---------------------|-------|-------------------------|-----|---------|
| 190092 | 都城市郡医師会病院           | 都 城 市 | 内,呼                     | 4   | 常勤      |
| 190093 | 一社)藤元総合病院付属総合健診センター | 都 城 市 | 内                       | 2   | 常勤・非常勤  |
| 210113 | 医)邦楽会 河村医院          | 都 城 市 | 内                       | 1   | 常勤      |
| 210114 | 藤元総合病院              | 都 城 市 | 精                       | 2   | 常勤      |
| 230127 | 医)倫生会 三州病院          | 都 城 市 | 外,内,麻                   | 9   | 常勤・非常勤  |
| 230133 | 介護老人保健施設すこやか苑       | 都 城 市 | 不問                      | 1   | 常勤      |
| 230135 | 医)廣師会 信愛医院          | 都 城 市 | 内                       | 1   | 常勤      |
| 230137 | 医)宏仁会 海老原内科         | 都 城 市 | 内                       | 1   | 常勤      |
| 240142 | 医)魁成会 宮永病院          | 都 城 市 | 内,リハビリ                  | 2   | 常勤      |
| 230150 | 介護老人保健施設ウェルネス苑都城    | 都 城 市 | 不問                      | 1   | 常勤      |
| 160012 | 医)伸和会 共立病院          | 延 岡 市 | 外,整,皮,放,内,消外            | 6   | 常勤      |
| 160021 | 医)建悠会 吉田病院          | 延 岡 市 | 精                       | 2   | 常勤      |
| 160034 | 特医)健寿会 黒木病院         | 延 岡 市 | 外,内,緩ケア                 | 6   | 常勤・非常勤  |
| 160036 | 医)久康会 平田東九州病院       | 延 岡 市 | 内,外麻,精,神内,脳神経,<br>老施,心内 | 5   | 常勤・非常勤  |
| 190086 | 早田病院                | 延 岡 市 | 内                       | 1   | 常勤      |
| 200100 | 医)育生会 井上病院          | 延 岡 市 | 産婦,内,小                  | 3   | 常勤      |
| 200102 | 延岡市医師会病院            | 延 岡 市 | 消内                      | 3   | 常勤      |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター         | 延 岡 市 | 内,小                     | 2   | 非常勤     |
| 210112 | 医)嘉祥会 岡村病院          | 延 岡 市 | 内                       | 3   | 常勤・非常勤  |
| 230151 | 介護老人保健施設エクセルライフ     | 延 岡 市 | 内                       | 1   | 常勤      |
| 160039 | 医)誠和会 和田病院          | 日 向 市 | 外,内,整,神内                | 6   | 常勤      |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院         | 門 川 町 | 内                       | 3   | 常勤      |
| 230130 | 医)ラポール向洋            | 日 向 市 | 内                       | 1   | 常勤      |
| 230131 | 医)向洋会 協和病院          | 日 向 市 | 内                       | 1   | 常勤      |
| 230147 | 美郷町国民健康保険西郷病院       | 美 郷 町 | 内,整                     | 2   | 常勤      |
| 230152 | 美郷町国民健康保険南郷診療所      | 美 郷 町 | 内                       | 1   | 常勤      |
| 160006 | 都農町国保病院             | 都 農 町 | 内,放,外,小                 | 4   | 常勤      |
| 160023 | 医)宏仁会 海老原総合病院       | 高 鍋 町 | 整,内,心内,眼,健診,循,脳         | 16  | 常勤・非常勤  |
| 170058 | 国立病院機構宮崎病院          | 川 南 町 | 呼,循,消内,外                | 8   | 常勤      |
| 180077 | 医)聖山会 川南病院          | 川 南 町 | 眼,麻,脳                   | 13  | 常勤・非常勤  |
| 160024 | 医)隆徳会 鶴田病院          | 西 都 市 | 内,外                     | 2   | 常勤      |
| 150002 | 医)慶明会 おび中央病院        | 日 南 市 | 内                       | 4   | 常勤・非常勤  |
| 150003 | 医)同仁会 谷口病院          | 日 南 市 | 精,内,外                   | 4   | 常勤      |
| 160022 | 医)愛鍼会 山元病院          | 日 南 市 | 内,消内,神内                 | 3   | 常勤      |
| 160037 | 医)十善会 県南病院          | 串 間 市 | 精,内                     | 1   | 常勤      |
| 170047 | 日南市中立中部病院           | 日 南 市 | 内,神内,整,リハビリ             | 4   | 常勤      |
| 180071 | 串間市民病院              | 串 間 市 | 腎内                      | 1   | 常勤      |
| 220124 | 医)月陽会 きよひで内科クリニック   | 日 南 市 | 内                       | 4   | 常勤・非常勤  |
| 230129 | 医)秀英会 英医院           | 串 間 市 | 内                       | 1   | 常勤      |
| 230138 | 小玉共立外科              | 日 南 市 | 不問                      | 2   | 常勤・非常勤  |
| 230149 | 介護老人保健施設おびの里        | 日 南 市 | 内                       | 2   | 常勤・非常勤  |
| 160019 | 医)相愛会 桑原記念病院        | 小 林 市 | 内,整,皮膚                  | 5   | 常勤・非常勤  |
| 170043 | 医)和芳会 小林中央眼科        | 小 林 市 | 眼                       | 2   | 常勤・非常勤  |
| 180067 | 小林市立病院              | 小 林 市 | 循,救急,産婦,放,小             | 10  | 常勤      |
| 180076 | 医)友愛会 園田病院          | 小 林 市 | 外,内,整                   | 7   | 常勤・非常勤  |
| 190090 | 特医)浩然会 内村病院         | 小 林 市 | 精                       | 2   | 常勤      |
| 190091 | 医)友愛会 野尻中央病院        | 小 林 市 | 整,内                     | 4   | 常勤・非常勤  |
| 170049 | 五ヶ瀬町国保病院            | 五ヶ瀬町  | 整                       | 1   | 常勤      |
| 180070 | 高千穂町国保病院            | 高千穂町  | 内,神内,循内                 | 2   | 常勤      |
| 190088 | 日之影町国保病院            | 日之影町  | 内,整                     | 2   | 非常勤     |

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 25 年 9 月 20 日現在

|         |                                                                                                                       |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 譲渡物件 | ① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田 263 番, 263 番<br>土地のみ：593.5 坪 (2022.17m <sup>2</sup> )                                                   |
| 2. 賃貸物件 | ① 宮崎市曾師町 209-3 (旧 田川内科医院跡地)<br>建物：鉄筋コンクリート造 2 階建<br>1 階 183.35m <sup>2</sup> , 2 階 166.69m <sup>2</sup><br>※駐車場：10 台分 |
|         | ② 延岡市大門町 188-1 (旧 白坂内科医院跡地)<br>建物：鉄筋造平屋建 205m <sup>2</sup><br>※駐車場：10 台分                                              |

## ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の午前 9 時から 12 時及び 13 時から 17 時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@m-iyazakim-ed.or.jp

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 25年 9月 25日現在

| 10 |   |                                                                                                      | 月  |   |                                                                 |
|----|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|-----------------------------------------------------------------|
| 1  | 火 | 18: 00 治験審査委員会<br>19: 00 第 16回常任理事協議会                                                                | 18 | 金 | 11: 30 全国医師国保組合連合会代表者会<br>13: 30 全国医師国保組合連合会全体協議会               |
| 2  | 水 | 19: 00 土曜会(報道機関支局長の会)との懇談会                                                                           | 19 | 土 | 8: 00 全国医師国保組合連合会全体協議会                                          |
| 3  | 木 | 10: 00 (日医)日医社会保険指導者講習会                                                                              |    |   | 14: 30 産業医研修会(実地)                                               |
| 4  | 金 | 10: 00 (日医)日医社会保険指導者講習会<br>15: 00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会<br>19: 00 健康教育委員会                                |    |   | 16: 30 九州医師協同組合連合会通常総会                                          |
| 5  | 土 | 九州首市医師会連絡協議会<br>15: 00 病院部会・医療法人部会合同研修会                                                              |    |   | 17: 00 宮崎大学統合 10周年記念式典及び祝賀会(会長)                                 |
| 6  | 日 | 九州首市医師会連絡協議会<br>12: 00 全国医師協同組合連合会広報部会                                                               |    |   | 17: 00 鶴田病院創立 50周年記念祝賀会                                         |
| 7  | 月 | 19: 00 医師国保組合理事会                                                                                     | 20 | 日 | 九州医師協同組合連合会通常総会                                                 |
| 8  | 火 | 14: 00 産業医研修会(実地)<br>19: 00 第 17回常任理事協議会                                                             |    |   | 8: 00 全国医師国保組合連合会全体協議会観光                                        |
| 9  | 水 | 13: 00 (日医)都道府県医師会検案担当理事連絡協議会<br>16: 00 支払基金幹事会<br>19: 00 三師会懇談会                                     |    |   | 10: 00 九州在宅医療推進フォーラム in 宮崎                                      |
| 10 | 木 | 10: 30 (日医)産業保健活動推進全国会議<br>15: 30 (日医)日医医療情報システム協議会運営委員会<br>19: 00 県内科医会学術委員会<br>19: 30 県産婦人科医会常任理事会 | 21 | 月 | 13: 00 女性医師フォーラム 21                                             |
|    |   |                                                                                                      | 22 | 火 | 18: 20 医協打合会<br>19: 00 第 19回常任理事協議会                             |
|    |   |                                                                                                      | 23 | 水 |                                                                 |
| 11 | 金 | 19: 00 医療安全対策セミナー<br>19: 30 広報委員会                                                                    | 24 | 木 | 10: 00 地域医療現場における働きやすい環境を考える会<br>19: 00 広報委員会<br>19: 00 介護保険委員会 |
| 12 | 土 |                                                                                                      | 25 | 金 | 15: 00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会                                        |
| 13 | 日 | 13: 00 (日医)九州ブロック日医代議員連絡会議<br>13: 30 (日医)日医臨時代議員会                                                    | 26 | 土 | 9: 00 ICLS指導者養成ワークショップ                                          |
| 14 | 月 | (体育の日)                                                                                               | 27 | 日 | 8: 30 県医親善ゴルフ大会<br>8: 30 ACLS研修会                                |
| 15 | 火 | 14: 00 (日医)日医理事会<br>19: 00 第 18回常任理事協議会                                                              | 28 | 月 | 14: 00 県訪問看護推進協議会                                               |
| 16 | 水 |                                                                                                      | 29 | 火 | 18: 15 医協理事会<br>19: 00 第 8回全理事協議会<br>終了後 医協理事・運営委員合同協議会         |
| 17 | 木 |                                                                                                      | 30 | 水 | 15: 00 労災診療指導委員会                                                |
|    |   |                                                                                                      | 31 | 木 | 18: 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会<br>19: 00 諸規程検討委員会                     |

※都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 25 年 9 月 25 日現在

| 11 |   |                                                                                              | 月                                 |   |                                   |
|----|---|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|---|-----------------------------------|
| 1  | 金 | 13: 00 (日医)日医設立記念医学大会                                                                        | 16                                | 土 | 10: 00 九医連委員・九州各県医師会<br>役員合同協議会   |
| 2  | 土 | 15: 00 日医生涯教育協力講座セミナー                                                                        |                                   |   | 13: 00 九州医師会総会・医学会                |
| 3  | 日 | (文化の日)<br>13: 00 全国医師協同組合連合会通常総会                                                             | 17                                | 日 | 九医学分科会・記念行事                       |
|    |   | 4                                                                                            | 月                                 |   |                                   |
| 5  | 火 |                                                                                              |                                   |   |                                   |
|    |   | 18: 00 治験審査委員会                                                                               | 15: 00 (日医)都道府県医師会長協議会            |   |                                   |
| 6  | 水 |                                                                                              | 20                                | 水 | 18: 20 医協打合会                      |
| 7  | 木 | 19: 00 日医社会保険指導者講習会復講                                                                        |                                   |   | 19: 00 第 22回常任理事協議会               |
| 8  | 金 |                                                                                              | 22                                | 金 |                                   |
| 9  | 土 | 全国医師会勤務医部会連絡協議会<br>10: 00 全国学校保健・学校医大会<br>14: 30 産業医研修会<br>17: 30 宮崎医療センター病院設立 10周年<br>記念祝賀会 |                                   |   | 23                                |
|    |   |                                                                                              | 24                                | 日 |                                   |
| 10 | 日 | 14: 00 県小児科医会秋季総会・学術講演会                                                                      | 25                                | 月 | 13: 30 宮大経営協議会                    |
| 11 | 月 | 19: 00 高次脳機能障がい講演会                                                                           |                                   |   | 18: 30 宮崎銀行との懇談会                  |
| 12 | 火 | 15: 00 県立病院事業評価委員会<br>19: 00 第 2回常任理事協議会                                                     | 26                                | 火 | 19: 00 広報委員会                      |
| 13 | 水 | 14: 00 (日医)都道府県医師会有床診療所<br>担当理事連絡協議会<br>16: 00 支払基金幹事会<br>18: 00 HTLV -I母子感染対策協議会            |                                   |   | 18: 00 九州地方社会保険医療協議会<br>宮崎部会      |
|    |   |                                                                                              | 18: 15 医協理事会                      |   |                                   |
| 14 | 木 | 19: 30 広報委員会                                                                                 | 27                                | 水 | 19: 00 第 9 回全理事協議会                |
| 15 | 金 | 16: 30 九医連常任委員会<br>17: 30 九医連臨時委員総会<br>19: 00 県外科医会秋期講演会<br>19: 00 産業医研修会                    |                                   |   | 終了後 医協理事・運営委員合同協議会                |
|    |   |                                                                                              | 28                                | 木 | 15: 00 労災診療指導委員会                  |
| 16 | 土 |                                                                                              | 18: 30 県医会計監査                     |   |                                   |
|    |   |                                                                                              | 19: 00 産業医研修会                     |   |                                   |
| 17 | 日 |                                                                                              | 14: 30 (日医)日医公衆衛生委員会              |   |                                   |
|    |   |                                                                                              | 17: 30 メディカルトライアングルプロジェクト学生向けセミナー |   |                                   |
| 18 | 月 |                                                                                              | 29                                | 金 | 15: 00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会          |
|    |   |                                                                                              | 30                                | 土 | 13: 30 県訪問看護ステーション連絡協議会<br>総会・研修会 |
| 19 | 火 |                                                                                              |                                   |   | 15: 00 九州学校検診協議会専門委員会             |
|    |   |                                                                                              |                                   |   | 17: 00 九州各県学校保健担当理事者会             |

※都合により 変更になることがあります。

※都合により、変更になることがあります。

# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん：各種がん検診登録・指定・更新による研修会。（胃・大腸・肺・乳）

※アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名称・日時・場所                                                         | 演 題                                                            | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                  | 単位  | CC<br>がん       |
|------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-----|----------------|
| 第 82回宮崎市郡医師会心臓病研究会<br>10月 1 日(火)<br>18: 50～ 20: 20<br>宮崎観光ホテル    | 虚血性心疾患の二次予防<br>ー患者さんとの会話を楽しむためにー<br>千葉大学医学研究院循環器内科学教授<br>小林 欣夫 | ◇共催<br>※宮崎市郡医師会病院<br>☎ 0985-24-9119<br>トーアエイヨー(株)    | 1.5 | 1<br>3<br>15   |
| 第 15回宮崎「感染と免疫」研究会<br>10月 2 日(水)<br>19: 00～ 20: 45<br>宮崎観光ホテル     | 呼吸器感染症診療の実際<br>ーガイドラインと臨床ー 他 2 題<br>富山大学感染予防医学講座教授<br>山本 善裕 他  | ◇共催<br>宮崎「感染と免疫」研究会<br>※大正富山医薬品(株)<br>☎ 092-451-7884 | 1.5 | 42<br>45<br>46 |
| 平成 25年度結核研修会<br>10月 4 日(金)<br>19: 00～ 20: 30<br>日南保健所            | 新しい知見に基づいた結核対策<br>ー結核の診断と治療ー<br>結核予防会結核研究所副所長 加藤 誠也            | ◇共催<br>日南保健所<br>※南那珂医師会<br>☎ 0987-23-3411            | 1.5 | 46             |
| 第 12回宮崎県睡眠呼吸障害研究会<br>10月 4 日(金)<br>19: 00～ 20: 30<br>JA A ZM ホール | 睡眠覚醒障害研究の最近の進歩<br>秋田大学医学部精神科学分野准教授<br>神林 崇                     | ◇共催<br>宮崎県睡眠呼吸障害研究会<br>※帝人在宅医療(株)<br>☎ 0985-25-6613  | 1.5 | 74<br>76<br>80 |



| 名称・日時・場所                                                                                               | 演 題                                                                                               | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                                   | 単位  | CC・がん              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------------|
| 延岡医学会学術講演会<br>10月4日(金)<br>19:00～20:40<br>マリエールオーク<br>パイン延岡                                             | 心不全の新しい概念と治療ストラテジー<br>熊本加齢医学研究所<br>熊本機能病院循環器内科部長 水野 雄二                                            | ◇共催<br>延岡医学会<br>※大塚製薬(株)<br>☎ 0985-24-2287                                                                            | 1.5 | 13<br>24<br>45     |
| みやざきホスピス<br>緩和ケアネットワーク<br>第5回学術集会<br>第21回都城緩和ケア<br>研究会<br>10月5日(土)<br>12:30～16:30<br>都城市ウェルネス<br>交流プラザ | がん治療における緩和医療<br>すえなが内科在宅診療所院長 末永 和之<br>参加費: 500円                                                  | ◇主催<br>みやざきホスピス緩和<br>ケアネットワーク<br>都城緩和ケア研究会<br>◇共催<br>大日本住友製薬(株)<br>◇後援<br>宮崎県医師会 他<br>(連絡先)<br>三州病院<br>☎ 0986-22-0230 | 3   | 80<br>81           |
| 第26回宮崎乳腺<br>疾患研究会<br>10月5日(土)<br>16:00～18:00<br>ホテルJALシティ<br>宮崎                                        | 整容性を考慮した乳がん手術<br>—日本人女性に対するOncoplastic surgeryの実践—<br>鹿児島大学医歯学総合研究科診療講師<br>喜島 祐子<br>参加費: 500円(医師) | ◇共催<br>宮崎乳腺疾患研究会<br>※アストラゼネカ(株)<br>☎ 092-283-8150                                                                     | 1   | 1<br>2<br>①        |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>10月8日(火)<br>14:00～16:00<br>県医師会館                                                   | (6)作業環境管理・作業管理<br>事業場の環境管理(温度・騒音・照明・分煙等)<br>下津労働衛生コンサルタント事務所代表<br>下津 義博<br>生涯研修の現地研修会: 2単位        | ◇共催<br>宮崎産業保健推進連絡事務所<br>※宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                                                                     | 2   | 8<br>9<br>11<br>84 |

| 名称・日時・場所                                                         | 演 題                                                                                                                                                                                          | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                    | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん                    |
|------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------------------------|
| 延岡医学会学術<br>講演会<br>10月 11日(金)<br>19: 00～ 20: 40<br>ホテルメリージュ<br>延岡 | 胃癌治療の現状と将来展望<br>—EBM に踊らされない胃癌治療—<br>がん研有明病院副院長 山口 俊晴                                                                                                                                        | ◇共催<br>延岡医学会<br>※中外製薬(株)<br>☎ 0985-20-8118<br>◇後援<br>延岡内科医会                            | 1      | 8<br>82<br>⑦                     |
| 第 49回 宮 崎 県<br>スポーツ学会<br>10月 12日(土)<br>15: 00～ 18: 30<br>県医師会館   | 超音波を用いた運動器の機能解剖学的評価<br>中部学院大学理学療法学科教授 林 典雄<br>女性アスリートは誰が診るか? ～スポーツ医でしよ!<br>(女性アスリートのスポーツ医学)<br>国立病院機構西別府病院<br>スポーツ医学センター長 松田 貴雄<br>膝のスポーツ損傷<br>埼玉医科大学総合医療センター<br>整形外科教授 酒井 宏哉<br>参加費: 1,000円 | ◇共催<br>宮崎県スポーツ学会<br>久光製薬(株)<br>◇後援<br>宮崎県医師会<br>(連絡先)<br>宮崎大学医学部整形外科<br>☎ 0985-85-0986 | 3      | 10<br>21<br>57<br>61<br>62<br>63 |
| 延岡医学会学術<br>講演会<br>10月 18日(金)<br>19: 00～ 21: 00<br>ホテルメリージュ<br>延岡 | 整形外科医が気をつけるべき閉塞性動脈硬化症<br>県立延岡病院心臓血管外科医長 新名 克彦<br>NSAIDと出血性十二指腸潰瘍<br>済生会熊本病院消化器センター医長 江口 洋之                                                                                                   | ◇共催<br>延岡医学会<br>宮崎県北地区整形外科医会<br>※ファイザー(株)<br>☎ 092-281-7031                            | 2      | 50<br>51<br>62<br>63             |
| 第 12回宮崎内視鏡<br>外科研究会<br>10月 18日(金)<br>19: 00～ 21: 00<br>宮崎観光ホテル   | 症例検討会(下部消化管を中心に)(仮)<br>潤和会記念病院外科部長 佛坂 正幸                                                                                                                                                     | ◇主催<br>※ジョンソンエンドジョンソン(株)<br>☎ 080-2584-7194<br>◇共催<br>宮崎内視鏡外科研究会                       | 2      | 1<br>2<br>5<br>8                 |

| 名称・日時・場所                                                                  | 演 題                                                                                                                        | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                                        | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん                   |
|---------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|---------------------------------|
| 都城市北諸県郡医<br>師会内科医会学術<br>講演会<br>10月 18日(金)<br>19: 00～ 20: 30<br>ホテル中山荘     | うつ病診療のいま<br>ー抗うつ薬は処方医を助けるか？ー<br>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室助教<br>小口 芳世                                                              | ◇共催<br>都城市北諸県郡医師会内科医会<br>持田製薬(株)<br>田辺三菱製薬(株)<br>吉富薬品(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎ 0986-22-0711                          | 1.5    | 18<br>69<br>70                  |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>10月 19日(土)<br>14: 30～ 16: 30<br>県医師会館                 | (5)救急処置<br>救急処置について(仮)<br>宮崎大学医学部附属病院救命救急センター長<br>落合 秀信<br>基礎研修・生涯研修の現地研修会: 2 単位                                           | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                                                                                           | 2      | 1<br>5<br>8<br>16               |
| 第 4 回九州在宅医<br>療推進フォーラム<br>10月 20日(日)<br>10: 00～ 15: 30<br>宮崎観光ホテル         | 地域包括ケア時代の在宅医療<br>千葉健愛会理事長 川越 正平<br>自分らしく生ききることを支援するプロの力<br>全国訪問看護事業協会事務局長<br>宮崎 和加子<br>他 シンポジウム                            | ◇主催<br>第 4 回九州在宅医療推進<br>フォーラム実行委員会<br>◇共催<br>在宅医療助成勇美記念財団<br>他<br>◇後援<br>宮崎県医師会 他<br>(連絡先)<br>外山内科神経内科医院<br>☎ 0985-28-1388 | 5      | 1<br>10<br>13<br>14<br>80<br>81 |
| 第 5 回 宮崎リハ<br>ビリテーション<br>講習会<br>10月 20日(金)<br>14: 00～ 16: 00<br>県総合保健センター | 私の脳梗塞<br>ー当事者となった専門家の視点からー<br>神戸大学保健学研究科客員教授 関 啓子<br>高次脳機能障害に対する考え方とその対応<br>ー注意障害を中心にー<br>東海大学医学部附属病院<br>リハビリテーション科教授 豊倉 穰 | ◇主催<br>※宮崎大学医学部整形外科<br>☎ 0985-85-0986                                                                                      | 2      | 13<br>32<br>34<br>78            |

| 名称・日時・場所                                                                           | 演 題                                                            | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                             | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん  |
|------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------|
| 宮崎市郡産婦人科<br>医会学術講演会<br>10月 21日(月)<br>18: 45～ 19: 45<br>宮崎観光ホテル                     | 子宮内膜症発生・発癌メカニズムと薬物療法<br>九州大学医学研究院生殖病態生理学教授<br>加藤 聖子            | ◇共催<br>宮崎市郡産婦人科医会<br>バイエル薬品(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎ 0985-53-3434              | 1      | 8<br>9         |
| 宮崎市郡外科医会<br>10月例会<br>10月 21日(月)<br>19: 10～ 20: 10<br>宮崎観光ホテル                       | 泌尿器科手術の最近の話題<br>宮崎大学医学部泌尿器科学分野教授<br>賀本 敏行                      | ◇主催<br>宮崎市郡外科医会<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎ 0985-53-3434                             | 1      | 9<br>84        |
| 延岡医学会学術<br>講演会<br>10月 23日(水)<br>19: 00～ 21: 00<br>ホテルメリージュ<br>延岡                   | ヘリコバクター・ピロリ菌感染症の話題<br>大分大学医学部消化器内科講座教授<br>村上 和成                | ◇共催<br>延岡医学会<br>※ゼリア新薬工業(株)<br>☎ 097-532-5952                                     | 1.5    | 9<br>51<br>52  |
| 宮崎市郡内科医会<br>学術講演会<br>10月 23日(水)<br>19: 30～ 20: 30<br>宮崎観光ホテル                       | 気管支喘息治療の最近の動向<br>—新しいガイドラインとSMART療法にも触れて—<br>鴨池生協クリニック院長 栃木 隆男 | ◇共催<br>宮崎市郡内科医会<br>アステラス製薬(株)<br>アストラゼネカ(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎ 0985-53-3434 | 1      | 46<br>79       |
| 都城市北諸県郡<br>医師会・都城地区<br>整形外科医会合同<br>学術講演会<br>10月 24日(木)<br>19: 00～ 20: 30<br>ホテル中山荘 | 骨粗鬆症診療の新展開<br>国家公務員共済組合連合会浜の町病院<br>整形外科部長 馬渡 太郎                | ◇共催<br>※都城市北諸県郡医師会<br>☎ 0986-22-0711<br>都城地区整形外科医会<br>第一三共(株)                     | 1.5    | 11<br>19<br>77 |

| 名称・日時・場所                                                                 | 演 題                                                                                                                                    | 主催・共催・後援                                                      | 単 位 | CC・がん                     |
|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-----|---------------------------|
| 宮崎市郡医師会 10 月例会特別講演会<br>しのめ医学会<br>10月 23日(金)<br>19: 00～ 20: 00<br>宮崎観光ホテル | 医療現場から政策提案を考える<br>—胃がん予防のためのピロリ菌除菌の保険適用実現を通して—<br>参議院議員・医学博士 秋野 公造                                                                     | ◇主催<br>※宮崎市郡医師会<br>☎ 0985-53-3434                             | 1   | 9<br>11                   |
| 西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会<br>10月 23日(金)<br>19: 00～ 21: 00<br>ガーデンベルズ 小林        | 大腸がんの予防と最新治療<br>高野病院長 山田 一隆                                                                                                            | ◇主催<br>※西諸医師会<br>☎ 0984-23-2113<br>西諸内科医会<br>◇共催<br>武田薬品工業(株) | 2   | 9<br>11<br>53<br>54<br>大腸 |
| 第 154 回 宮 崎 県眼科医会講習会<br>10月 26日(土)<br>16: 30～ 19: 10<br>K I T E N        | 診療に役立てよう ERG<br>日本眼科医会副会長 山岸 直矢<br>硝子体手術—手技と評価の進歩—<br>名古屋大学医学系研究科<br>眼科学・感覚器障害制御学教授 寺崎 浩子<br>参加費: 3,000円(開業医・勤務医)<br>2,000円(公的医療機関勤務医) | ◇主催<br>※宮崎県眼科医会<br>☎ 0985-28-1015<br>◇共催<br>日本アルコン(株)         | 2.5 | 36                        |
| 江南医療連携の会<br>特別講演会<br>10月 26日(土)<br>19: 00～ 20: 30<br>M R T m i c c       | MR でできること<br>宮崎大学医学部附属病院放射線科助教 榮 建文<br>参加費: 500円                                                                                       | ◇主催<br>江南医療連携の会<br>(連絡先)<br>社会保険宮崎江南病院<br>☎ 0985-51-7575      | 1.5 | 9                         |



| 名称・日時・場所                                                                             | 演 題                                                                                                                                                         | 主催・共催・後援                                                                                            | 単位  | CC・がん                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------------------------------------|
| 「皮膚の日」講演会<br>10月 2日(日)<br>14: 00～ 15: 30<br>宮日会館                                     | いろいろなヒトヘルペスウイルス感染症<br>ー帯状疱疹はこわくないー<br>青木皮膚科 出盛 允啓                                                                                                           | ◇主催<br>宮崎県皮膚科医会<br>◇共催<br>日本臨床皮膚科医会<br>◇後援<br>日本医師会<br>宮崎県医師会 他<br>(連絡先)<br>青木皮膚科<br>☎ 0985-23-2011 | 1.5 | 1<br>2<br>9                         |
| 美 波 セ ミ ナ ー<br>in 宮崎<br>10月 29日(火)<br>19: 00～ 21: 00<br>宮崎観光ホテル                      | 糖尿病治療のあり方<br>ー良質な血糖管理を目指してー 他 2 題<br>川崎医科大学特任教授 加来 浩平 他                                                                                                     | ◇共催<br>宮崎県内科医会<br>※大日本住友製薬(株)<br>☎ 0985-29-5855                                                     | 2   | 10<br>76                            |
| 南那珂医師会生涯<br>教育医学会<br>10月 30日(水)<br>18: 50～ 20: 20<br>南那珂医師会館                         | 心不全と利尿薬<br>ーサムスカの使用経験を含めてー<br>宮崎大学医学部附属病院<br>循環体液制御学分野助教 鬼塚 久充                                                                                              | ◇共催<br>※南那珂医師会<br>☎ 0987-23-3411<br>大塚製薬(株)                                                         | 1.5 | 74                                  |
| 日本臨床泌尿器科<br>医会第 10回臨床検<br>討会<br>11月 3 日(日)<br>14: 00～ 18: 00<br>シーガイアコンベン<br>ションセンター | 前立腺癌アンドロゲン除去療法に於ける「テストステロン値」を考える<br>宮崎大学医学部泌尿器科学教授 賀本 敏行<br>日本泌尿器科学会及び国際泌尿器科学会の現況と<br>今後の展望について<br>日本泌尿器科学会理事長 内藤 誠二<br>参加費: 5,000円<br>(県泌尿器科医会員、勤務医、学生は無料) | ◇共催<br>日本臨床泌尿器科医会<br>アステラス製薬(株)<br>(連絡先)<br>みのだ泌尿器科医院<br>☎ 0985-54-7171                             | 4   | 1<br>2<br>9<br>15<br>64<br>65<br>67 |

| 名称・日時・場所                                                                 | 演 題                                                                                                                                                    | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                             | 単位  | CC・がん         |
|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|-----|---------------|
| 第83回宮崎市郡医師会心臓病研究会<br>11月7日(木)<br>18:45～20:15<br>宮崎観光ホテル                  | 心臓病予防の為に糖尿病治療<br>佐賀大学医学部循環器内科教授 野出 孝一                                                                                                                  | ◇共催<br>※宮崎市郡医師会病院<br>☎ 0985-24-9119<br>バイエル薬品(株)                                | 1.5 | 2915          |
| 心房細動治療ガイドライン公開セミナー「心房細動のトータルマネジメント」<br>11月8日(金)<br>19:00～21:10<br>県医師会館  | ガイドラインに基づいた心房細動の薬物治療：<br>リズムコントロール・レートコントロール<br>国際医療福祉大学三田病院長 小川 聡<br>心原性脳塞栓症のリスク評価と薬物療法の実践<br>日本医科大学多摩永山病院<br>循環器内科学教授 新 博次                           | ◇共催<br>日本心電学会<br>第一三共(株)<br>◇後援<br>宮崎県医師会<br>(連絡先)<br>(株)協和企画<br>☎ 03-3573-2060 | 2   | 31324243      |
| 宮崎県医師会産業医研修会<br>11月9日(土)<br>14:30～18:30<br>県医師会(TV会議：延岡・日向・児湯・西都・南那珂・西諸) | (5)健康保持増進<br>産業保健における栄養・食の力を考える(仮)<br>鹿児島大学医歯学総合研究科・環境医学教授<br>堀内 正久<br>(1)総論<br>浮遊粒子状物質による健康影響(仮)<br>産業医科大学名誉教授 嵐谷 奎一<br>基礎研修の後期研修会・生涯研修の専門研修会：<br>4単位 | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                                                | 4   | 5891112132182 |
| 宮崎県医師会産業医研修会<br>11月15日(金)<br>19:00～21:00<br>県医師会館                        | (3)健康管理<br>糖尿病の予防と治療<br>都城市郡医師会病院副院長 中津留 邦展<br>生涯研修の専門研修会：2単位                                                                                          | ◇共催<br>宮崎産業保健推進連絡事務所<br>※宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                               | 2   | 5117682       |

| 名称・日時・場所                                                                | 演 題                                                                                                     | 主催・共催・後援                                                | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん       |
|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|--------|---------------------|
| 大悟病院認知症疾患医療センターかかりつけ医研修会<br>11月 15日(金)<br>19: 00～ 20: 50<br>都城市北諸県郡医師会館 | 認知症を診(看)るー現状と課題ー<br>吉見クリニック院長 吉見 雅博<br>他                                                                | ◇共催<br>大悟病院認知症疾患医療センター<br>※都城市北諸県郡医師会<br>☎ 0986-22-0711 | 1.5    | 13<br>14<br>29      |
| 宮崎県内科医会学術講演会 糖尿病予防勉強会<br>11月 19日(火)<br>18: 50～ 20: 40<br>ホテルJALシティ宮崎    | スリー症例報告<br>横田内科院長 横田 直人<br>糖尿病患者の脂質プロフィール<br>ースタチンによる糖尿病発症予防ー<br>東邦大学医療センター大橋病院<br>糖尿病・代謝内科教授 柴 輝男      | ◇共催<br>宮崎県内科医会<br>※興和創薬(株)<br>☎ 0985-24-8175            | 1.5    | 8<br>75<br>76       |
| 宮崎県医師会産業医研修会<br>11月 21日(木)<br>13: 30～ 15: 30<br>延岡地域職業訓練センター            | (1)労働安全関係法規と関係通達の改正<br>労働衛生行政の動向<br>ー最近の報道発表資料(厚生労働省)からー<br>西部労働衛生コンサルタント事務所代表 矢崎 武<br>生涯研修の更新研修会: 2 単位 | ◇共催<br>宮崎産業保健推進連絡事務所<br>※宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118       | 2      | 3<br>7<br>8<br>9    |
| 第 14回 宮 崎 BD 講演会<br>11月 22日(金)<br>18: 40～ 20: 40<br>M R T m i c c       | 炎症性腸疾患の個別化治療を目指して<br>滋賀医科大学感染応答・免疫調節部門教授 安藤 朗                                                           | ◇共催<br>宮崎県内科医会<br>※杏林製薬(株)<br>☎ 0985-27-3301            | 2      | 1<br>53<br>54<br>55 |

| 名称・日時・場所                                                                                  | 演 題                                                                            | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                            | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|--------|-------------------|
| 宮崎県精神科<br>診療所協会学術<br>講演会<br>11月23日(土)<br>19:00～20:00<br>ホテルJALシティ<br>宮崎                   | アルコール関連障害の今日的課題<br>札幌医科大学医学部神経精神医学教授<br>齋藤 利和                                  | ◇共催<br>宮崎県精神科診療所協会<br>※ M eiji Seika ファルマ(株)<br>☎ 0985-25-6215 | 1      | 69<br>70          |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>11月27日(水)<br>19:00～21:00<br>県医師会(TV会<br>議:延岡・日向・<br>児湯・西都・南那<br>珂・西諸) | (7)作業管理<br>ヒューマンエラーを防ぐためには何が必要か<br>宮崎大学医学部公衆衛生学分野教授<br>黒田 嘉紀<br>生涯研修の専門研修会:2単位 | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                               | 2      | 3<br>5<br>6<br>11 |
| 第84回宮崎市郡医<br>師会心臓病研究会<br>12月2日(月)<br>18:45～20:15<br>宮崎観光ホテル                               | 最近の肺性高血圧の話題について<br>久留米大学医学部心臓・血管内科部門主任<br>教授<br>福本 義弘                          | ◇共催<br>※宮崎市郡医師会病院<br>☎ 0985-24-9119<br>興和創薬(株)                 | 1.5    | 2<br>9<br>74      |
| 第7回はまゆう<br>整形外科セミナー<br>12月7日(土)<br>17:15～18:15<br>宮崎観光ホテル                                 | 毎日の臨床に役立つ“手外科”の知識<br>渡辺整形外科病院長<br>牧 信哉                                         | ◇主催<br>はまゆう整形外科セミナー<br>(連絡先)<br>宮崎大学医学部整形外科<br>☎ 0985-85-0986  | 1      | 57<br>61          |

| 名称・日時・場所                                                   | 演 題                                                    | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                          | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん |
|------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------|---------------|
| 第 6回宮崎整形外科<br>科懇話会<br>12月 2日(土)<br>18: 00~ 19: 00<br>県医師会館 | 肉離れ, 筋損傷の超音波検査による診断と評価<br>増田病院整形外科 魏 国雄<br>参加費: 1,000円 | ◇主催<br>宮崎整形外科懇話会<br>◇共催<br>宮崎県整形外科医会<br>大日本住友製薬(株)<br>(連絡先)<br>宮崎大学医学部整形外科<br>☎ 0985-85-0986 | 1      | 57<br>62      |

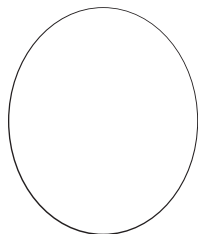
## 日本医師会生涯教育カリキュラム (2009)

カリキュラムコード(略称: CC)

|                     |                |                     |
|---------------------|----------------|---------------------|
| 1 専門職としての使命感        | 29 認知能の障害      | 57 外傷               |
| 2 継続的な学習と臨床能力の保持    | 30 頭痛          | 58 褥瘡               |
| 3 公平・公正な医療          | 31 めまい         | 59 背部痛              |
| 4 医療倫理              | 32 意識障害        | 60 腰痛               |
| 5 医師-患者関係とコミュニケーション | 33 失神          | 61 関節痛              |
| 6 心理社会的アプローチ        | 34 言語障害        | 62 歩行障害             |
| 7 医療制度と法律           | 35 けいれん発作      | 63 四肢のしびれ           |
| 8 医療の質と安全           | 36 視力障害, 視野狭窄  | 64 肉眼的血尿            |
| 9 医療情報              | 37 目の充血        | 65 排尿障害(尿失禁・排尿困難)   |
| 10 チーム医療            | 38 聴覚障害        | 66 乏尿・尿閉            |
| 11 予防活動             | 39 鼻漏・鼻閉       | 67 多尿               |
| 12 保健活動             | 40 鼻出血         | 68 精神科領域の救急         |
| 13 地域医療             | 41 嘔声          | 69 不安               |
| 14 医療と福祉の連携         | 42 胸痛          | 70 気分の障害(うつ)        |
| 15 臨床問題解決のプロセス      | 43 動悸          | 71 流・早産および満期産       |
| 16 ショック             | 44 心肺停止        | 72 成長・発達の障害         |
| 17 急性中毒             | 45 呼吸困難        | 73 慢性疾患・複合疾患の管理     |
| 18 全身倦怠感            | 46 咳・痰         | 74 高血圧症             |
| 19 身体機能の低下          | 47 誤嚥          | 75 脂質異常症            |
| 20 不眠               | 48 誤飲          | 76 糖尿病              |
| 21 食欲不振             | 49 嚥下困難        | 77 骨粗鬆症             |
| 22 体重減少・るい瘦         | 50 吐血・下血       | 78 脳血管障害後遺症         |
| 23 体重増加・肥満          | 51 嘔気・嘔吐       | 79 気管支喘息            |
| 24 浮腫               | 52 胸やけ         | 80 在宅医療             |
| 25 リンパ節腫脹           | 53 腹痛          | 81 終末期のケア           |
| 26 発疹               | 54 便秘異常(下痢・便秘) | 82 生活習慣             |
| 27 黄疸               | 55 肛門・会陰部痛     | 83 相補・代替医療(漢方医療を含む) |
| 28 発熱               | 56 熱傷          | 84 その他              |



## 診療メモ



## 卵子の老化について

とえだウイメンズクリニック 戸 枝 通 保

はじめに

最近テレビや女性誌などでしばしば“卵子の老化”というテーマが取り上げられています。これは妊<sup>よう</sup>孕性の低下と関連したテーマであり、その背景には晩婚化の進行や結婚しても妊娠・出産は後回しという状態が難治性不妊症の増加を招いているという問題があります。実際に多くの不妊治療施設において受診患者の高年齢化による妊娠率の低下が最大の悩みとなっています。さらに流産やダウン症などの染色体異常も高齢患者では明らかに増加します。

#### 加齢による卵巣機能の変化

ヒトの発生の過程において胎生4週頃にはすでに原始生殖細胞が出現し、その後卵祖細胞へと変化し、12週を過ぎる頃には一部の卵祖細胞が減数分裂を開始し一次卵母細胞となります。胎生20週頃に卵祖細胞と一次卵母細胞の数はピークとなり600万～700万となります。以後は減少の一途をたどり新たに卵細胞が形成されることはありません。出生時には約200万、初経を迎える頃には20万～30万となります。排卵に至る卵は数百に過ぎませんが、大多数の卵がアポトーシスによって失われ、閉経を迎える50歳頃に残存している卵は1,000程度に過ぎません(図1)。

また、卵の質に関しても30歳代後半から低下し始め37～38歳になるとその傾向が顕著になり、体外受精で採取される卵も明らかに異常卵の比

率が高くなってきます(図2)。また一見正常に見える卵でも受精しなかったり、発生が途中で停止したりする卵が増加してきます。

#### 卵巣機能の検査

従来より卵巣機能の評価にはFSH (follicle-stimulating hormone, 卵胞刺激ホルモン)が用いられてきましたが、卵巣機能が低下してFSHが上昇してくるのは閉経にかなり近づいた時期になってからであり、比較的若い年齢における指標としてはあまり役に立ちません。そこで最近注目されているのがAMH (anti-Müllerian hormone, 抗ミューラー管ホルモン)です。男性の胎生期には精巣のセルトリ細胞から分泌され、女性生殖器の一部のもととなるミューラー管を退化・消失させます。しかし、女性では小児期には低値であるAMHが、思春期に排卵が開始すると上昇を始め25～26歳をピークに再び低下していきます(図3)。これは原始卵胞から前胞状卵胞に至る発育途上の卵胞の顆粒膜細胞より分泌されるようになるためです。このAMHの値が卵巣に残存する原始卵胞の数(=卵子の数)と相関が高いため、卵巣の予備能の指標として頻用されるようになってきました。AMHが他の物質に比べて指標として優れているのは、月経周期内での変動が小さい点と、他の物質では変動の見られない若い年齢でも卵巣予備能が低下してくると有意に下降してくる点が挙げられます。

一方、形態学的な指標としてAFC(胞状卵胞数)が用いられることがあります。これは卵胞期早期に超音波検査で卵巣を観察し2～6mmの胞状卵胞数をカウントした数値が用いられることがあります。この数値が高い例ほど、卵巣刺激に対する反応が良好であり、AMHとの相関も良いことが示されています。ただこの2つの指標はいずれも卵子の数(quantity)に関する因子であり、質(quality)を担保するものではないという問題点があります。残存する卵子の数が減少するとともにその質も低下する傾向があるのは確かですが、必ずしも直接的な相関があるわけではありません。現時点では臨床現場で卵子の質を確実に把握する指標は見出されていません。

#### 対応策

最も抜本的な対策は“少しでも早く結婚を”、“少しでも若いうちに妊娠を”ということになりますが、これは社会的・経済的な側面が大きく、

私たち医療関係者のみの努力で解決を図るのは困難です。しかし、高齢化とともに卵子の数・質ともに低下し妊娠がむずかしくなるということを粘り強く訴えてゆく必要はあると思います。

医学的な対策としては、結婚前に卵子を採取し凍結保存を行うという方法が考えられますが、未受精卵の凍結技術が未だに開発途上であり、解凍時の蘇生率がきわめて低いのが現状です。また保存期間が長期に及ぶ可能性があるのも、その間の管理の問題もあります。

数年前に、成人の卵巣にも分裂増殖する能力を有する幹細胞が存在するという報告がなされて注目を集めました。昨年にはマウスにおいてiPS細胞から卵子を作成し、この卵子を用いて新生仔を得たという発表がなされています。しかし、いずれもすぐに臨床に応用できるものではありません。かくして不妊治療施設の苦悩は続きます。

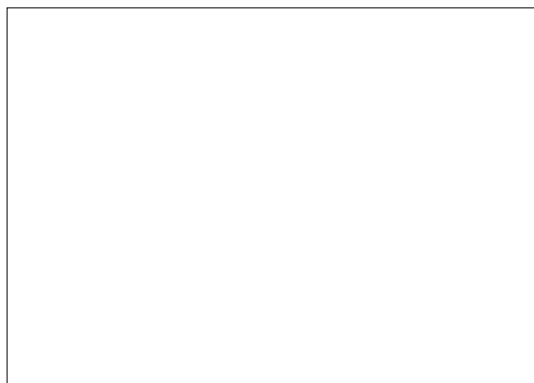


図1 卵子の数の年齢による変化



図2 良好な成熟卵子(左)と異常卵(右)

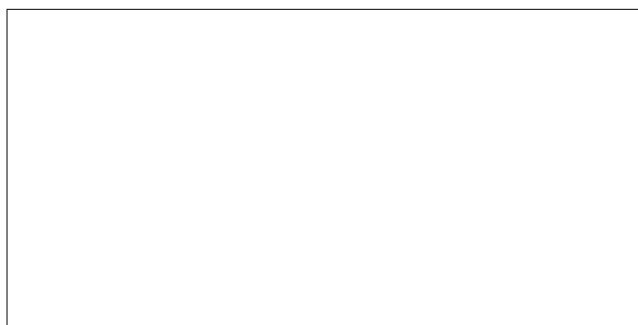


図3 出生から閉経までの血清AMH値

## 宮大医学部学生のページ

## 宮崎大学学園祭 第9回清花祭～喜笑展結～

日時 平成25年11月16日(土)・17日(日)

会場 宮崎大学 清武キャンパス・木花キャンパス

今年も上記のとおり学園祭を行うことが決定いたしましたのでお知らせします。今年のスローガンは『喜笑展結』です。学祭に関わる全ての人に喜びと笑顔を届けられるようにという思いが込められ、「起承転結」という四字熟語の元々の意味も含めて宮大生の豊かな創造力と表現力を表しております。イベント・企画内容を一部ですが、ご紹介します。

## ◎神輿企画

今年の清花祭も11月15日(金)にみこしパレードを行います。午後1時に栄町街区公園を出発し、デパート前、橘通り、県庁前を練り歩きます。今年も大学内の各団体がユニークな神輿を作り上げ、元気に行進をします。なのでお時間のある方は是非いらしてください。

## ◎こども企画

清花祭に遊びに来てくれた子どもたちを招待して、ミニ運動会を開催します。子どもたちや保護者の皆さまと一緒に楽しい時間を過ごしなが、医学部を身近に感じていただけたらと思います。多くの子どもたちの参加をお待ちしております。

## ◎年齢企画

毎年来場者が2日間で1,000人を超える人気企画であり、脳・肌・血管・体力年齢を、機材を用いてゲーム感覚で測定し、様々な「年齢」により自身の健康に関心を持っていただきたいと思います。

## ◎Café de aroma

「人の心を癒す優しさ」を伝える療法として医療に取り入れられつつあるメディカルアロマセラピー、これについての展示と、実際にアロマオイルを使ったハンドマッサージ、ハーブティー・お菓子の提供を通して“人を癒す”ことを考えようという企画です。ぜひ、日常とは少し違った「癒しの空間」をご堪能ください。

◎患者さんの気持ち 看護師さんの気持ち お医者さんの気持ち

患者さん、看護師、医師など医療従事者の『気持ち』を募集し、集まった作品を一冊の冊子にまとめ、学

祭当日に作品集として無料配布し、一部を展示致します。この活動を通して、患者さんと医療スタッフとの相互理解を深め、双方の間に垣根のない医療の実現を目指しております。

## ◎解剖・病理企画

体の構造や身近な病気について理解を深め、ご自身の健康について考えてもらうことを目的としています。実物の病理標本や模型、またお子様にも気軽に楽しんでいただける塗り絵なども用意しています。是非足を運んでいただき、医学や人体の面白さに触れてみてください。

## 宮崎大学清花祭医学部特別講演会

## 日本人の楽観と憂鬱

～「楽しく生きること」を人々はどう考えてきたか～

ロバート・キャンベル 氏

日本文学研究者・東京大学大学院教授。近世・近代日本文学が専門で、とくに19世紀(江戸後期～明治前半)の漢文学と、それに関連の深い様々なジャンルに関心を寄せ、日本文化への造詣も深い。テレビでMCやニュース・コメンテーター等をつとめ、新聞雑誌連載、書評、ラジオ番組出演などさまざまなメディアで活躍中。

今回は、今の日本人について普段とは異なった視点からお話をさせていただきます。先生ならではの鋭い切り口にぜひご期待ください！

日 時 2013年 11月 4日(月・祝)  
開場 12: 00 開演 13: 00

会 場 清武町文化会館 半九ホール

主 催 宮崎大学清花祭清武キャンパス  
実行委員会

共 催 清武町文化会館

後 援 宮崎市教育委員会、宮崎日日新聞社  
MRT 宮崎放送、宮崎大学医学部後援会

入場料 無料

## 〈応募方法〉

本年度はチケットを配布致しません。観覧をご希望の方は、当日直接会場までお越しください。なお、席の確保をご希望の方は、「ご氏名・ご住所・ご年齢・電話番号・ご希望の席数ならびに位置」を明記の上、次のいずれかの方法にてご連絡ください。できる限りご希望に添える形で席をご用意致します。

①はがき：〒 889-1692 宮崎市清武町木原 5200 清花祭実行委員会

②電子メール：責任者 石山 (deaconkrispy @ gm ail . com ) 宛

## 【お問い合わせ】

宮崎大学清花祭特別講演会

企画責任者 石山 ☎ 090-9583-1831

E-mail : deaconkrispy @ gm ail . com

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。また、MMA 通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時ご案内しておりますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

会員専用ページへのアクセス方法

宮崎県医師会 (<http://www.miyazakimed.or.jp/>) にアクセス

県医師会ホームページ右下の「会員専用ページ」をクリック

ユーザー名：医籍登録番号を入力

パスワード：生年月日(西暦の下二桁と月日)を入力(初期設定)

例) 1950 年 11 月 2 日生まれの場合, 501102

※ MMA 通信への登録をご希望の方は、県医師会地域医療課までご連絡ください

(TEL 0985-22-5118)。

| 送付日      | 文 書 名                                                                                                                                               |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8 月 29 日 | ・平成 25 年度「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者」に関する講習会の開催案内及び周知の協力依頼について                                                                                     |
| 8 月 31 日 | ・(記者発表)腸管出血性大腸菌感染症の集団発生について                                                                                                                         |
| 9 月 3 日  | ・共済組合員証の無効通知について                                                                                                                                    |
| 9 月 5 日  | ・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)ウイルスの国内分布調査結果(第一報)について<br>・「病原微生物検出情報」の送付について<br>・新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業による研究成果の周知について<br>・学校給食における食物アレルギー対応を有する児童生徒への対応調査(周知依頼) |
| 9 月 6 日  | ・ボレリア・ミヤモトイによる回帰熱の国内症例の確認及びライム病を含むボレリア感染症の病原体診断検査について(情報提供及び協力依頼)                                                                                   |
| 9 月 9 日  | ・医師等資格確認検索システムの拡充について(通知)<br>・在宅医療における患者紹介等の報告様式について                                                                                                |
| 9 月 10 日 | ・病院の耐震改修の状況の調査について<br>・耐震対策緊急促進事業説明会の開催について<br>・ボレリア・ミヤモトイによる回帰熱の国内症例の確認及びライム病を含むボレリア感染症の病原体診断検査について<br>・厚生労働ホームページ「風しんについて」の情報更新について               |
| 9 月 12 日 | ・東日本大震災に伴う介護療養型医療施設の指定に係る特別措置の満了日の延長について<br>・「洗浄又は拭拭の業務等において事業者が講ずべき化学物質のばく露防止対策」の改正等について<br>・労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び労働安全衛生規則等の一部を改正する省令の施行について      |

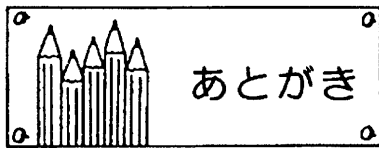


| 送付日     | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9 月 17日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について</li> <li>・平成 25年度第 3 四半期におけるセーフティネット保証 5 号の業種指定の取扱等について</li> <li>・非小細胞肺癌を適応とするエルロチニブ塩酸塩製剤の使用に当たっての留意事項について</li> </ul>                                                                                      |
| 9 月 18日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康食品(デキサプリン(Dexaprine))の取り扱いについて</li> <li>・「DPC 制度への参加等の手続きについて(通知)」の一部改正について</li> <li>・難病患者等の障害福祉サービス等の利用に関する医療機関への周知について</li> <li>・健康づくり指導者講習会の開催について(依頼)</li> <li>・予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行等について</li> </ul>              |
| 9 月 19日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・死亡診断書(死体検案書)への記入について(要望)</li> <li>・労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び労働安全衛生規則等の一部を改正する省令の施行について並びに「洗浄又は払拭の業務等においての事業者が講ずべき化学物質のばく露防止対策」の改正等について</li> <li>・ワクチン価格等調査の実施について</li> </ul>                                                           |
| 9 月 20日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行等について</li> </ul>                                                                                                                                                                                    |
| 9 月 24日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・共済組合員証の無効通知について</li> <li>・厚生労働省が行う保険医療材料等使用状況調査に対する協力について</li> </ul>                                                                                                                                                                |
| 9 月 26日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「医療機器の保険適用について」の一部訂正について</li> <li>・使用薬剤の薬価(薬価基準)等の一部改正について</li> <li>・「使用上の注意」の改訂について</li> <li>・突風等の被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて</li> <li>・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その 10)」の送付について</li> <li>・「宮崎県新型インフルエンザ等対策行動計画」について(通知)</li> </ul> |
| 9 月 27日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令等について(居住介護支援、介護予防支援および地域包括支援センターに関する基準関係)</li> <li>・国立長寿医療研究センター主催「平成 25年度在宅医療・介護連携推進事業研修会」に関する周知のお願いについて(依頼)</li> </ul>                                      |
| 9 月 30日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・助産師、嘱託医師等並びに地域の病院及び診療所の間における連携について</li> </ul>                                                                                                                                                                                       |

-----

あなたできますか？(解答)

|      |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 1    | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| b, d | c | b | d | b | b | a | b | a | b  |



## あとがき

立競技場で繰り広げる生の熱戦を、是非とも観てみたいものである。個人的には、日本のSANAAの競技場を採用して欲しかったが…スポーツといえば今年の野球界は記録ラッシュだった。49年ぶりに王さんのシーズン本塁打記録55本を抜いたバレンティン(ヤクルト)、56年ぶりに稲尾のシーズン連勝記録20連勝を抜いた田中マー君(楽天)。今年は飛びやすいボールを使っているそうなのでピッチャーのマー君の記録に軍配か？また海の向こうでもイチローが日米通算4,000本安打を達成した。張本勲の記録が3,085本、アメリカでも4,000本を打ったのは、ピート・ローズと、タイ・カッパだけだというから、すごい。さておき、我が家のスポーツ関連行事といえば、今週末の子供の運動会ぐらいのものだろう。出来るだけ日に当たらない場所で、ゆっくりと可愛い我が子の走る姿を観ることの出来る最高の場所をとるために、運動会当日は父親の決戦から始まるのだ。今までの最高記録は、4時起きで雨の中並んで勝ち取った、1番。上には上がいるものだ。

今年も新記録を目指して1時間早く並んでみようかと思案にふける秋の夜長である。

(沖田)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

すさまじい猛暑に見舞われた今夏、日本列島中に熱中症患者が急増しました。少年時代に私は野球やサッカーに明け暮れており、当時は炎天下でも練習中の水分摂取など全く考えられない状況でした。当時を振り返っても、熱中症で救護されるチームメイトは皆無で、熱中症が社会問題になることもありませんでした。高齢者の熱中症は別として、若年者にも増加の一途をたどる背景として、幼小児期からのエアコン下での生活スタイルなどにより、真夏の暑さに対する身体的適応能力が低下してきているように思えてなりません。

(黒川)

＊ ＊ ＊

築14年の我が家が数年ぶりに雨漏りしました。数年前に同じ場所で雨漏りがあり、10年点検でハウスメーカー(一応一流と言われているところ)がチェックしていたのですが、大したことはないとほっとかれました。今回別の工務店で診てもらったところ、天井裏のパネルにカビが1m程発生しており、なんときこのまで生えていました！瓦と下のパネル間にある防水シートが十分にかぶさっていない場所があり、そこから漏れているとのこと。ちょうどその日雨天で、屋根裏でのぼたぼたを確認しました。結局その部分のパネルと瓦の交換と、シーリングする大仕事になりました…あの10年点検は何だったのだろう!! そのハウスメーカーとは2度と関わりたくないと思ったのは言うまでもありません。(怒)

(釜付)

＊ ＊ ＊

2020年東京オリンピック開催決定おめでとうございます！「いったい開会式のチケットはいくらまで跳ね上がるんだろ〜？」とか「やっぱり強力なコネを使って手に入れる人もいるんだろ〜うな」などと下世話な心配ばかりしております。2014年1月から始まるNISA(少額投資非課税制度)の口座開設がいよいよ10月1日から始まりしました。新聞等によると10月1日時点で申請数は約300万件になるとの見通しとのこと。「単純に考えて、1月には株価上がるのかなあ？」などこちらも素人考えで余計なことばかり考えてしまうこの頃です。秋ですね。

(大野)

＊ ＊ ＊

祝！2020東京オリンピック・パラリンピック開催決定！

こんなに興奮したのは、2000年、サッカー日本代表がワールドカップ初出場を決めた時以来かもしれない。1964年ぶり2回目の東京開催といっても、前回私はこの世に生を受けていなかったわけだから、次回のオリンピックは自国でみられる最初で最後のものになる。

あの、自転車のヘルメットを思わせる近未来的な新国

8月、地元の埼玉県に帰省しました。夏に帰省するのは4年ぶりです。せっかくなので、昔よく遊びに行った場所を巡りました。実家から車で15分程の所にさいたま水族館という淡水魚の水族館があります。鯉や鮒、鮎、ブラックバスなど、決して珍しい魚ではありませんが、身近な魚を水族館で観るというのなかなか良いものだと思います。そして、入場料が400円というのも魅力的です。水族館の周りは大きな公園になっていて、休日には地元の家族連れで賑わっています。埼玉北部にお越しの際には、是非お立ち寄りを。

(陣門)

＊ ＊ ＊

今年も夏休みを利用してヤングフェニックスサマーキャンプにボランティアスタッフとして参加してきました。このサマーキャンプは県内の小児糖尿病患者を対象として、年に一度4泊5日の日程で、綾町の合宿センターにて行われています。参加する子ども達はキャンプを通して自身の病気への理解を深め、同じ境遇の仲間を作り、スタッフとともに沢山の思い出を作ります。私自身も子ども達と触れ合っていく中で、少しずつではありますが、彼らの苦悩・葛藤を理解できるようになってきた気がします。お世話をする立場として参加しながらも、逆に彼らからいろんなことを学ばせてもらっているんだなあ、と参加する度につくづく感じます。

(原尾)

＊ ＊ ＊

少し前にネットでも話題になっていた「方言チャート」、方言に関する質問に答えていくと、自分の出身都道府県(3~14歳の言語形成期に生活していた地域)がわかるというものです。私はその言語形成期に長崎、広島、宮崎の3県で過ごしていたためか、その後の宮崎在住が長いにもかかわらず、結果はハズレ。途中の回答を変えてみてもどうしても宮崎県にたどり着きません。すっかり宮崎県人のつもりだったのに…。どなたか宮崎県にたどり着く模範解答を教えてください。

(荒木)

＊ ＊ ＊

## 今月のトピックス

### 日州医談 大学病院は今

平成 19年 9月、「白い巨塔から白い廃墟へ」という題名で法人化後の大学病院の破綻のスパイラルが警告され、その 2 年後にはそれが現実のものとなりました。多くの大学病院が赤字となり、その影響が大学全体の経営を揺るがす事態も危惧されたのです。その後、全国の大学病院はどのような対策を講じたのでしょうか？宮崎大学附属病院を例に挙げ、直井信久理事が経営再建のための様々な取組みと裏話を紹介してくださいました。

4 ページ

### 新春随想 原稿募集！

平成 26年 1, 2 月号に毎年恒例の「新春随想」欄を企画しています。医事評論、診療閑話、身辺雑記、詩歌、俳句などなんでも結構です。詳細を本誌 9 頁に掲載していますので奮ってご応募ください。たくさんの方々のご寄稿を、広報委員一同心よりお待ちしております。

9 ページ

### 診療メモ 卵子の老化について

最近テレビや女性誌などでしばしば「卵子の老化」というテーマが取り上げられています。加齢による卵巣機能の変化とその検査法、そして不妊治療への対策としての「卵子の凍結保存」や「iPS 細胞」に関する話題など、その問題点を踏まえつつ不妊治療現場の苦悩を戸枝通保先生が述べてくださいました。

68 ページ

日 州 医 事 第 770号（平成 25年 10月号）（毎月 1 回 10日発行）

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

<http://www.iyazakimedor.jp/> E-mail office@iyazakimedor.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 尾田 朋樹・副委員長 上野 満、黒川 基樹

委 員 篠原 立大、姫路 大輔、明里 知美、川上 勲

釜付 弘志、沖田 和久、大野 妙子、陣門 洋平、原尾 拓朗

担当副会長 富田 雄二・担当理事 青木 洋子、荒木 早苗

事務局 学術広報課 瀬戸山千春、久永 夏樹

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際は取り替えいたします。

定 価 350円（但し、県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります）